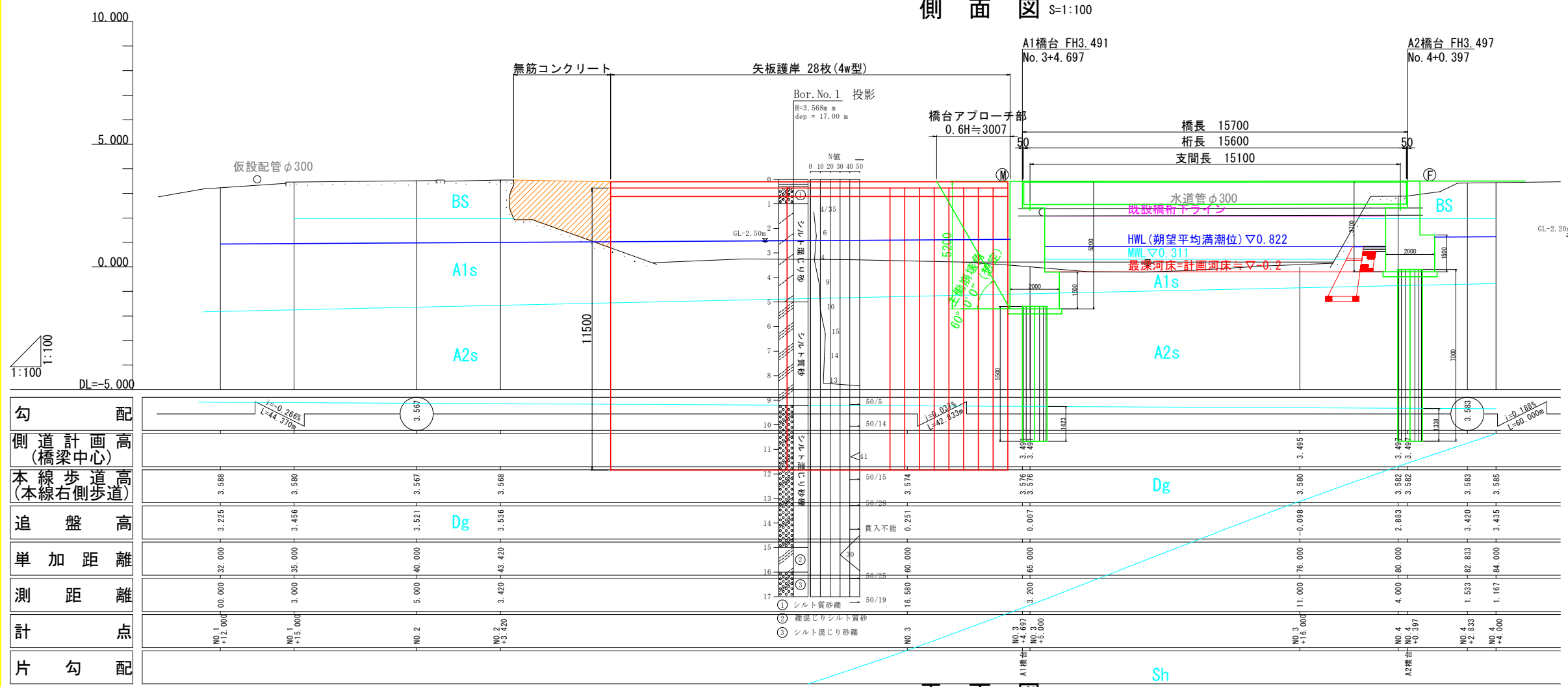
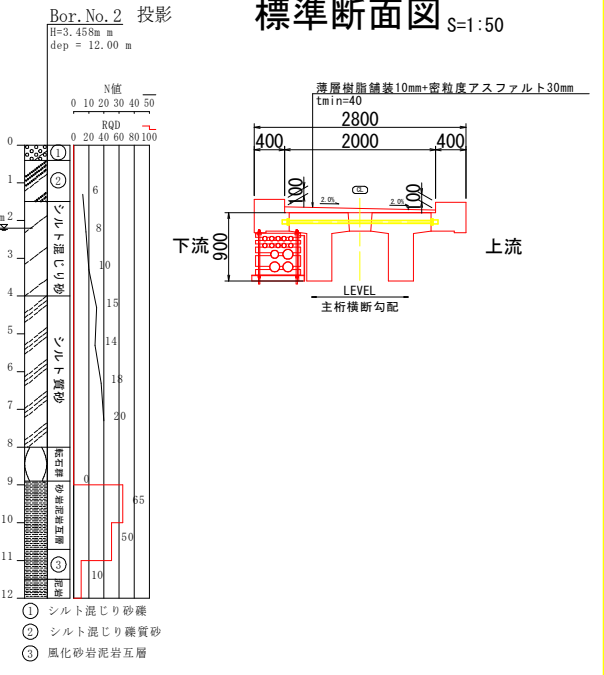


橋 梁 一 般 図

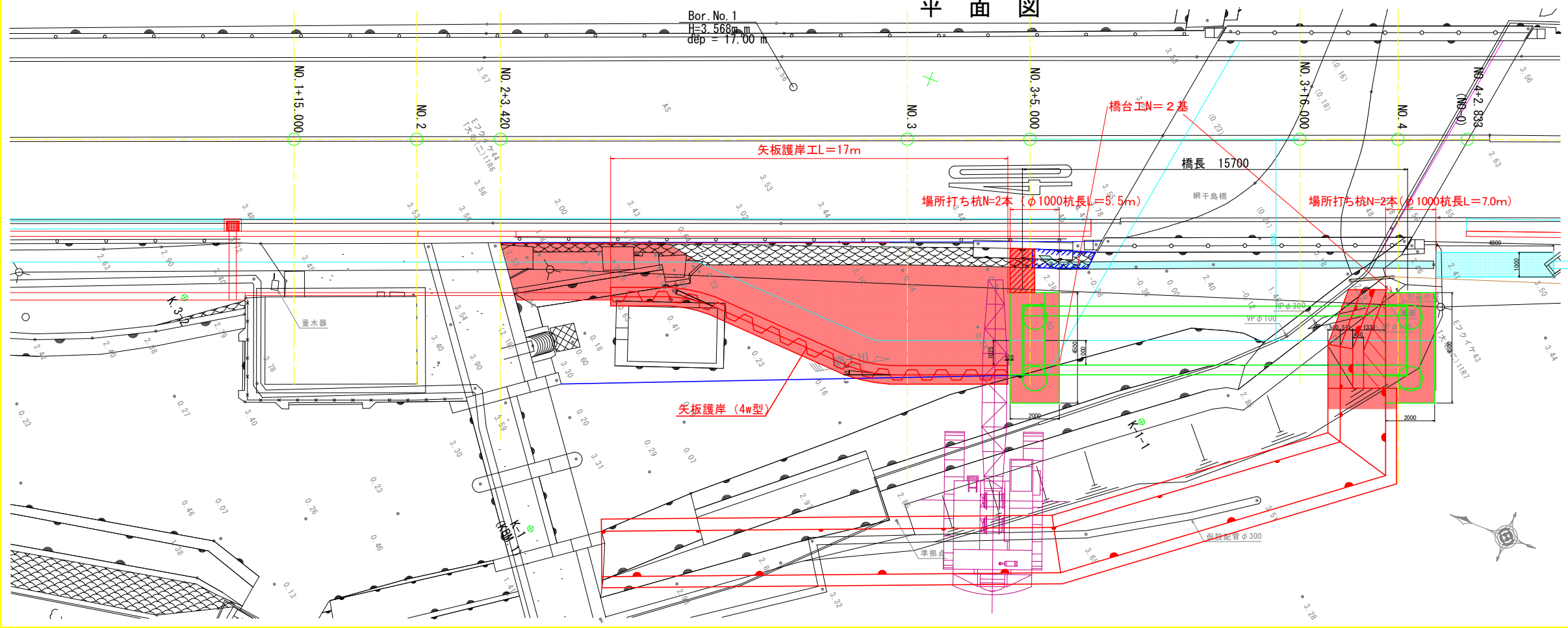
側 面 図 S=1:100



標準断面図 S=1:50



平 面 図

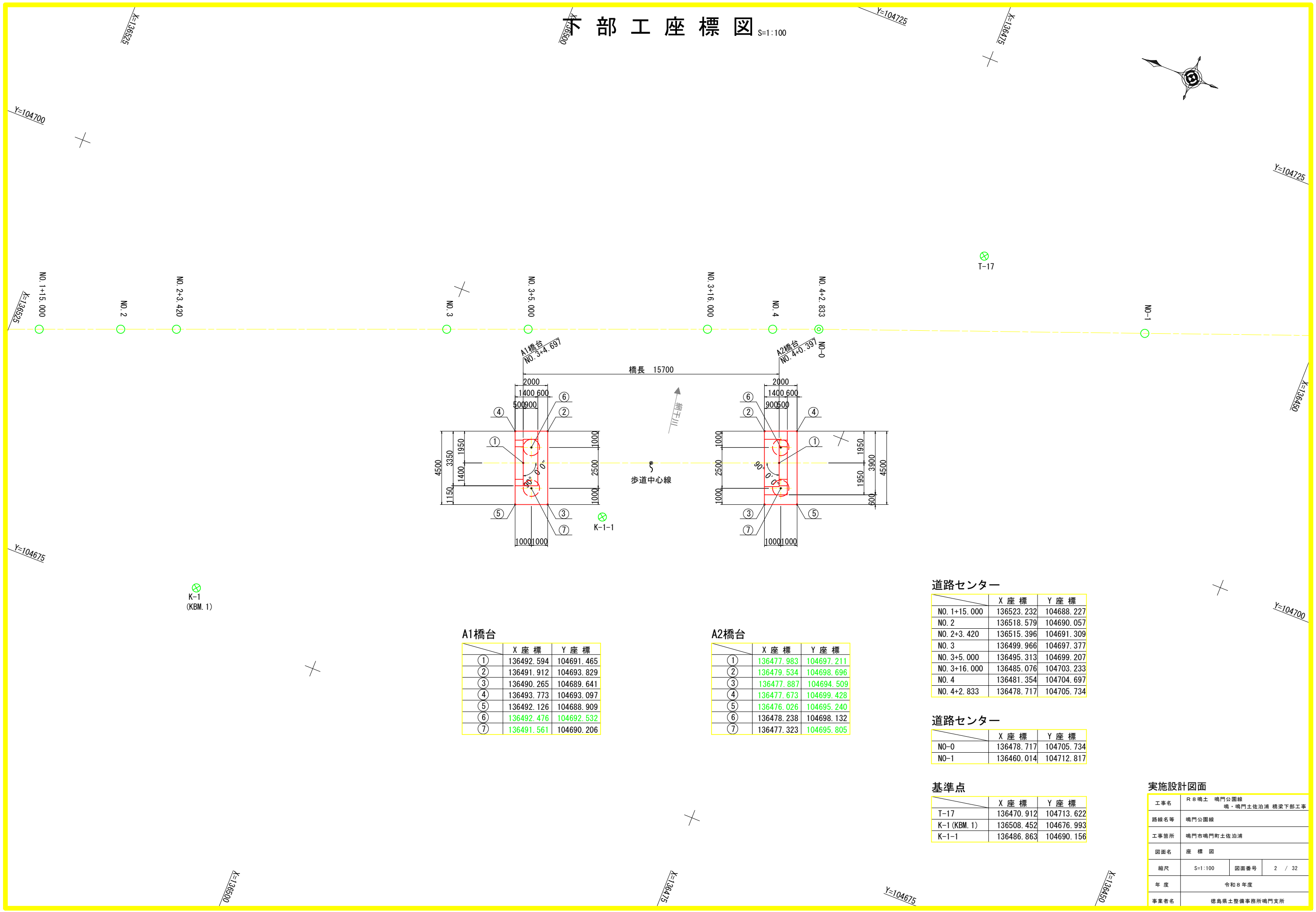


設計条件	
路線名	鳴門公園線
道路規格	-----
設計速度	-----
大型車交通量	-----
設計活荷重	歩道荷重(群集荷重5.0kN/m ²)
形式	上部工
	下部工
基礎工	A1・A2: 逆T式橋台
	A1: 場所打ち杭(φ1000mm)
橋長	A2: 場所打ち杭(φ1000mm)
	橋長
桁長	15.700m
支間	15.600m
有効幅員	15.100m
斜角	2.000
平面線形	θ=90°
縦断勾配	R=∞
横断勾配	i=0.037%
設計水平震度	i=2.0%(水路方向)
地盤種別	kh=0.25
支条件	2種地盤
伸縮装置	A1: 可動、A2: 固定
落橋防止システム	ゴムジョイント
塩害対策区分	橋軸方向: 桁かけり長の確保
	橋軸直角方向: 特になし
使用材料	対策区分S
	コンクリート
適用示方書	鉄筋
	コンクリート
Bor. No. 1	鉄筋
	コンクリート
H=3.458m	鉄筋
	コンクリート
dep = 12.00 m	鉄筋
	コンクリート

実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線
路線名等	鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦
図面名	橋梁一般図
縮尺	図示
年度	令和8年度
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所

下部工座標図 S=1:100



A1橋台

	X 座 標	Y 座 標
①	136492.594	104691.465
②	136491.912	104693.829
③	136490.265	104689.641
④	136493.773	104693.097
⑤	136492.126	104688.909
⑥	136492.476	104692.532
⑦	136491.561	104690.206

A2橋台

	X 座 標	Y 座 標
①	136477.983	104697.211
②	136479.534	104698.696
③	136477.887	104694.509
④	136477.673	104699.428
⑤	136476.026	104695.240
⑥	136478.238	104698.132
⑦	136477.323	104695.805

道路センター

	X 座 標	Y 座 標
NO. 1+15.000	136523.232	104688.227
NO. 2	136518.579	104690.057
NO. 2+3.420	136515.396	104691.309
NO. 3	136499.966	104697.377
NO. 3+5.000	136495.313	104699.207
NO. 3+16.000	136485.076	104703.233
NO. 4	136481.354	104704.697
NO. 4+2.833	136478.717	104705.734

道路センター

	X 座 標	Y 座 標
NO-0	136478.717	104705.734
NO-1	136460.014	104712.817

基準点

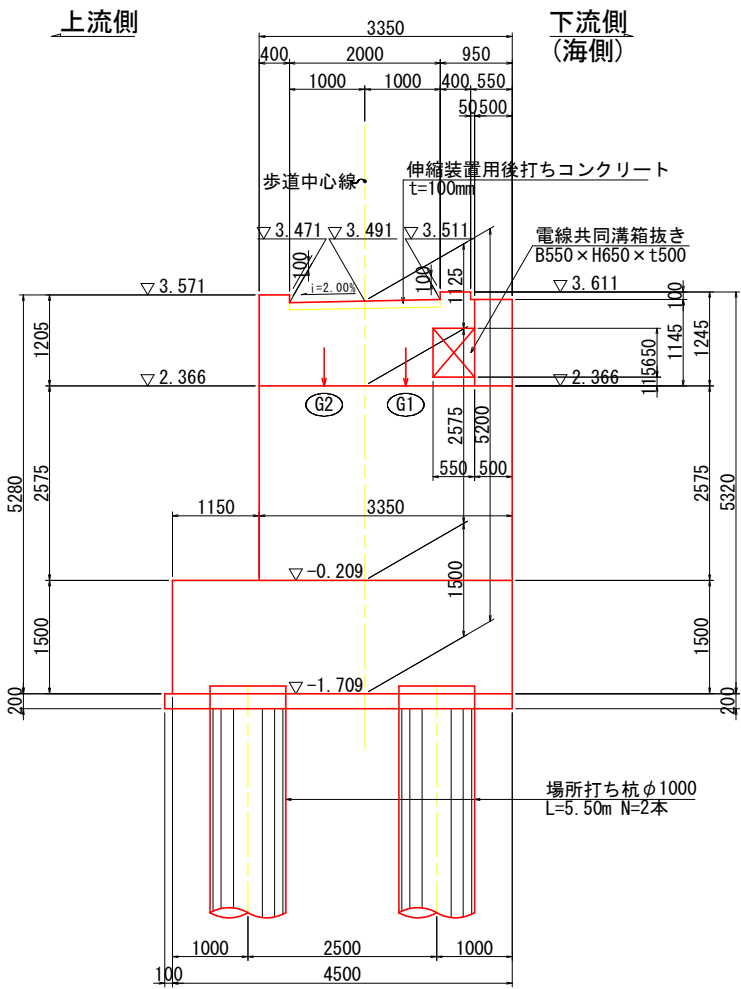
	X 座 標	Y 座 標
T-17	136470.912	104713.622
K-1 (KBM. 1)	136508.452	104676.993
K-1-1	136486.863	104690.156

実施設計図面

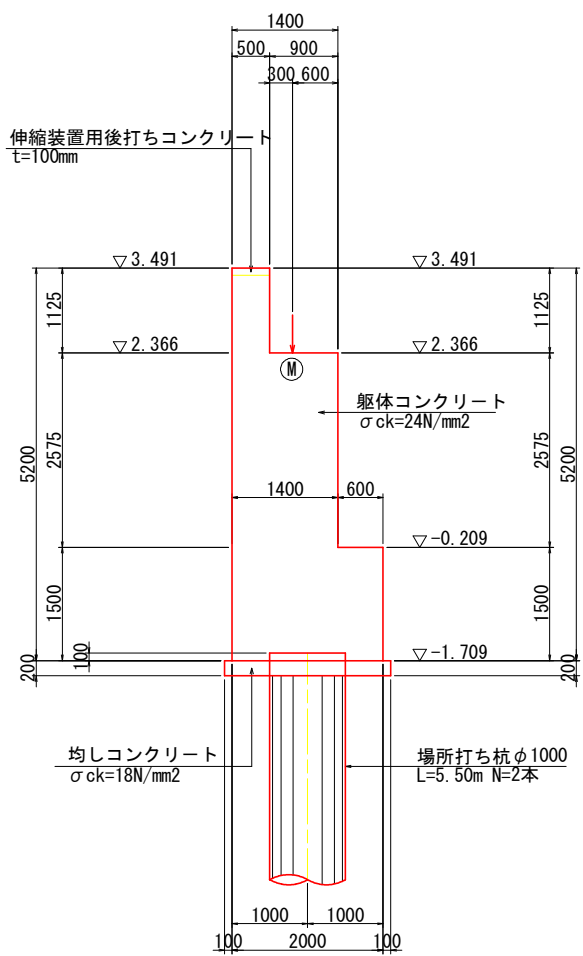
工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	座 標 図		
縮尺	S=1:100	図面番号	2 / 32
年 度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

A 1 橋台構造一般図 S=1:50

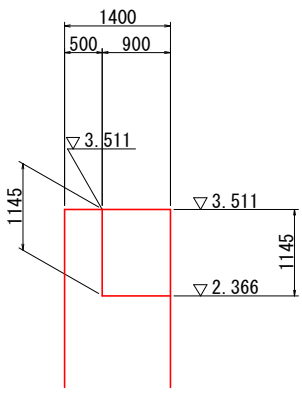
正面図



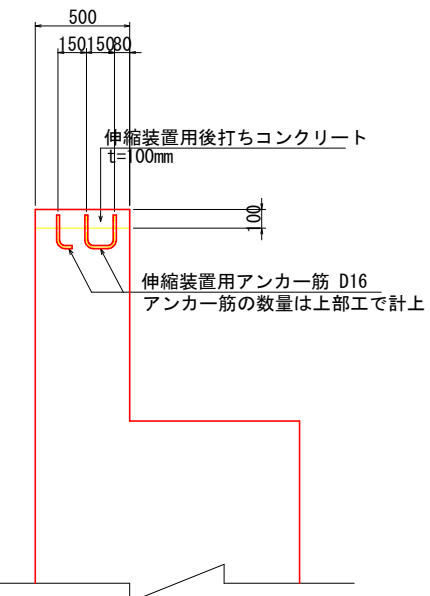
断面図



下流側巻込み壁

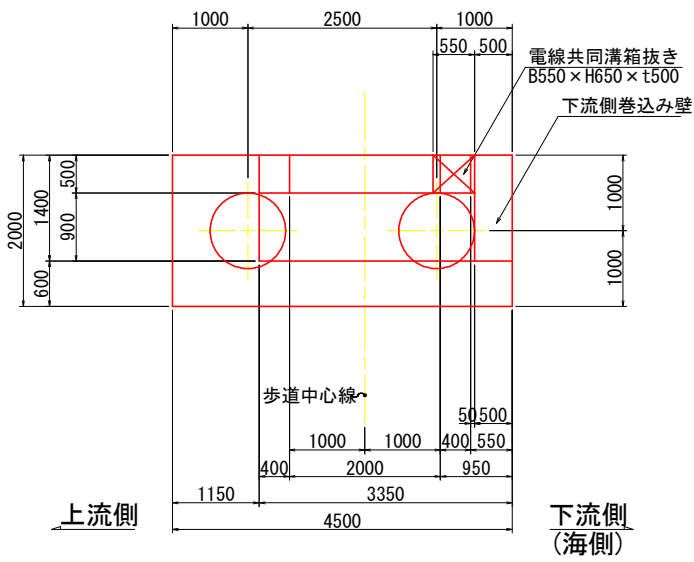


胸壁天端詳細図 S=1:20

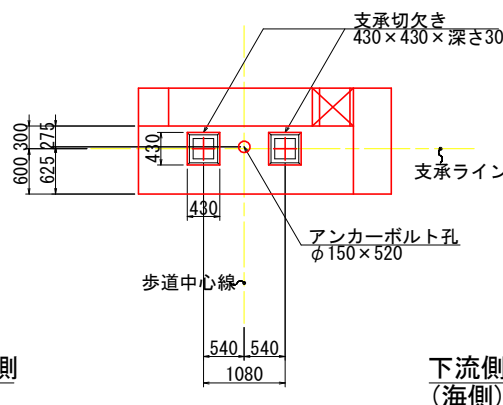


注) ・伸縮装置用アンカー筋はバラベツト打設時に埋め込んでおくこと。
・伸縮装置用アンカー筋の配置は伸縮継手詳細図を参照のこと。

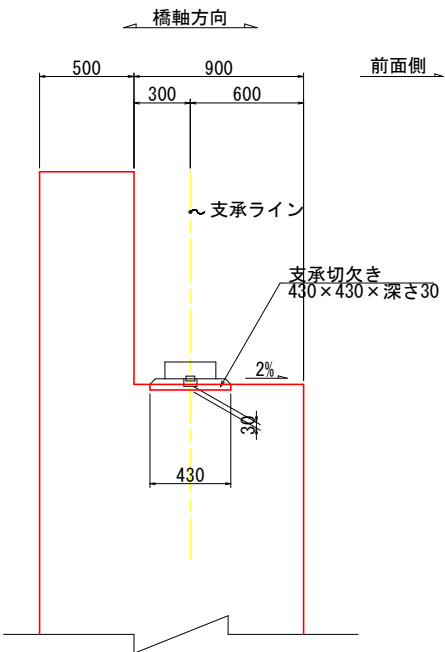
平面図



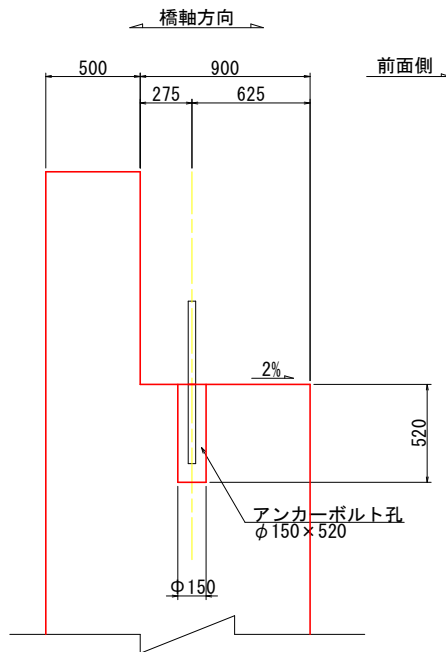
受台平面図



支承部詳細図 S=1:20



アンカー部詳細図 S=1:20



注) ・橋座は2%の排水勾配を付けること。

実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線		
路線名等	鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	A 1 橋台構造一般図		
縮尺	図示	図面番号	3 / 32
年度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

A 2 橋台構造一般図 S=1:50

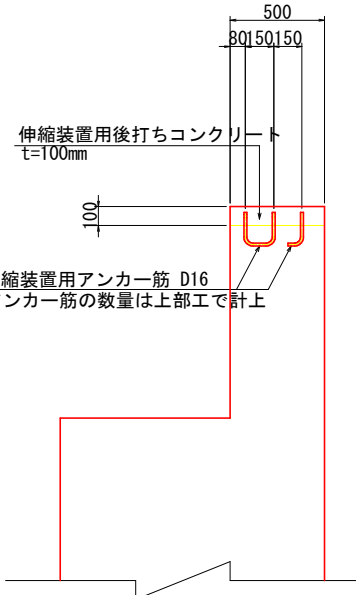
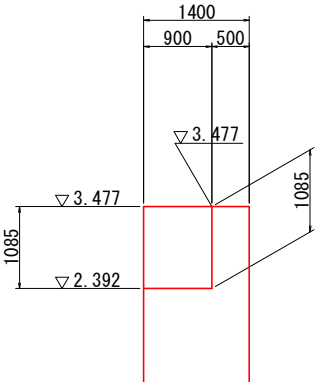
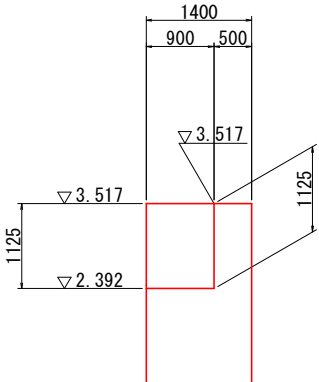
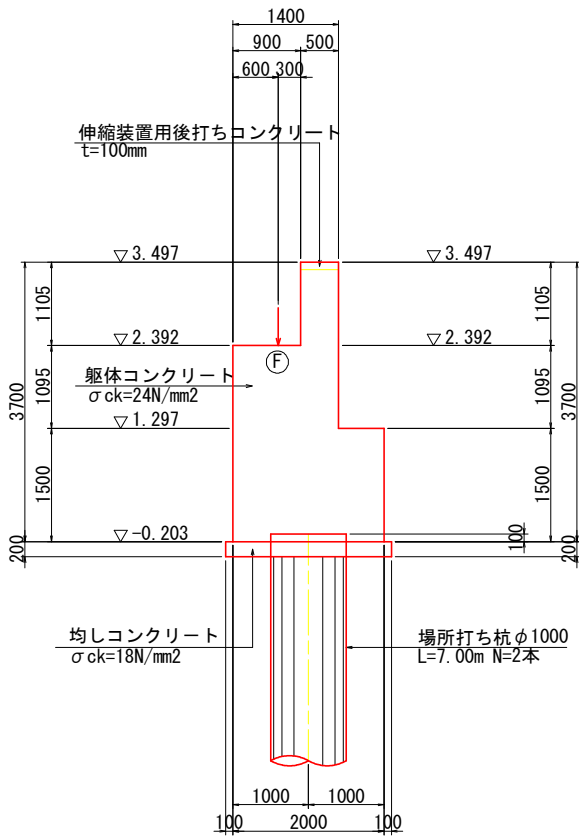
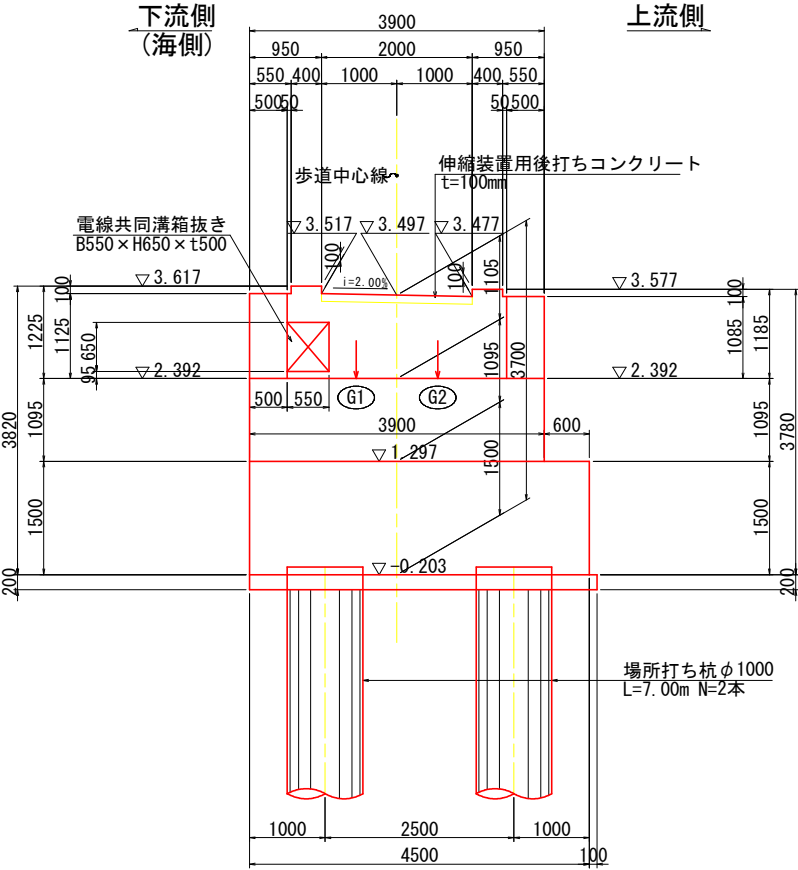
正面図

断面図

下流側巻込み壁

上流側巻込み壁

胸壁天端詳細図 S=1:20



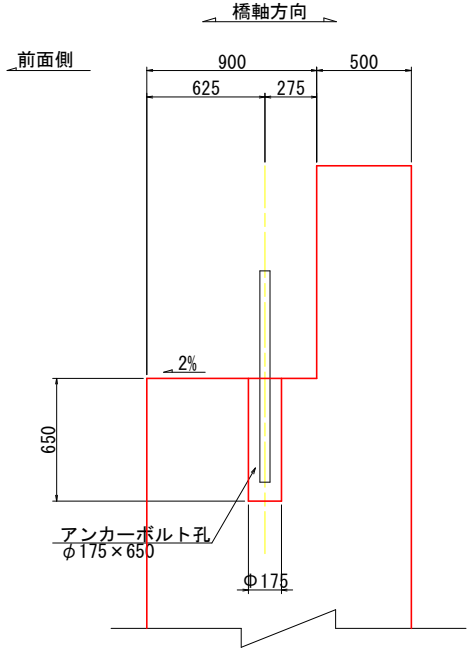
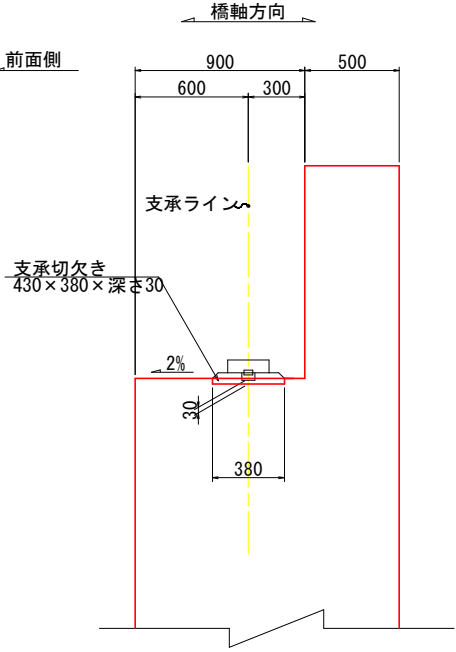
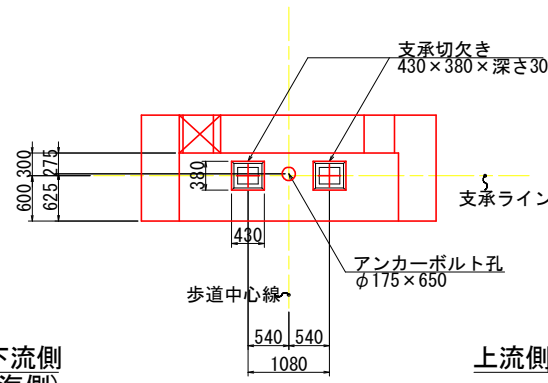
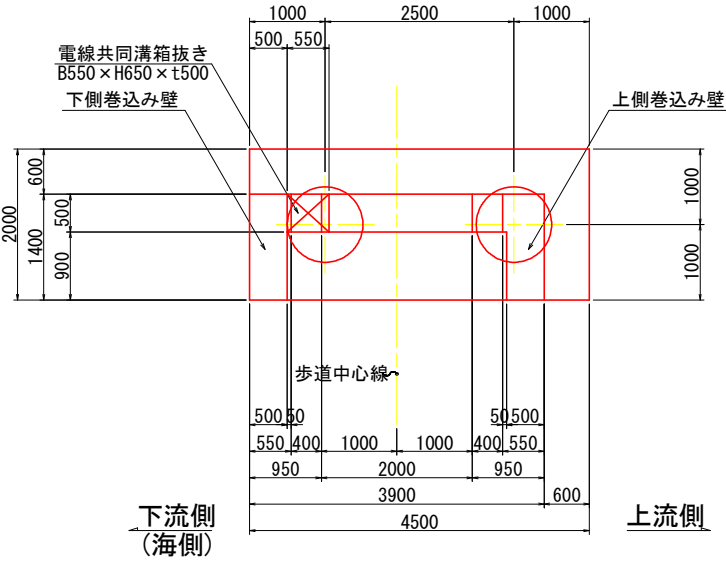
注) ・伸縮装置用アンカー筋はパラペット打設時に埋め込んでおくこと。
・伸縮装置用アンカー筋の配置は伸縮継手詳細図を参照のこと。

平面図

受台平面図

支承部詳細図 S=1:20

アンカー部詳細図 S=1:20

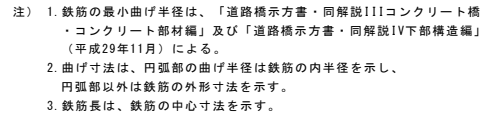
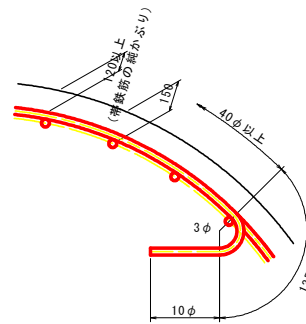
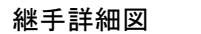
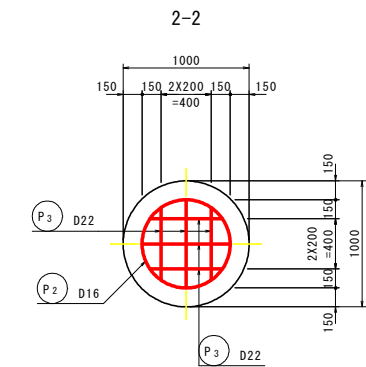
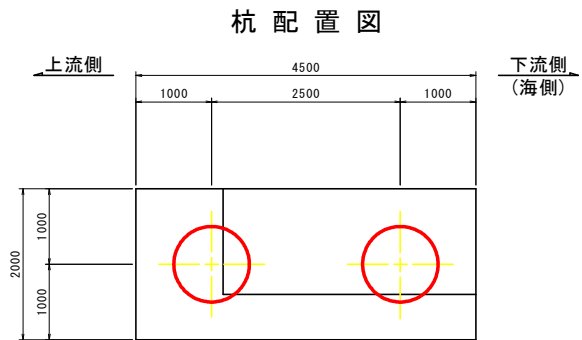


注) ・橋座は2%の排水勾配を付けること。

実施設計図面

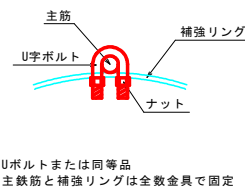
工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線		
路線名等	鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	A 2 橋台構造一般図		
縮尺	図示	図面番号	4 / 32
年度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

S=1 : 30



種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
P 1	D25	6570	20	3.98	26.15	523	
P 2	D16	3580	33	1.56	5.58	184	⊙
P 3	D22	1250	6	3.04	3.80	23	┐ (平均長)
P 4	D13	290	12	0.995	0.29	3	⌒
							733 kg
				1本当り	1.0基当り		
合計	D25			523 kg	X 2 =	1046 kg	
	D22			23 kg	X 2 =	46 kg	
	D16			184 kg	X 2 =	368 kg	
	D13			3 kg	X 2 =	6 kg	
総質量				733 kg	X 2 =	1466 kg	(SD345)

Uボルト取付詳細図



種 別	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
FB 9X75	2092	3	5.30	11.09	33	補強リング

項 目	仕 様	個 数	摘 要
FB 9X75	円加工 φ666	3	補強リング
		60	主鉄筋と補強リングの固定
		24	主鉄筋とスベークサーの固定 表当て材含む

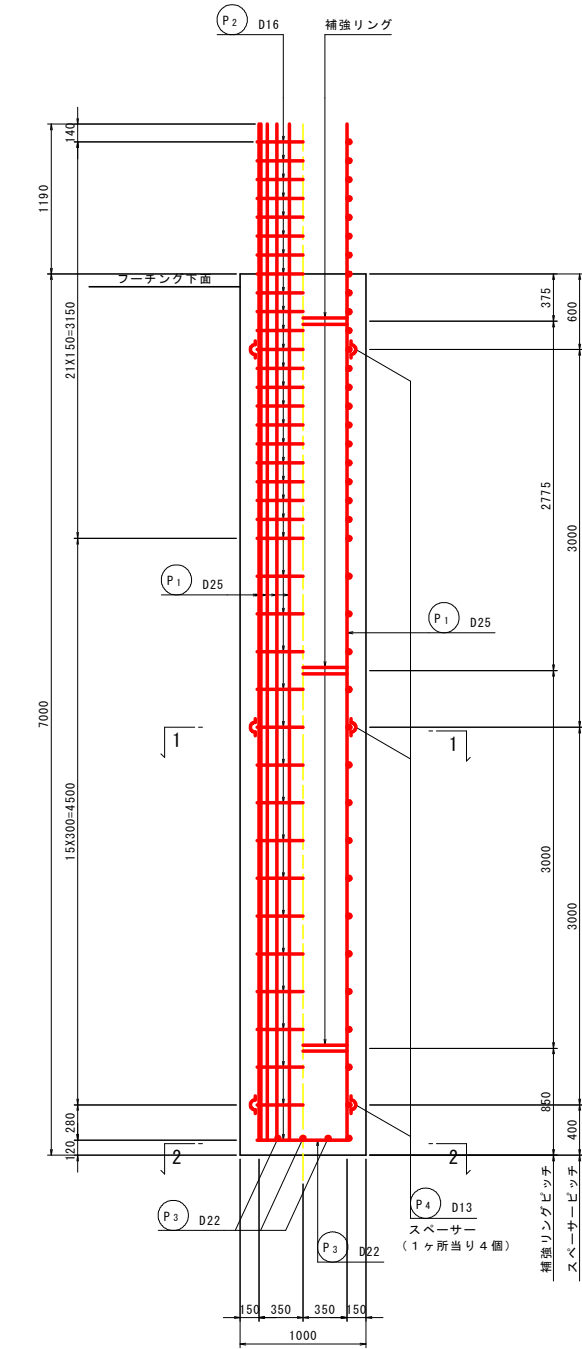
工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門市佐治泊 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐治泊		
図面名	A 1 橋台場所打付杭配置図		
縮 尺	1:30	図面番号	5 / 32
年 度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土木整備事務所鳴門支所		

A 2 橋台場所打ち杭配筋図

S=1:30

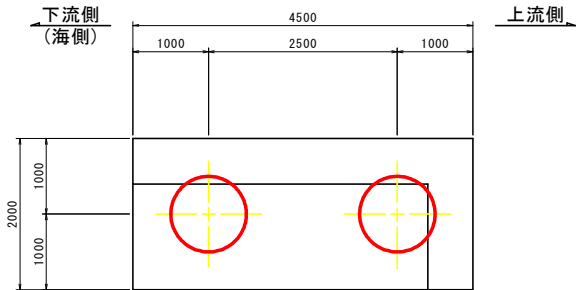
側面図

N=2本



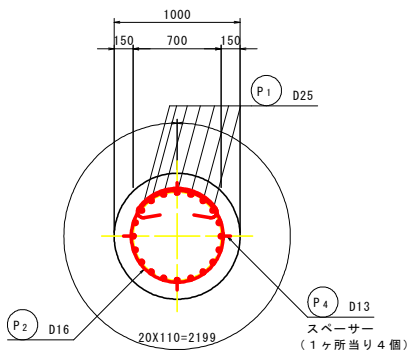
注) 杭先端は、純かぶりで120mmとすること。

杭配置図



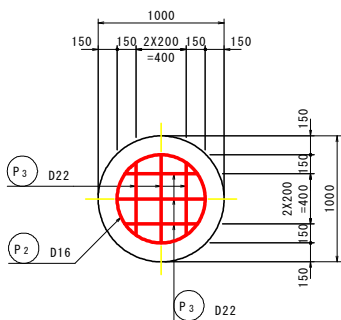
断面図

1-1

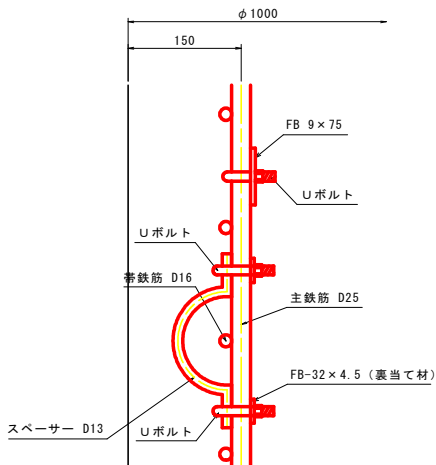


注) 帯鉄筋の重ね継手位置は、上下干鳥にずらすこと。

2-2

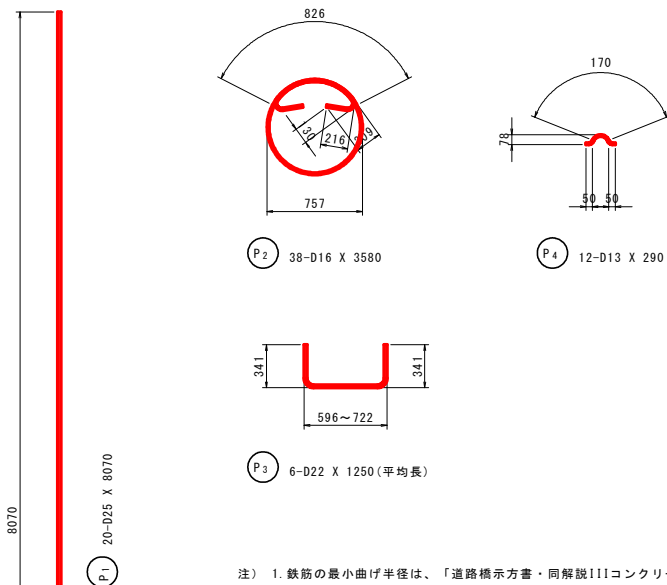


スペーサー詳細図



注) スペーサーの取付け位置は、1断面あたり4個以上かつ円周長に対し500mm~700mm程度で配置すること。
1交差箇所につき上下1箇所ずつ金具で固定

鉄筋加工図



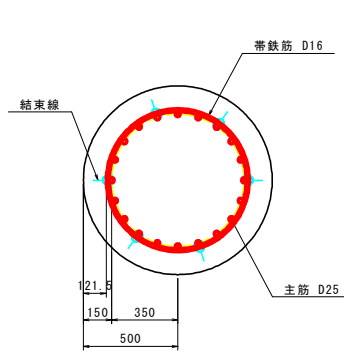
- 注) 1. 鉄筋の最小曲げ半径は、「道路橋示方書・同解説IIIコンクリート橋・コンクリート部材編」及び「道路橋示方書・同解説IV下部構造編」(平成29年11月)による。
2. 曲げ寸法は、円弧部の曲げ半径は鉄筋の内半径を示し、円弧部以外は鉄筋の外形寸法を示す。
3. 鉄筋長は、鉄筋の中心寸法を示す。

鉄筋質量表

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
P1	D25	8070	20	3.98	32.12	642	1
P2	D16	3580	38	1.56	5.58	212	⊙
P3	D22	1250	6	3.04	3.80	23	└ (平均長)
P4	D13	290	12	0.995	0.29	3	〰
880 kg							
1本当り							1.0基当り
合計				D25	642 kg	X 2 =	1284 kg
				D22	23 kg	X 2 =	46 kg
				D16	212 kg	X 2 =	424 kg
				D13	3 kg	X 2 =	6 kg
総質量				880 kg	X 2 =	1760 kg	(SD345)

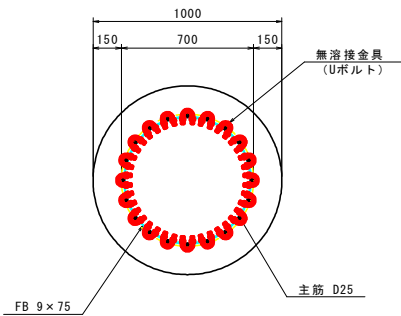
無溶接金具取付図(参考図)

主鉄筋・帯鉄筋金具詳細図

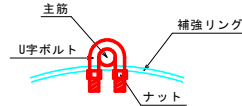


注) 軸方向鉄筋と帯鉄筋の交点を軸方向鉄筋3~4本おき程度で結束線にて結束する。

補強リングと主鉄筋金具詳細図

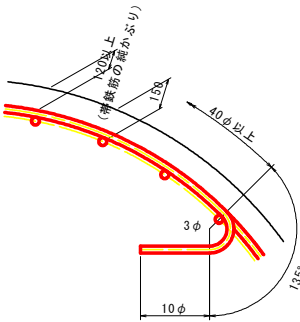


Uボルト取付詳細図



Uボルトまたは同等品
主鉄筋と補強リングは全数金具で固定

継手詳細図



補強リング質量表

種別	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
FB 9X75	(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	補強リング
	2092	3	5.30	11.09	33	杭1本当り

補強リング・固定器具

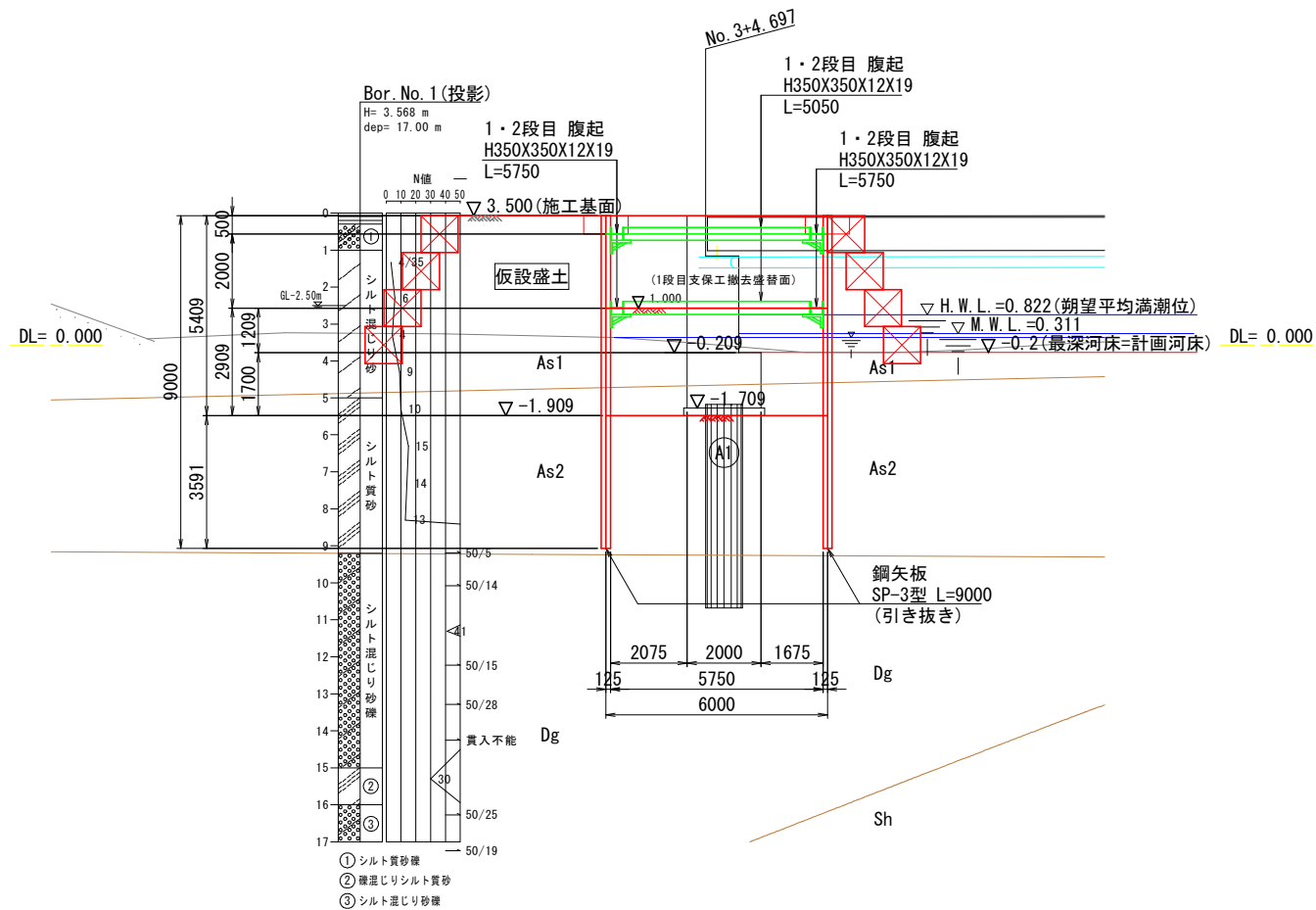
項目	仕様	個数	摘要
FB 9X75	円加工 φ666	3	補強リング
		60	主鉄筋と補強リングの固定
		24	主鉄筋とスペーサーの固定 裏当て材含む

実施設計図面

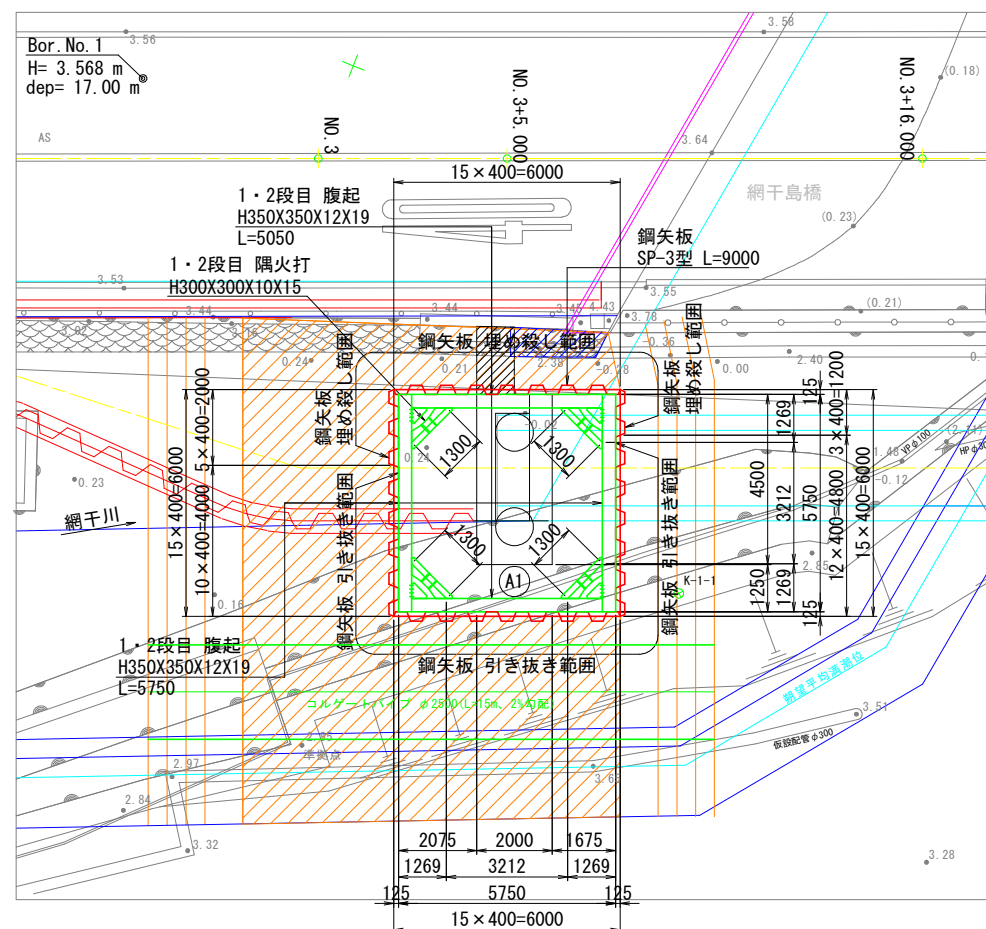
工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	A 2 橋台場所打ち杭配筋図		
縮尺	1:30	図面番号	6 / 32
年度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

A 1 橋台 土留め工計画図

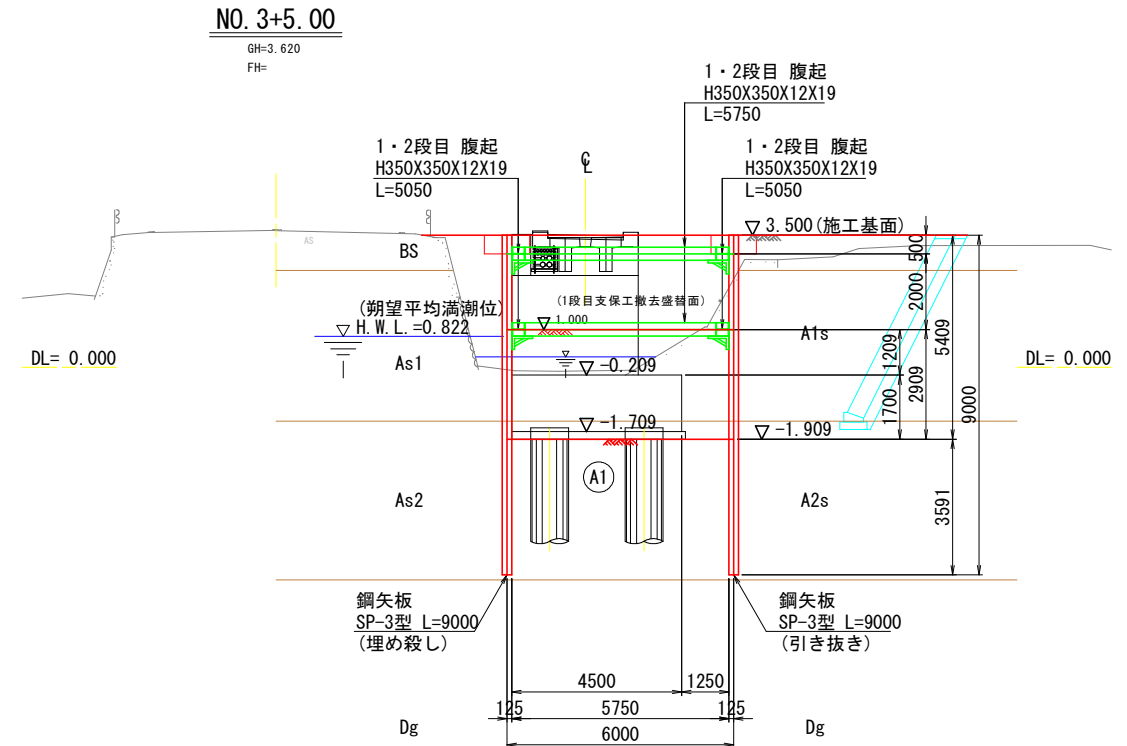
側 面 図 S=1:100



平面图 S=1:100



断面図 S=1:100



材料表

部材名称	規 格	長 さ (m)	数 量	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg/本)	質 量 (kg)	備 考
鋼 矢 板							
鋼 矢 板	SP-3型 (埋め殺し)	9.000	23	60.00	540.00	12,420	SY295
鋼 矢 板	SP-3型 (引き抜き)	9.000	37	60.00	540.00	19,980	SY295
			60 枚	鋼矢板合計		32,400 kg	
支 保 工							
腹 起 (1段目)	H-350X350X12X19	5.050	2	150.00	757.50	1,515	SS400
腹 起 (1段目)	H-350X350X12X19	5.750	2	150.00	862.50	1,725	SS400
腹 起 (2段目)	H-350X350X12X19	5.050	2	150.00	757.50	1,515	SS400
腹 起 (2段目)	H-350X350X12X19	5.750	2	150.00	862.50	1,725	SS400
			腹起合計		6,480 kg		
隅火打 (1段目)	H-300X300X10X15	0.300	4	100.00	30.00	120	SS400
隅火打 (2段目)	H-300X300X10X15	0.300	4	100.00	30.00	120	SS400
			隅火打合計		240 kg		
			主部材合計		6,720 kg		
副部材 (A)	主部材 × 22%					1,478 kg	
副部材 (B)	主部材 × 4%					269 kg	
			部材総合計		8,467 kg		
			総 合 計		40,867 kg		

注) 隅火打長は、隅火打実長-1.00m(火打受ヒース)を差し引いた長さである

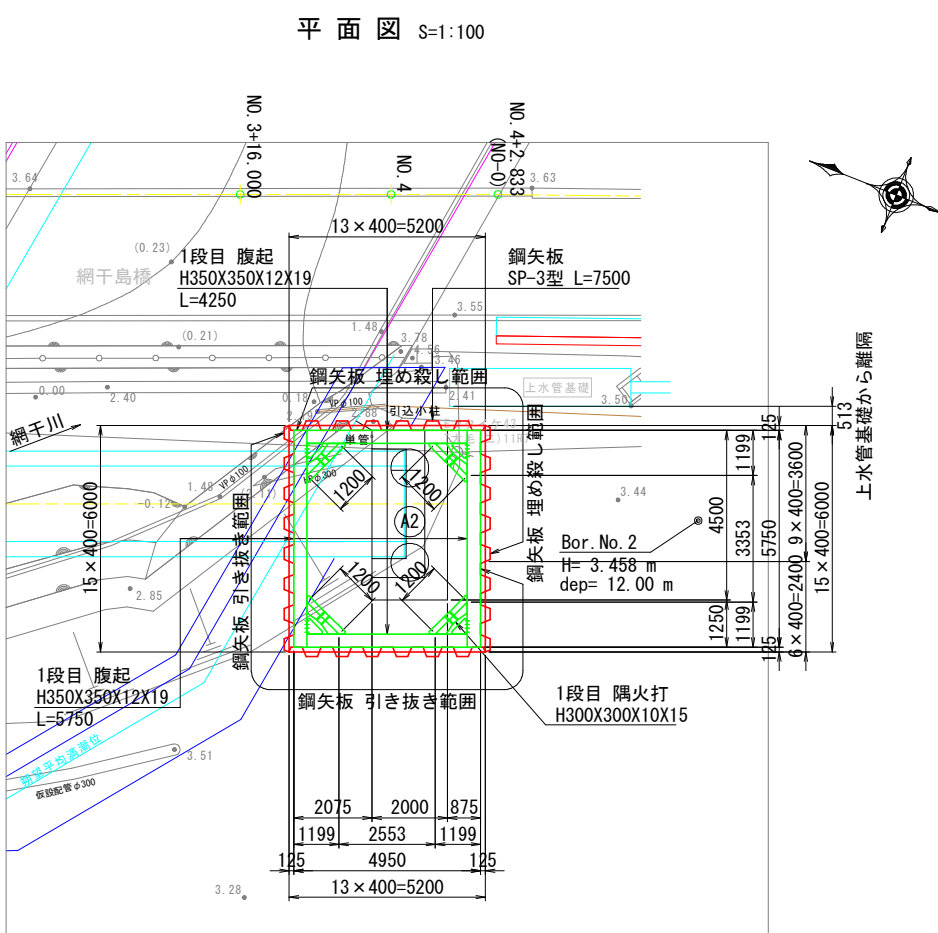
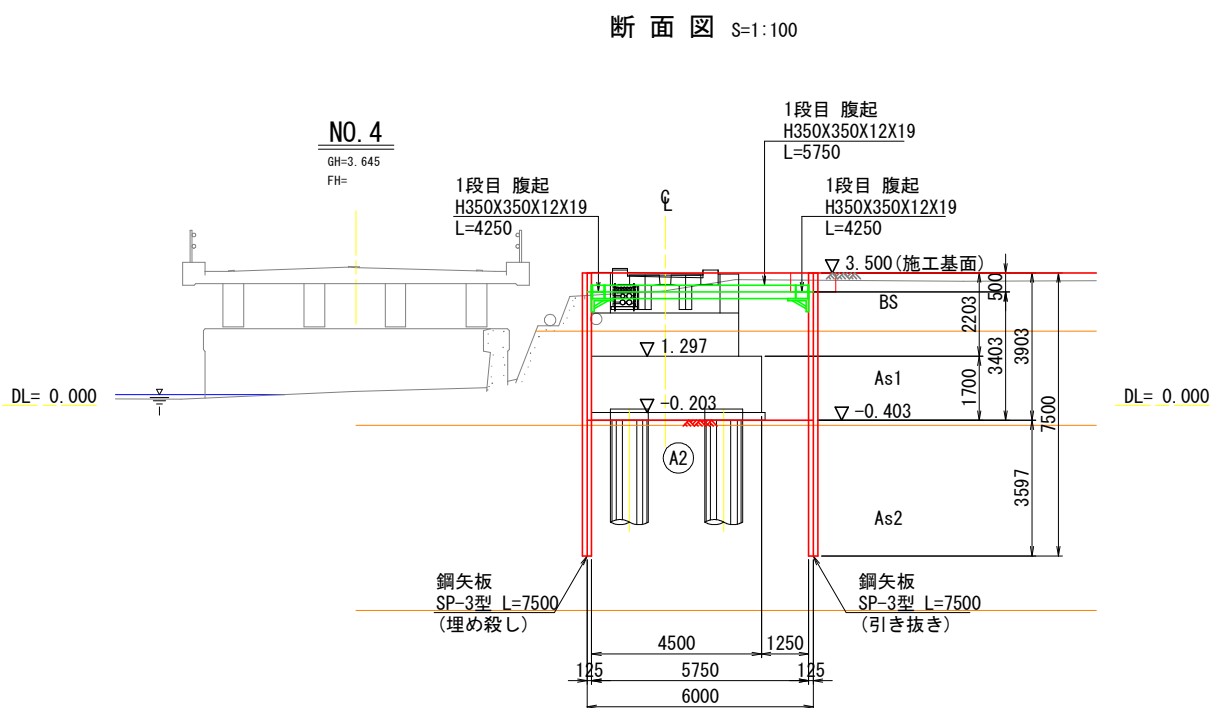
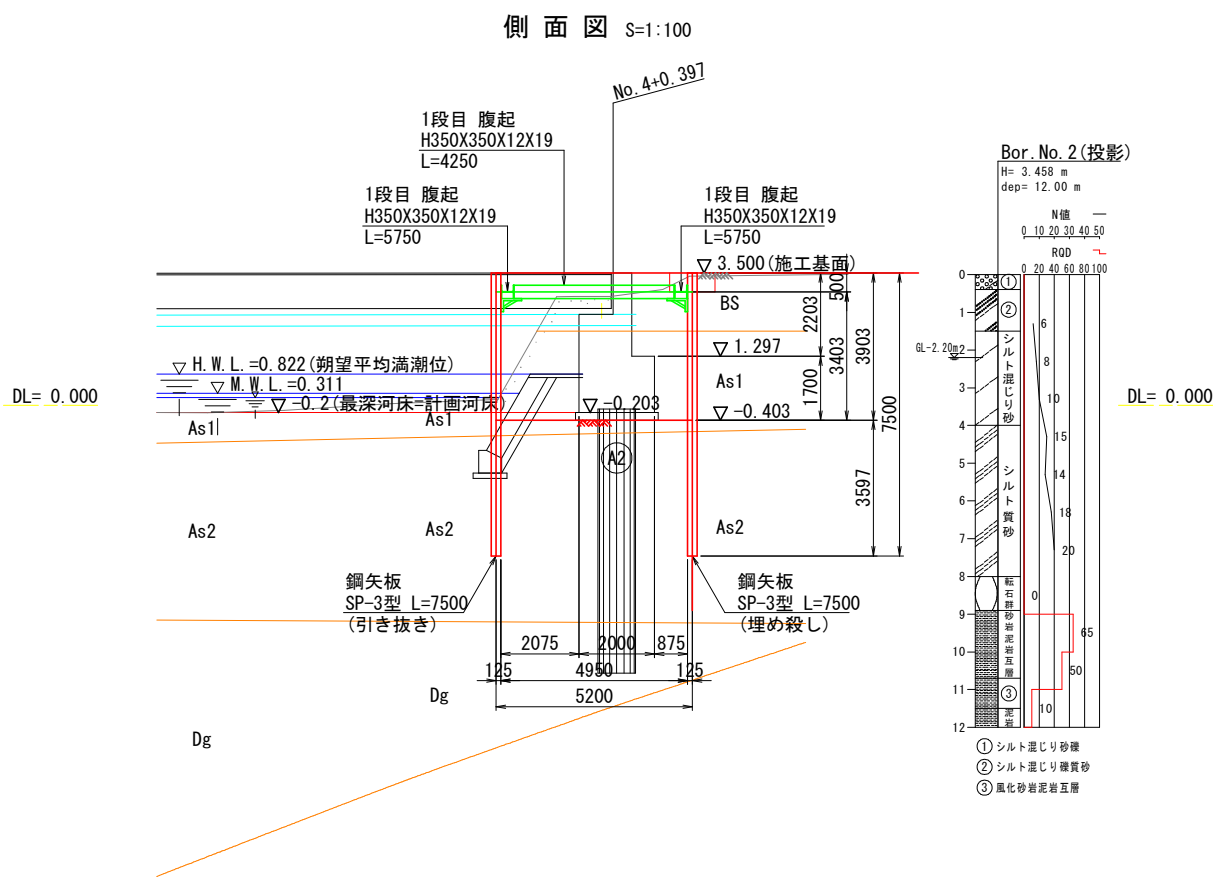
※施工計画上の留意点

- 2) 鋼矢板は、事前に布堀を行い圧入工法にて打設する。
- 2) 支保工設置時の余堀りは、1.0mとする。
- 3) 2段目支保工は、フーチング施工後、良質土を埋戻し撤去する。
- 4) 1段目支保工は、設置位置の2.0m下まで良質土を埋戻し撤去する。

実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴、鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	A 1 橋台 土留め工計画図		
縮尺	図 示	図面番号	7 / 32
年 度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

A 2橋台 土留め工計画図



材料表

部材名称	規 格	長 さ (m)	数 量	単位質量 (kg/m)	1本当たり質量 (kg/本)	質 量 (kg)	備 考
鋼 矢 板							
鋼 矢 板	SP-3型 (埋め殺し)	7.500	22	60.00	450.00	9,900	SY295
鋼 矢 板	SP-3型 (引き抜き)	7.500	34	60.00	450.00	15,300	SY295
			56 枚	鋼矢板合計		25,200 kg	
支 保 工							
腹 起 (1段目)	H-350X350X12X19	4.250	2	150.00	637.50	1,275	SS400
腹 起 (1段目)	H-350X350X12X19	5.750	2	150.00	862.50	1,725	SS400
			腹起合計		3,000 kg		
隅火打 (1段目)	H-300X300X10X15	0.200	4	100.00	20.00	80	SS400
			隅火打合計		80 kg		
			主部材合計		3,080 kg		
副部材 (A)	主部材 × 22%					678 kg	
副部材 (B)	主部材 × 4%					123 kg	
			部材総合計		3,881 kg		
			総 合 計		29,081 kg		

注) 隅火打長は、隅火打実長-1.00m(火打受ヒース)を差し引いた長さである。

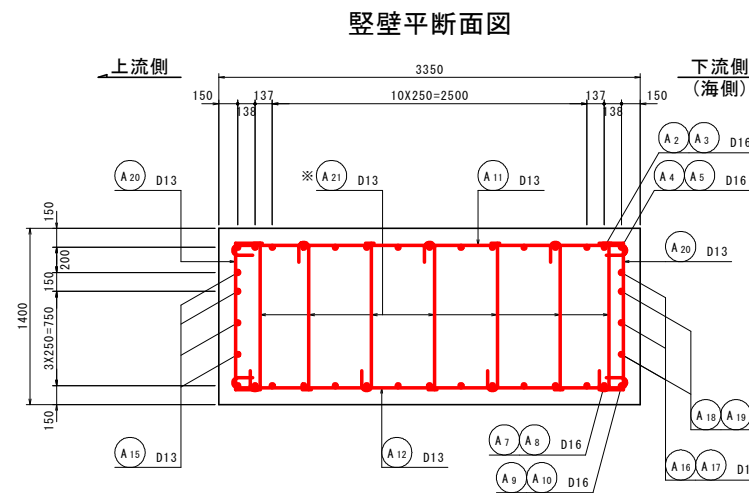
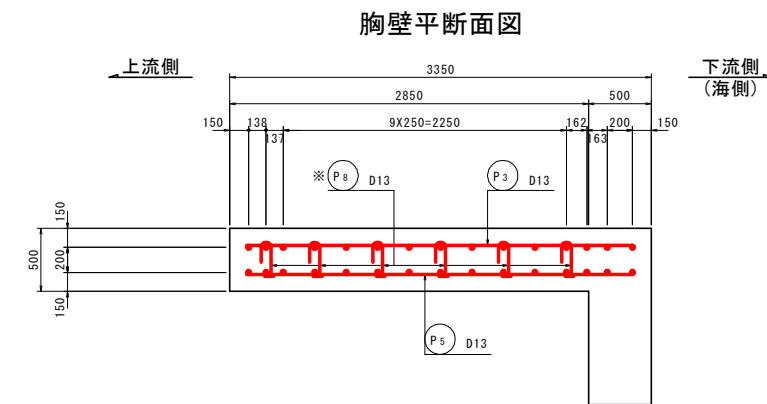
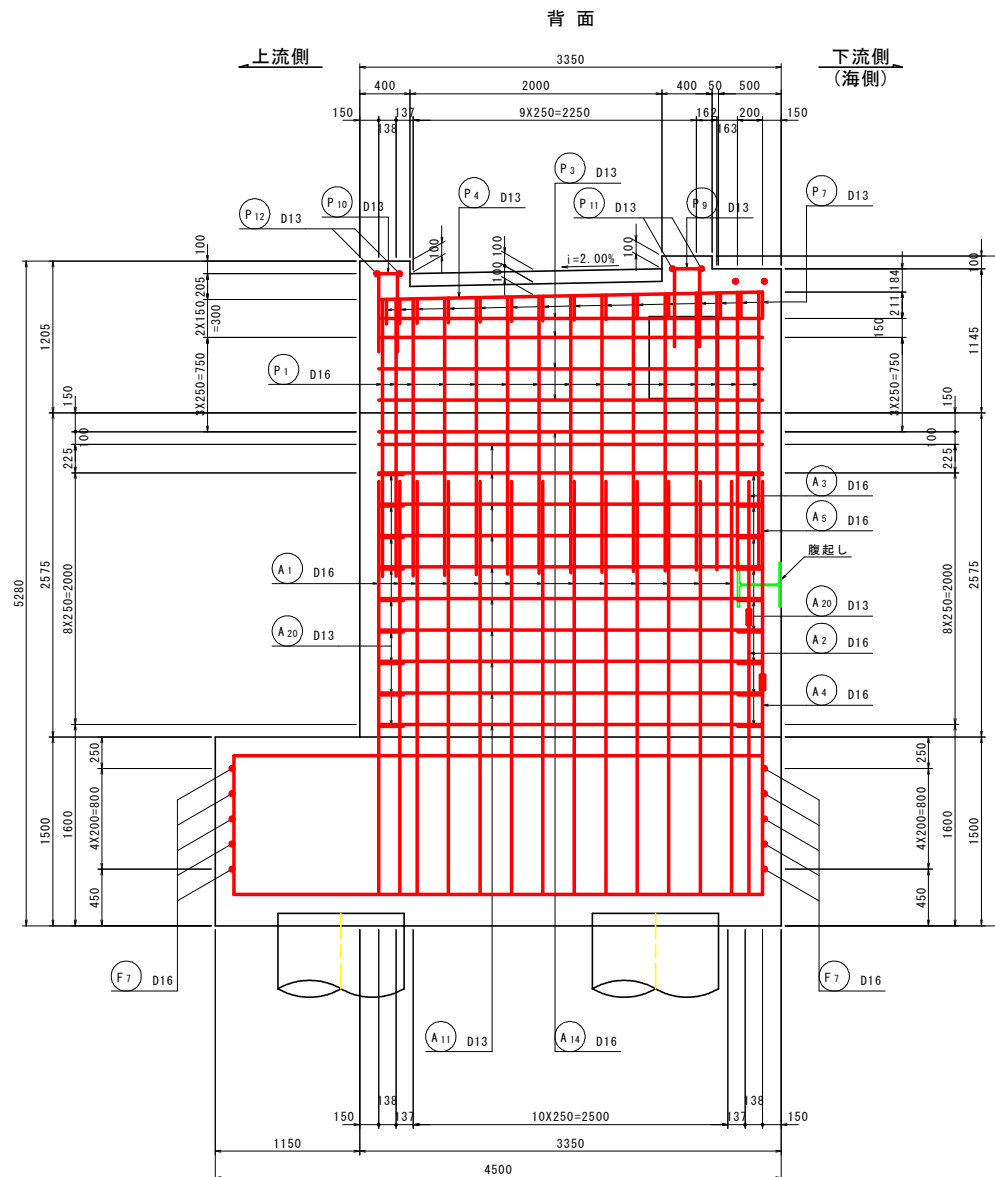
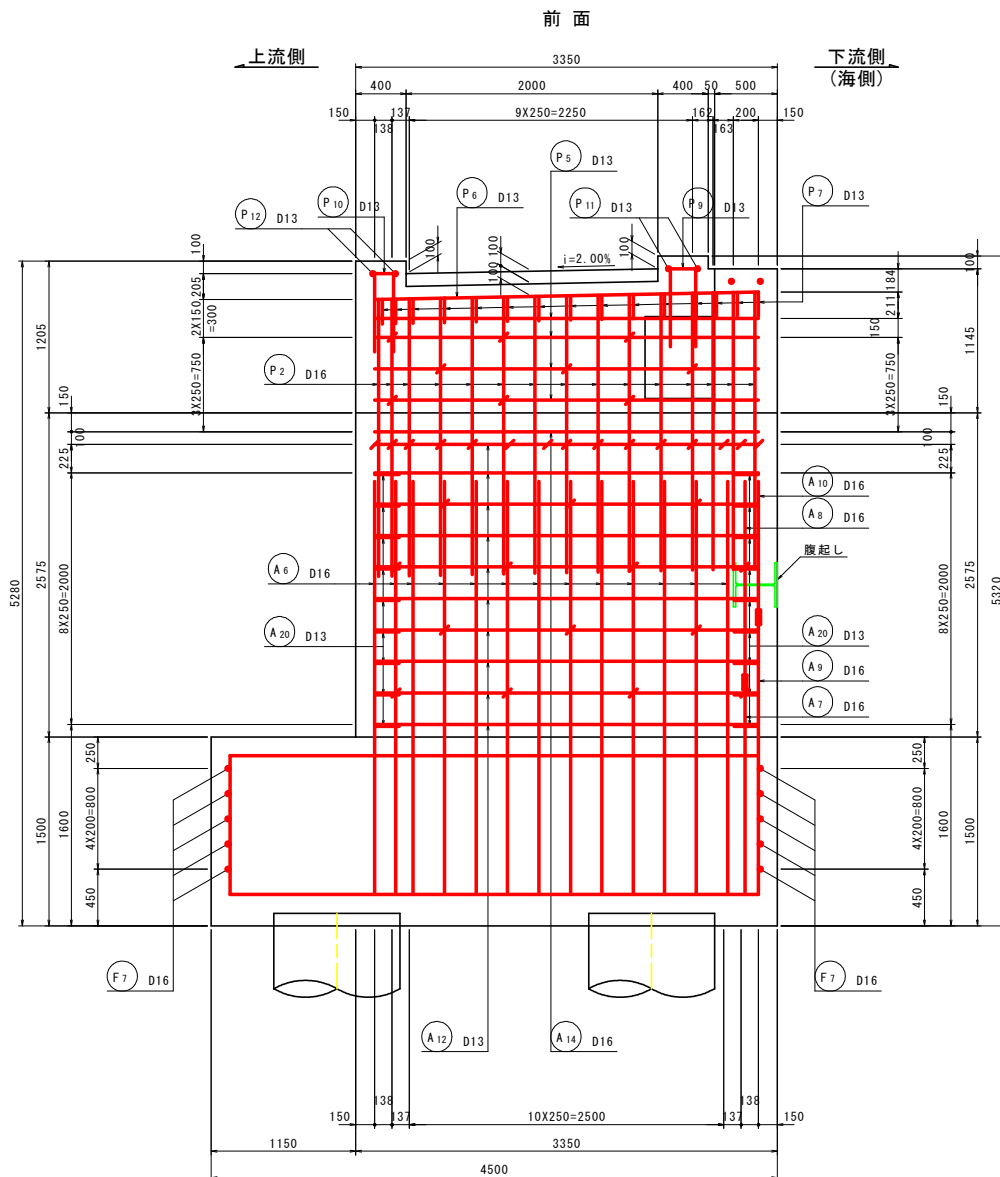
実施設計図面

工事名	R 8 鳴門公園線 鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	A 2橋台 土留め工計画図		
縮尺	図示	図面番号	8 / 32
年度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

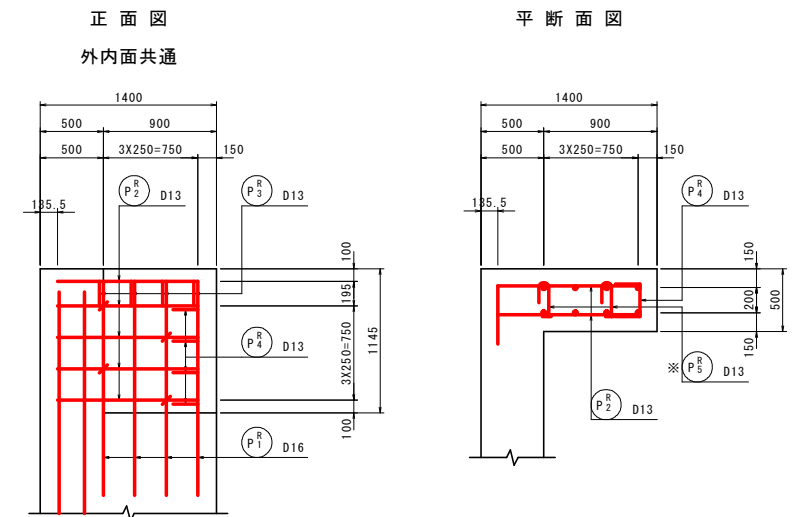
- ※施工計画上の留意点
- 1) 鋼矢板は、事前に布堀を行い圧入工法にて打設する。
 - 2) 支保工設置時の余堀りは、1.0mとする。
 - 3) 支保工は、フーチング施工後、良質土を埋戻し撤去する。
 - 4) 圧入前に上水管基礎の覆土を撤去し、詳細位置を確認する。
圧入時は基礎の観測を実施し、変位が無いことを確認する。

S=1 : 30

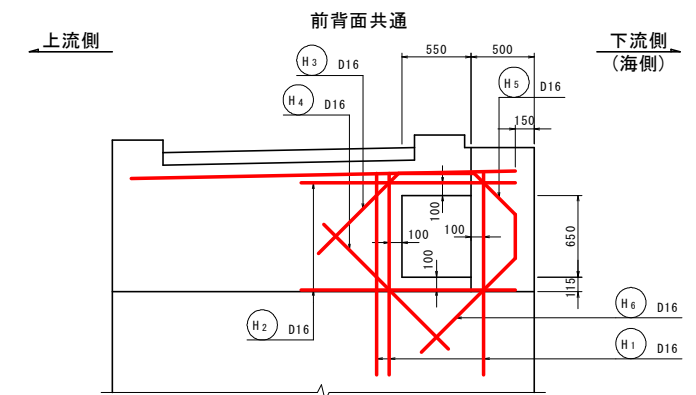
正面図



下流側巻込み壁



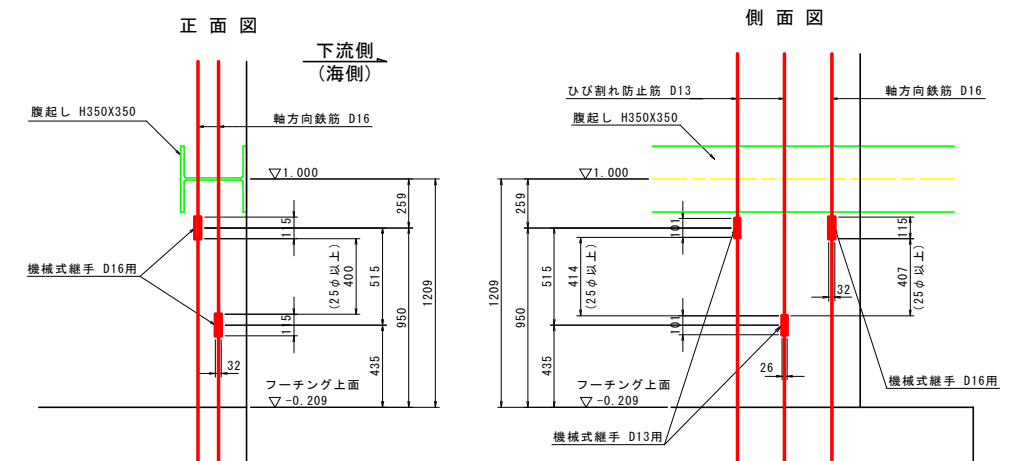
箱抜き補強鉄筋詳細図



注) ・箱抜きに当たる鉄筋は現場にて適宜切断すること。
・かぶりはすべて躯体から直角に100とする。

機械式継手部詳細図

S=1:20



注) 1. 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。

注) 2. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

- ①道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
- ②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じ定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注) 3. この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

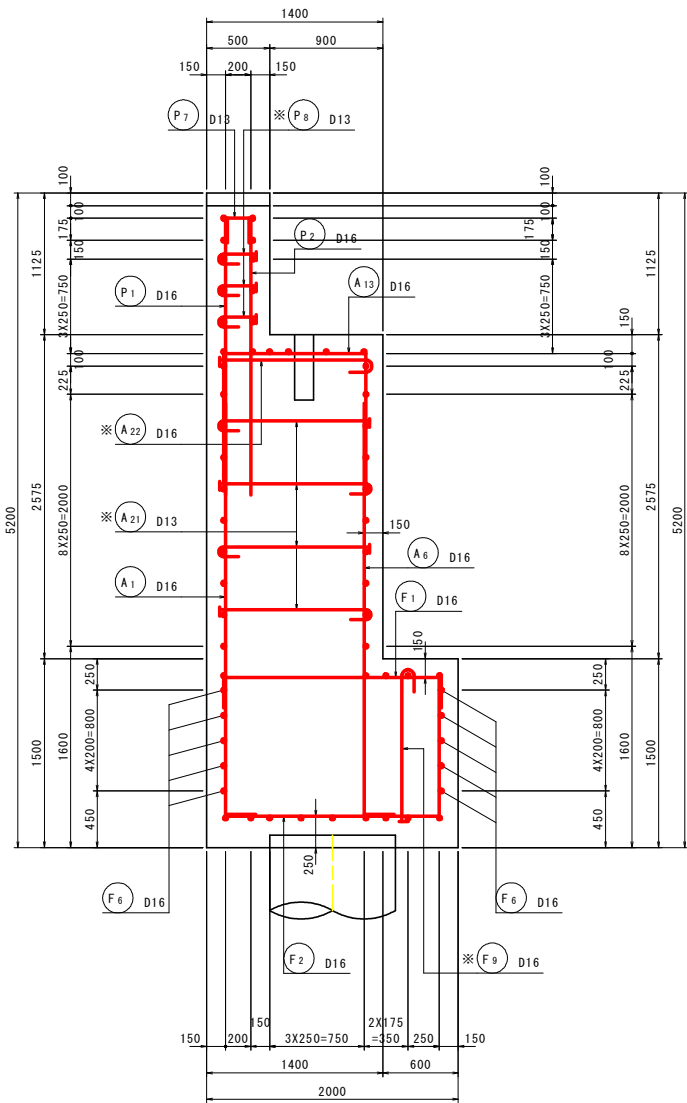
実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	A 1 橋台配筋図 (その 1)		
縮 尺	1:30	図面番号	9 / 32
年 度	令和 8 年度		
事業名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

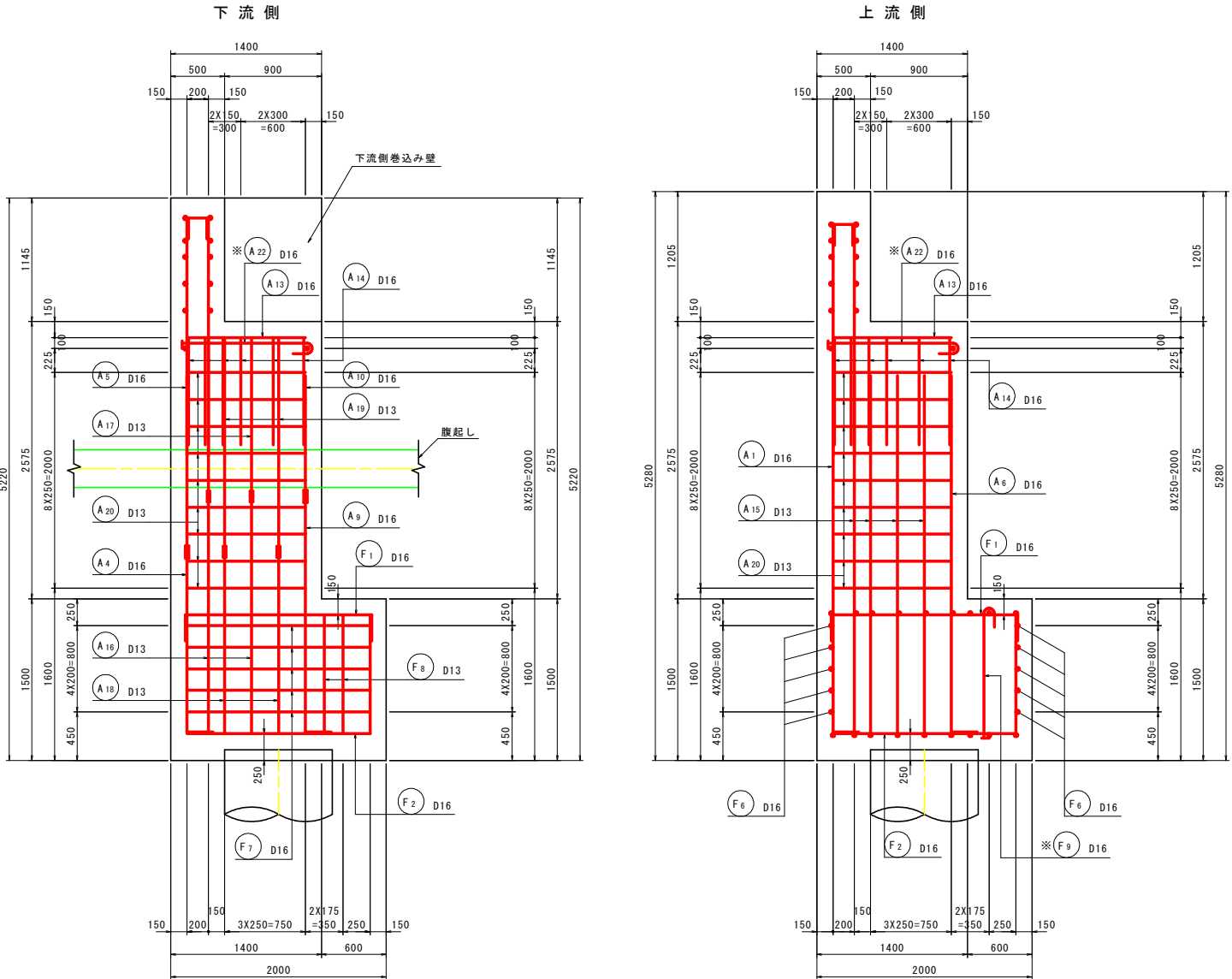
A 1 橋台配筋図（その2）

S=1:30

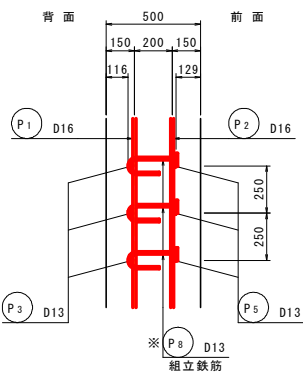
断面図



側面図

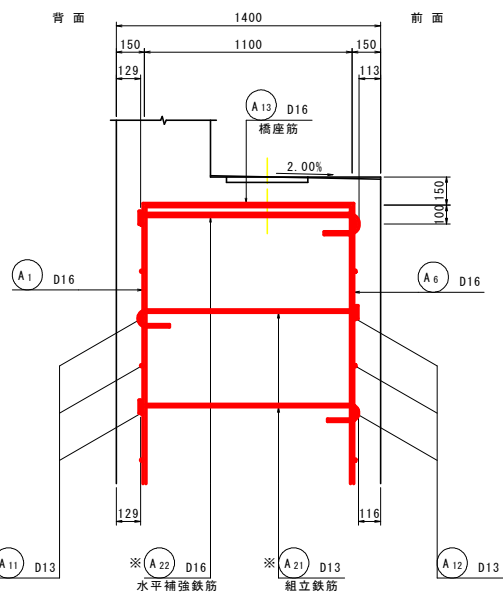


胸壁詳細図



注) 組立鉄筋は配力筋を囲み、背面側に半円形フックを配置する。

堅壁詳細図

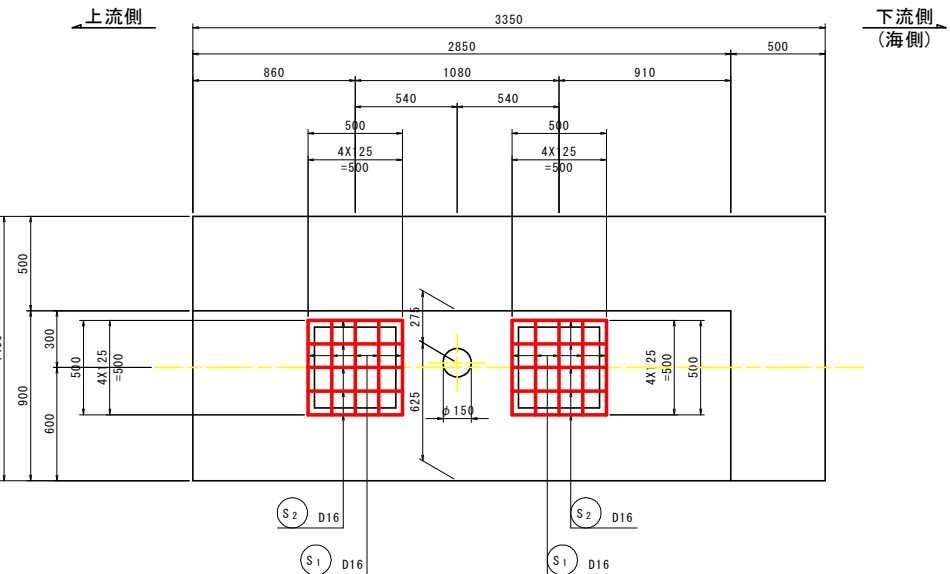


注) 組立鉄筋は配力筋を囲み、半円形フックと定着体を千鳥状に配置する。

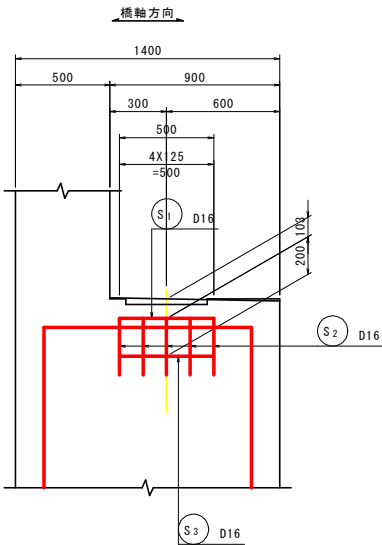
支承詳細図

S=1:20

平面図

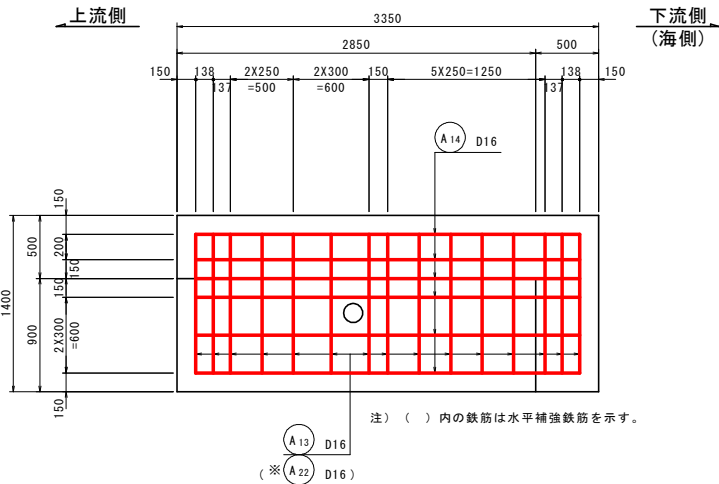


断面図



注) 橋座は2.00%の排水勾配を付けること。
最小かぶりを90mm以上確保すること。

受台平面図



注) () 内の鉄筋は水平補強鉄筋を示す。

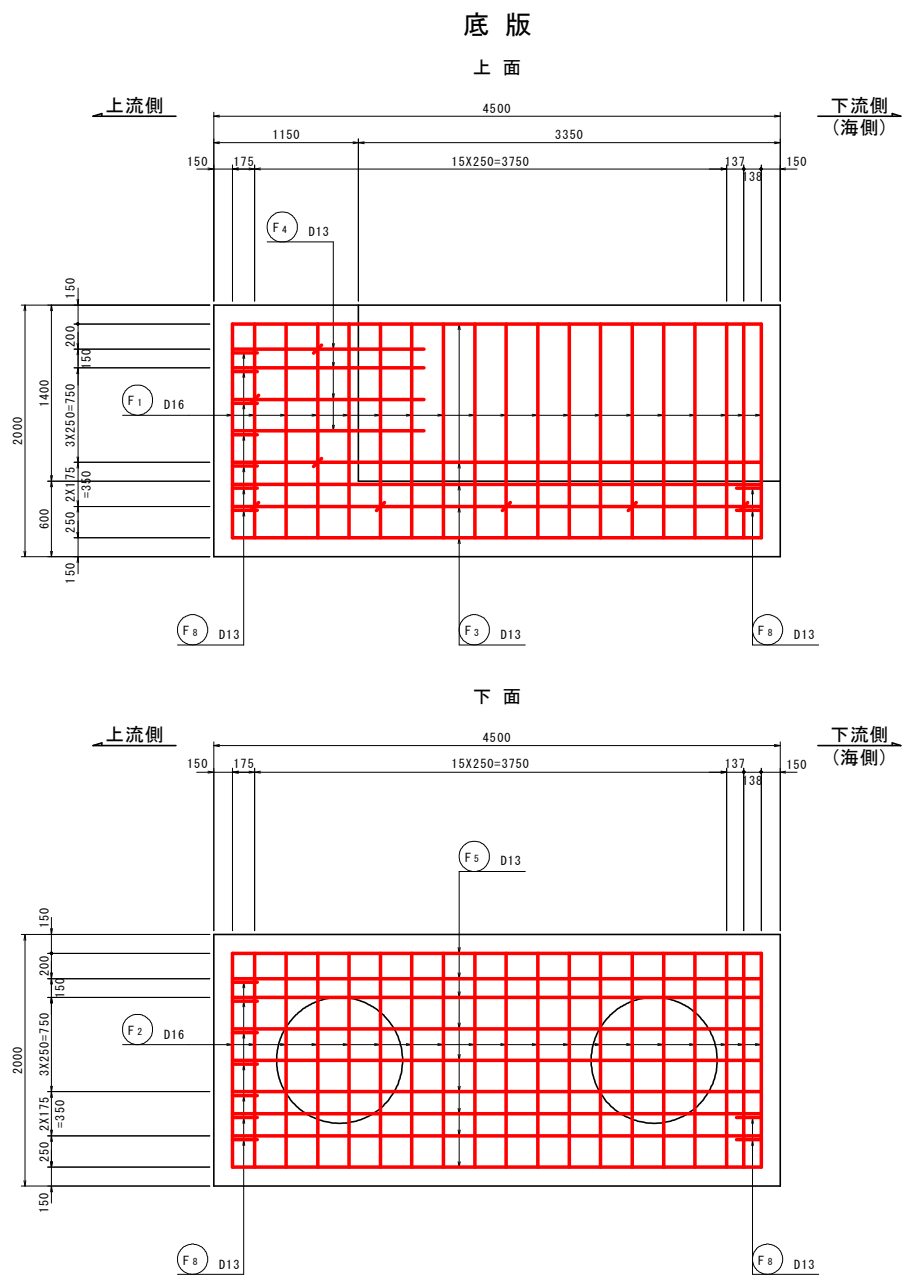
実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線		
路線名等	鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	A 1 橋台配筋図 (その2)		
縮 尺	1:30	図面番号	10 / 32
年 度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

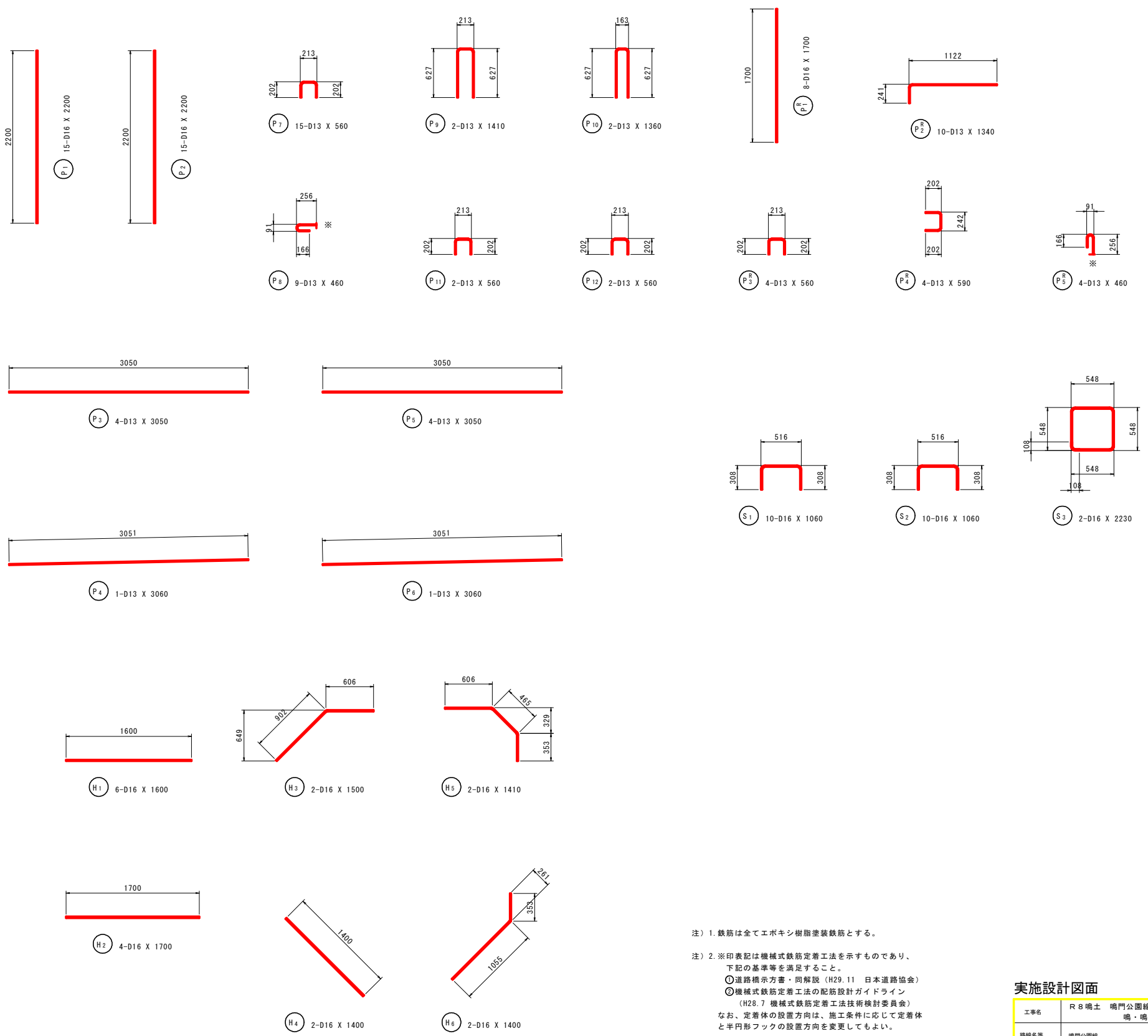
- 注) 1. 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。
- 注) 2. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
- ①道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
 - ②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
- なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
- 注) 3. この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

A 1 橋台配筋図（その3）

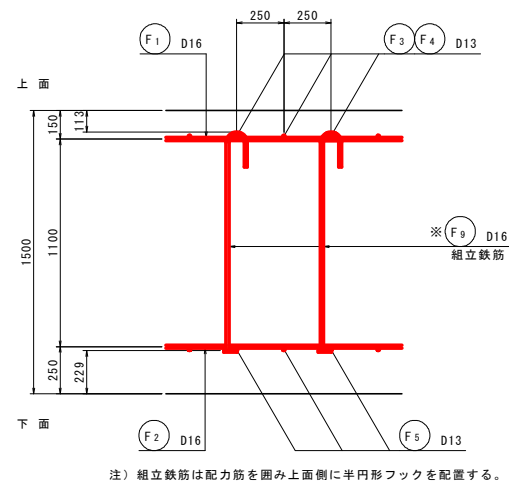
S=1:30



鉄筋加工図



フーチング詳細図



注) 組立鉄筋は配力筋を囲み上面側に半円形フックを配置する。

- 注) 1. 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。
- 注) 2. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
- ① 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
 - ② 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
- なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
- 注) 3. この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
- 注) 4. 1) 鉄筋の最小曲げ半径は、「道路橋示方書・同解説IIIコンクリート橋・コンクリート部材編」及び「道路橋示方書・同解説IV下部構造編」(平成29年11月)による。
- 2) 曲げ寸法は、円弧部の曲げ半径は鉄筋の内半径を示し、円弧部以外は鉄筋の外形寸法を示す。
- 3) 鉄筋長は、鉄筋の中心寸法を示す。

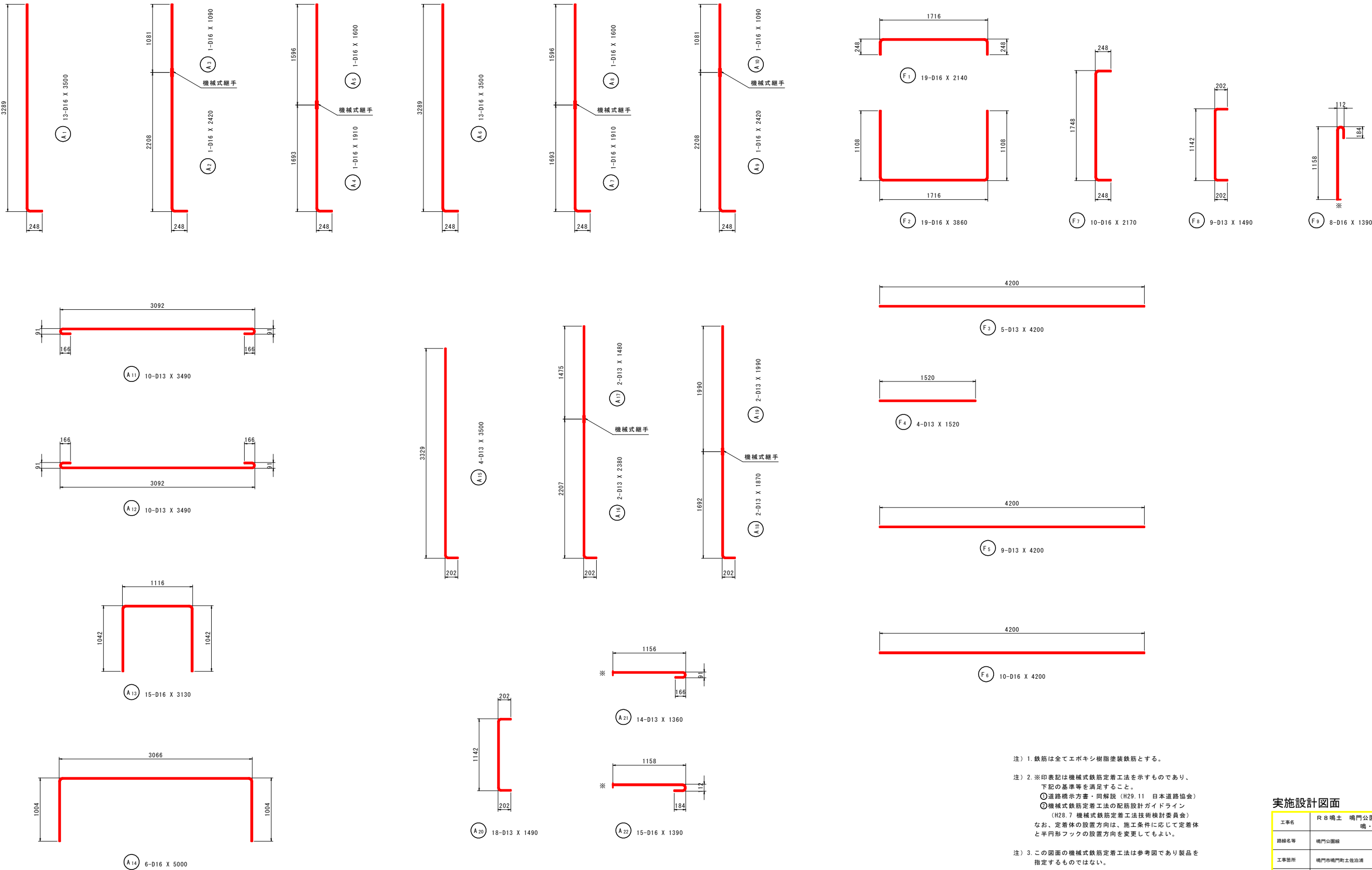
実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	A 1 橋台配筋図 (その3)		
縮尺	1:30	図面番号	11 / 32
年度	令和8年度		
事業名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

A 1 橋台配筋図（その4）

S=1:30

鉄筋加工図



注) 1. 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。
注) 2. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
①道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注) 3. この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

注) 4. 1) 鉄筋の最小曲げ半径は、「道路橋示方書・同解説IIIコンクリート橋・コンクリート部材編」及び「道路橋示方書・同解説IV下部構造編」(平成29年11月)による。
2) 曲げ寸法は、円弧部の曲げ半径は鉄筋の内半径を示し、円弧部以外は鉄筋の外寸法を示す。
3) 鉄筋長は、鉄筋の中心寸法を示す。

実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	A 1 橋台配筋図 (その4)		
縮 尺	1:30	図面番号	12 / 32
年 度	令和 8 年度		
事業名等	徳島県土整備事務所鳴門支所		

A 1 橋台配筋図（その5）

S=1:30

鉄筋質量表

1.0基当り

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
P 1	D16	2200	15	1.56	3.43	51	└┐
P 2	〃	2200	15	〃	3.43	51	└┐
P 3	D13	3050	4	0.995	3.03	12	└┐
P 4	〃	3060	1	〃	3.04	3	└┐
P 5	〃	3050	4	〃	3.03	12	└┐
P 6	〃	3060	1	〃	3.04	3	└┐
P 7	〃	560	15	〃	0.56	8	└┐
P 8	〃	460	9	〃	0.46	4	└┐ ※
P 9	〃	1410	2	〃	1.40	3	└┐
P 10	〃	1360	2	〃	1.35	3	└┐
P 11	〃	560	2	〃	0.56	1	└┐
P 12	〃	560	2	〃	0.56	1	└┐
152 kg							
P R 1	D16	1700	8	1.56	2.65	21	└┐
P R 2	D13	1340	10	0.995	1.33	13	└┐
P R 3	〃	560	4	〃	0.56	2	└┐
P R 4	〃	590	4	〃	0.59	2	└┐
P R 5	〃	460	4	〃	0.46	2	└┐ ※
40 kg							
H 1	D16	1600	6	1.56	2.50	15	└┐
H 2	〃	1700	4	〃	2.65	11	└┐
H 3	〃	1500	2	〃	2.34	5	└┐
H 4	〃	1400	2	〃	2.18	4	└┐
H 5	〃	1410	2	〃	2.20	4	└┐
H 6	〃	1400	2	〃	2.18	4	└┐
43 kg							
S 1	D16	1060	10	1.56	1.65	17	└┐
S 2	〃	1060	10	〃	1.65	17	└┐
S 3	〃	2230	2	〃	3.48	7	└┐
41 kg							
A 1	D16	3500	13	1.56	5.46	71	└┐
A 2	〃	2420	1	〃	3.78	4	└┐ (1)
A 3	〃	1090	1	〃	1.70	2	└┐
A 4	〃	1910	1	〃	2.98	3	└┐ (1)
A 5	〃	1600	1	〃	2.50	3	└┐
A 6	〃	3500	13	〃	5.46	71	└┐
A 7	〃	1910	1	〃	2.98	3	└┐ (1)
A 8	〃	1600	1	〃	2.50	3	└┐
A 9	〃	2420	1	〃	3.78	4	└┐ (1)
A 10	〃	1090	1	〃	1.70	2	└┐
A 11	D13	3490	10	0.995	3.47	35	└┐
A 12	〃	3490	10	〃	3.47	35	└┐
A 13	D16	3130	15	1.56	4.88	73	└┐
A 14	〃	5000	6	〃	7.80	47	└┐
A 15	D13	3500	4	0.995	3.48	14	└┐
A 16	〃	2380	2	〃	2.37	5	└┐ (2)
A 17	〃	1480	2	〃	1.47	3	└┐
A 18	〃	1870	2	〃	1.86	4	└┐ (2)
A 19	〃	1990	2	〃	1.98	4	└┐
A 20	〃	1490	18	〃	1.48	27	└┐
A 21	〃	1360	14	〃	1.35	19	└┐ ※
A 22	D16	1390	15	1.56	2.17	33	└┐ ※
465 kg							

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
F 1	D16	2140	19	1.56	3.34	63	└┐
F 2	〃	3860	19	〃	6.02	114	└┐
F 3	D13	4200	5	0.995	4.18	21	└┐
F 4	〃	1520	4	〃	1.51	6	└┐
F 5	〃	4200	9	〃	4.18	38	└┐
F 6	D16	4200	10	1.56	6.55	66	└┐
F 7	〃	2170	10	〃	3.39	34	└┐
F 8	D13	1490	9	0.995	1.48	13	└┐
F 9	D16	1390	8	1.56	2.17	17	└┐ ※
372 kg							
(機械式継手箇所)							
合 計 D16 820 kg (4)							
D13 293 kg (4)							
総質量 1113 kg (8) (SD345)							

注) 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。
注) () 内の数値は機械式継手箇所を示す。

機械式鉄筋定着工法数量表

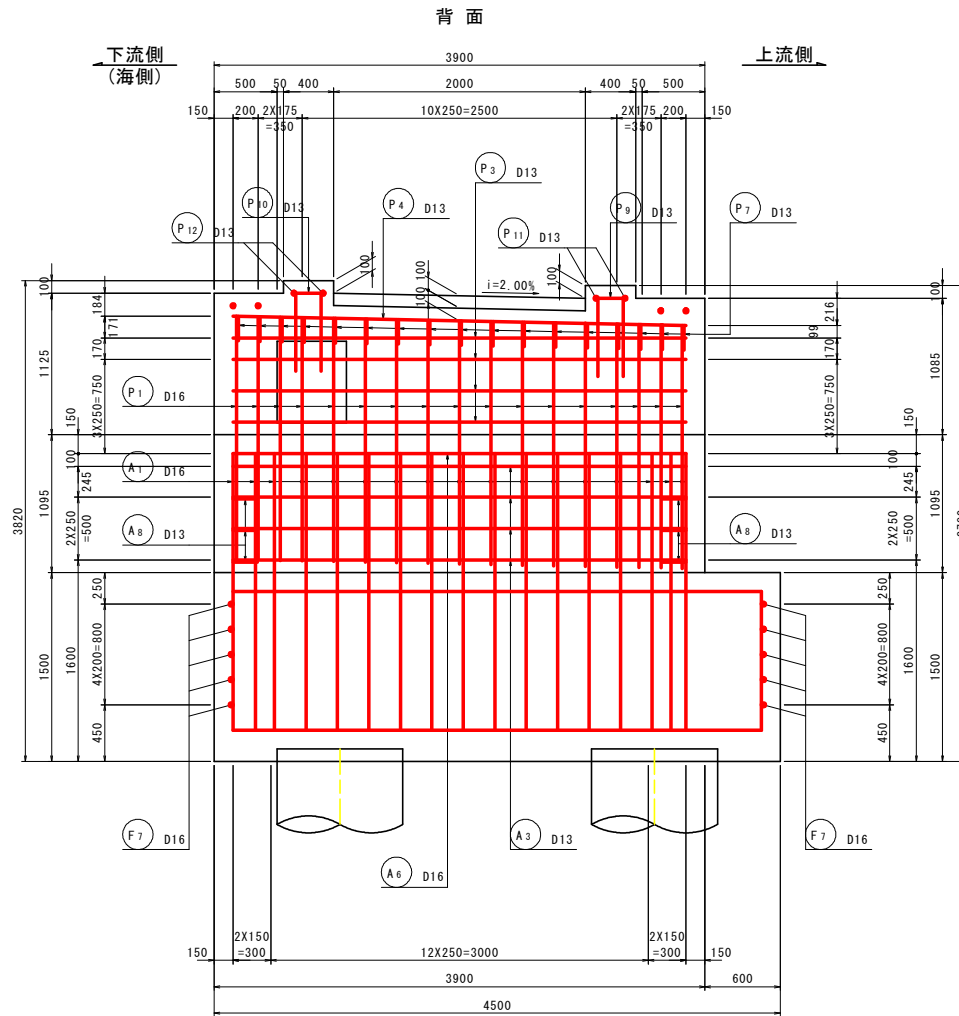
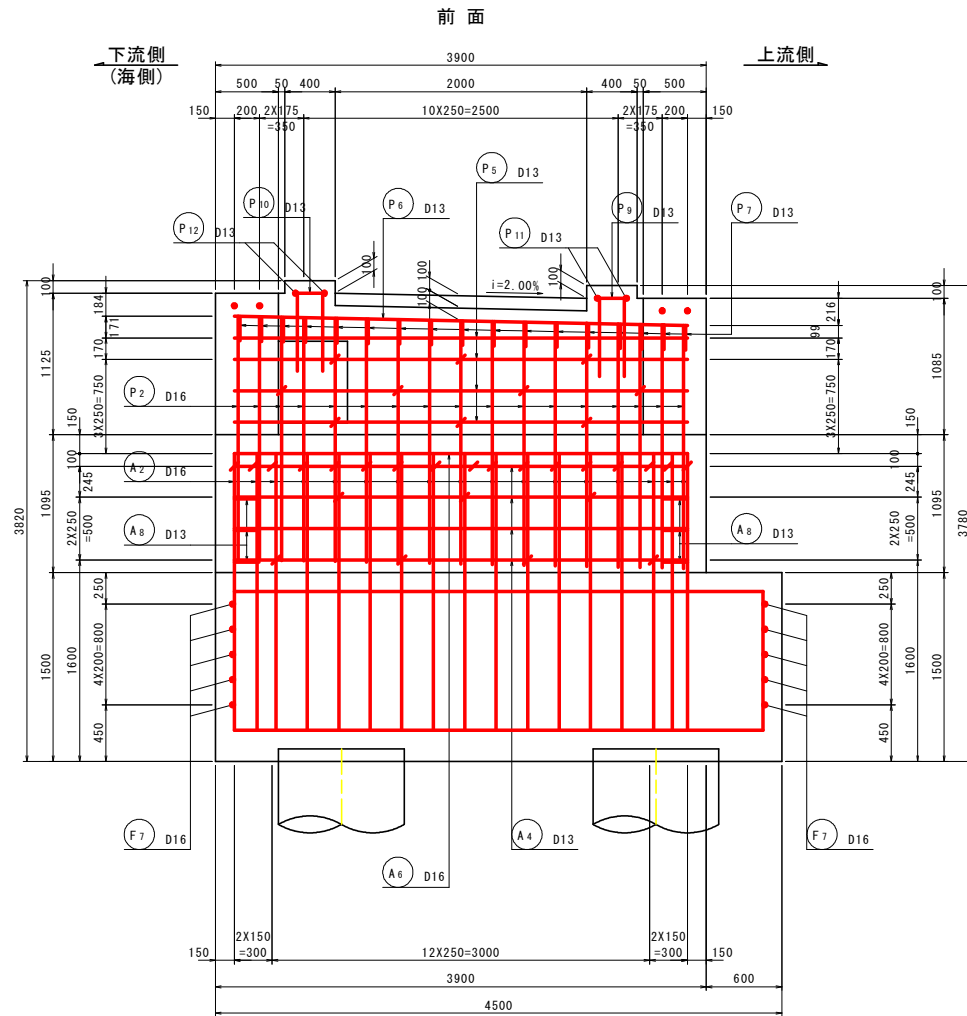
鉄筋径	箇 所 数					
	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D13	13	14	-	-	-	-
D16	-	23	-	-	-	-
小 計	13	37	-	-	-	-
合 計	50					

実施設計図面

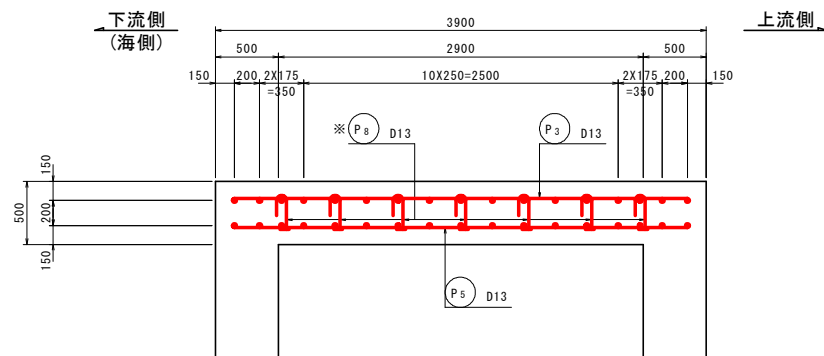
工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	A 1 橋台配筋図（その5）		
縮 尺	1:30	図面番号	13 / 32
年 度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

S=1 : 30

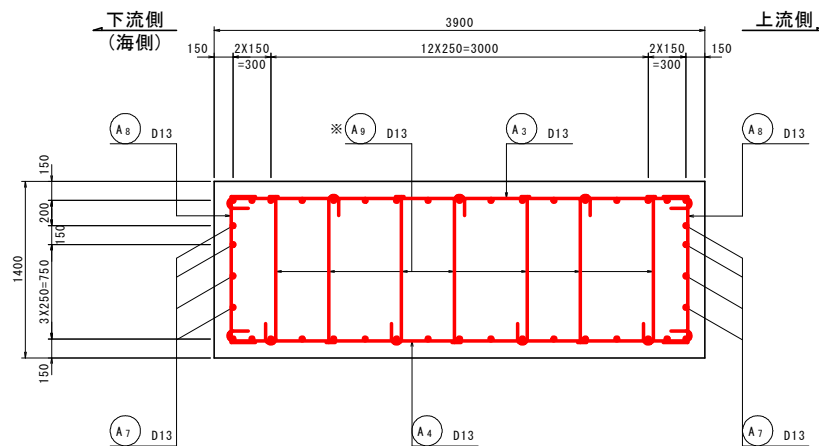
正面図



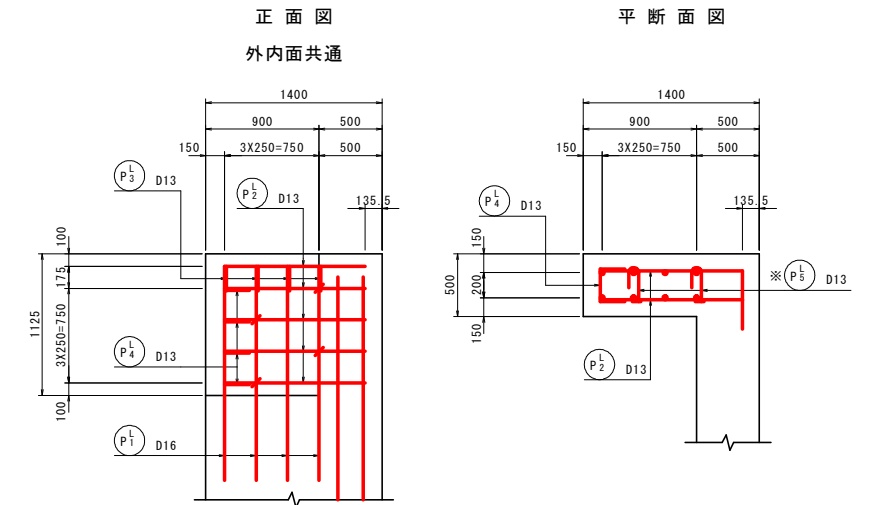
胸壁平断面図



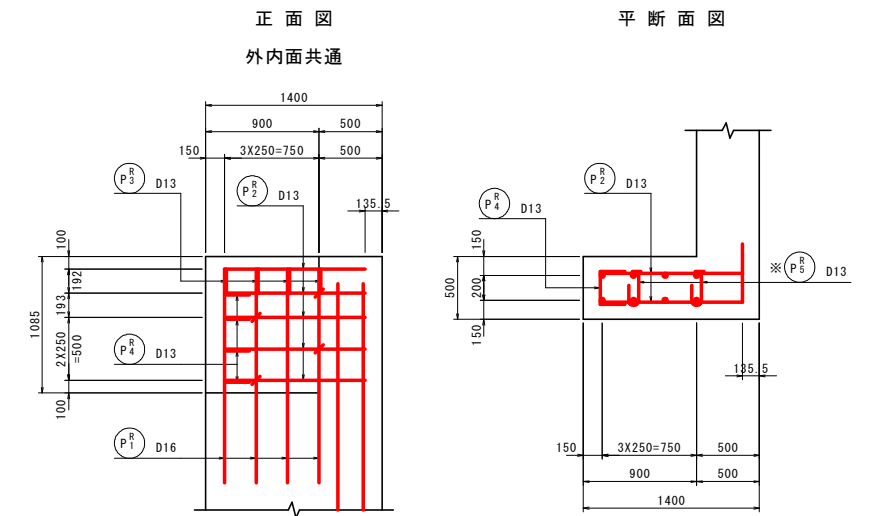
豎壁平断面図



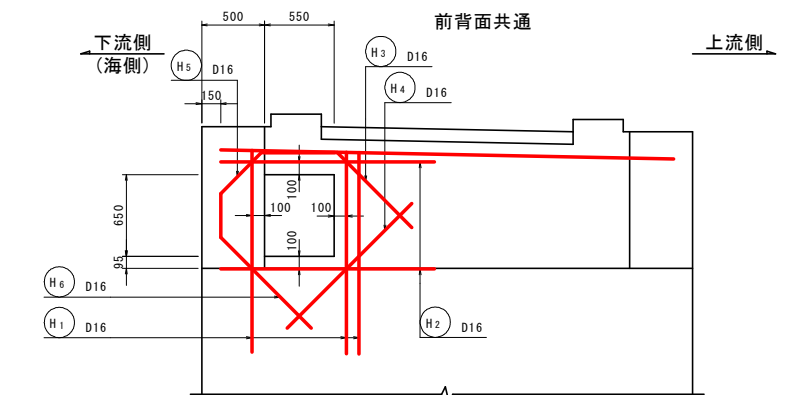
下流側巻込み壁



上流側巻込み壁



箱抜き補強鉄筋詳細図



注)・箱抜きに当たる鉄筋は現場にて適宜切断すること。
・かぶりはすべて躯体から直角に100とする。

実施設計図面

注) 1. 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。

注) 2. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

- 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
- 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

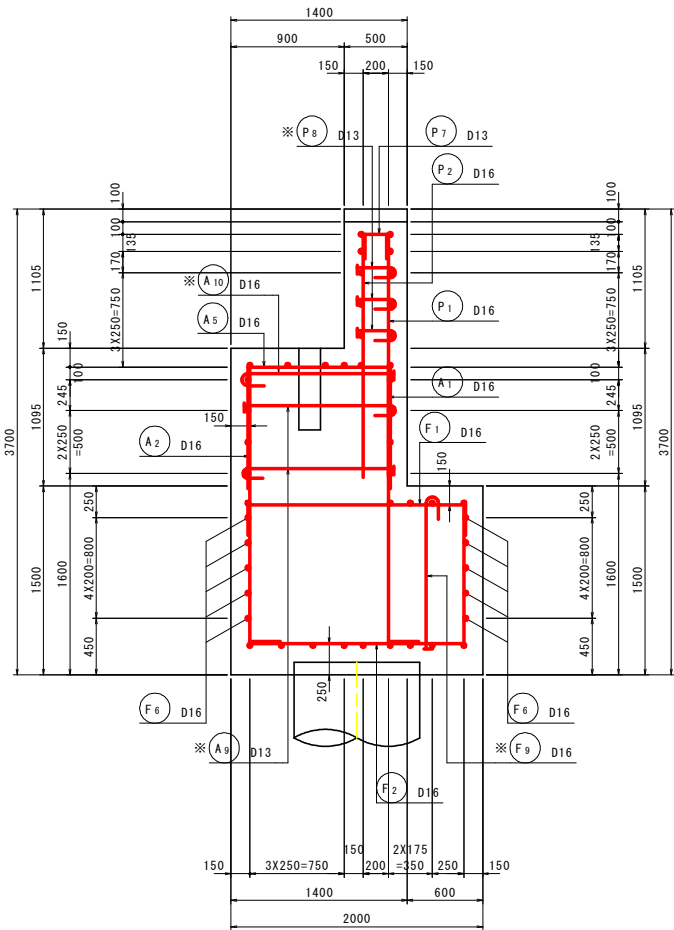
注) 3. この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門市佐治浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐治浦		
図面名	A 2 橋台配図面 (その 1)		
縮 尺	1 : 30	図面番号	14 / 32
年 度	令和 8 年度		
事業名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

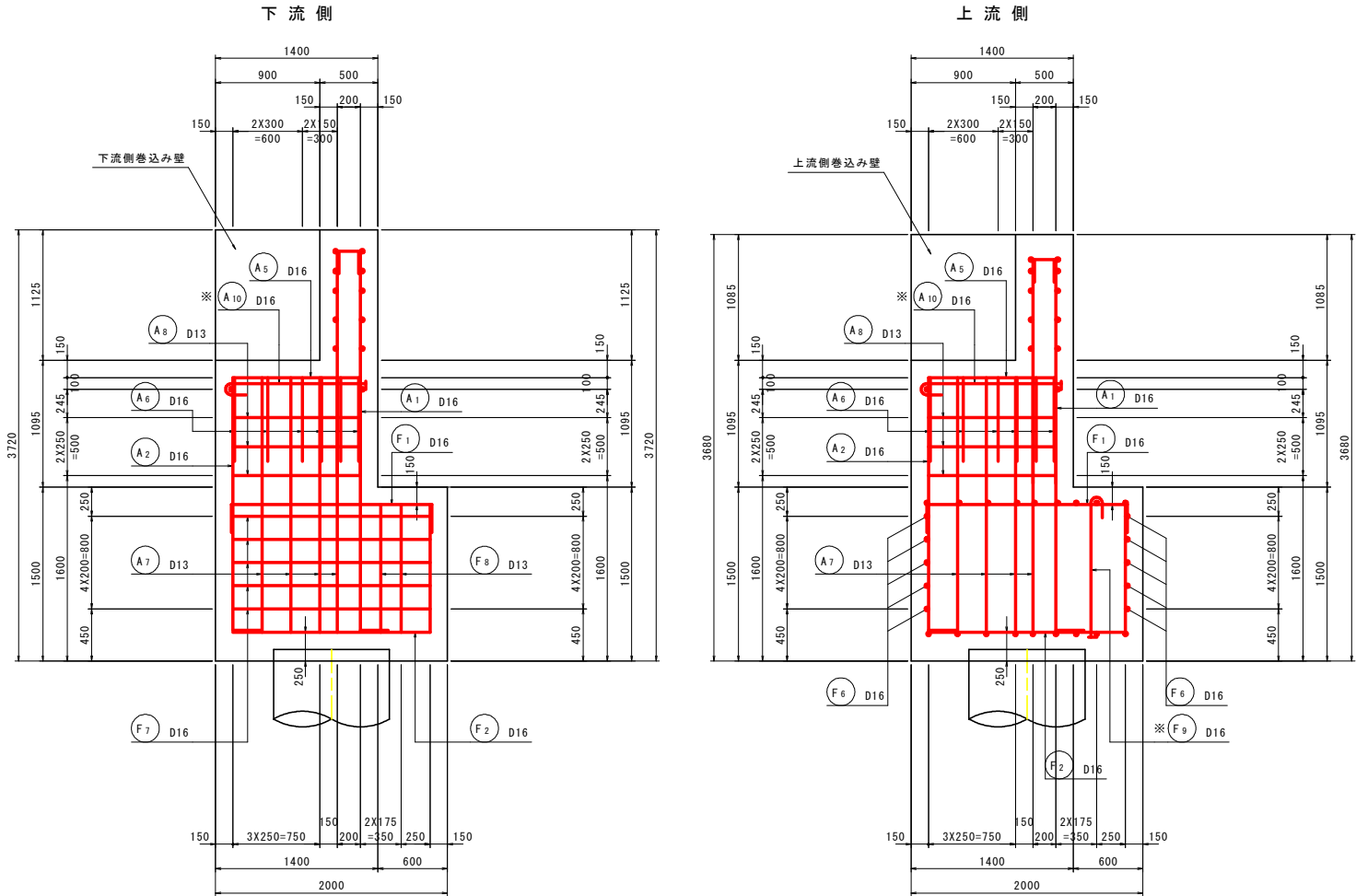
A 2 橋台配筋図（その2）

S=1:30

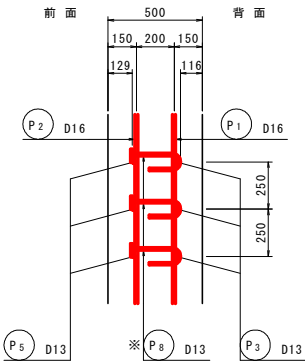
断面図



側面図

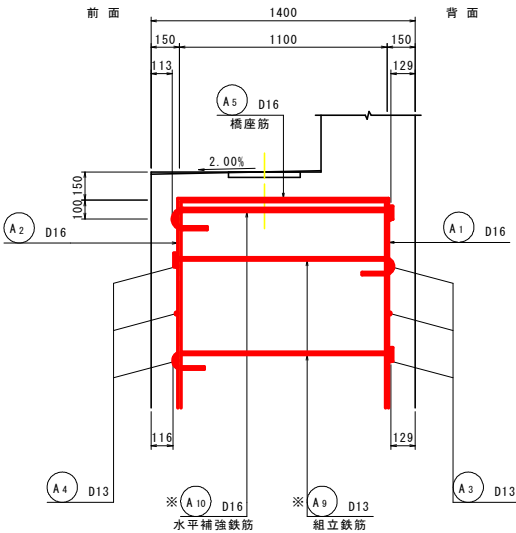


胸壁詳細図



注) 組立鉄筋は配力筋を囲み、背面側に半円形フックを配置する。

縦壁詳細図

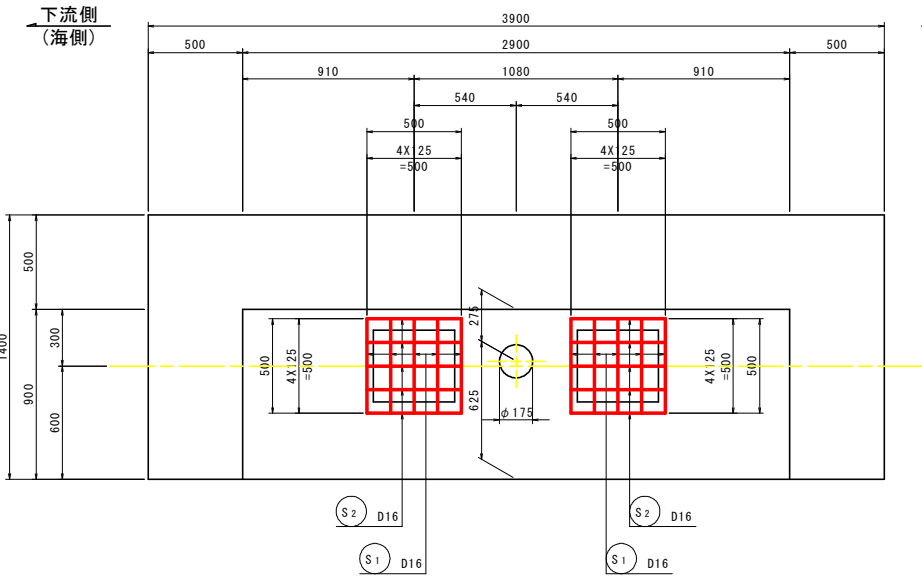


注) 組立鉄筋は配力筋を囲み、半円形フックと定着体を千鳥状に配置する。

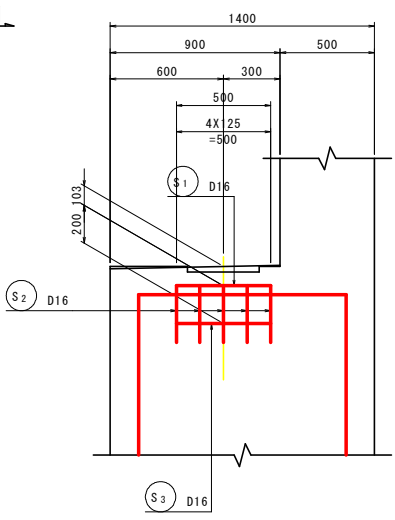
支承詳細図

S=1:20

平面図

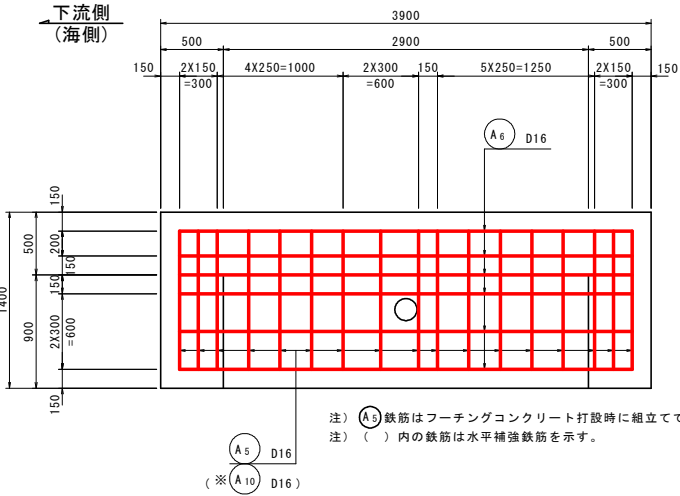


断面図



注) 橋座は2.00%の排水勾配を付けること。
最小かぶりを90mm以上確保すること。

受台平面図



注) ①鉄筋はフーチングコンクリート打設時に組立てておくこと。
注) () 内の鉄筋は水平補強鉄筋を示す。

実施設計図面

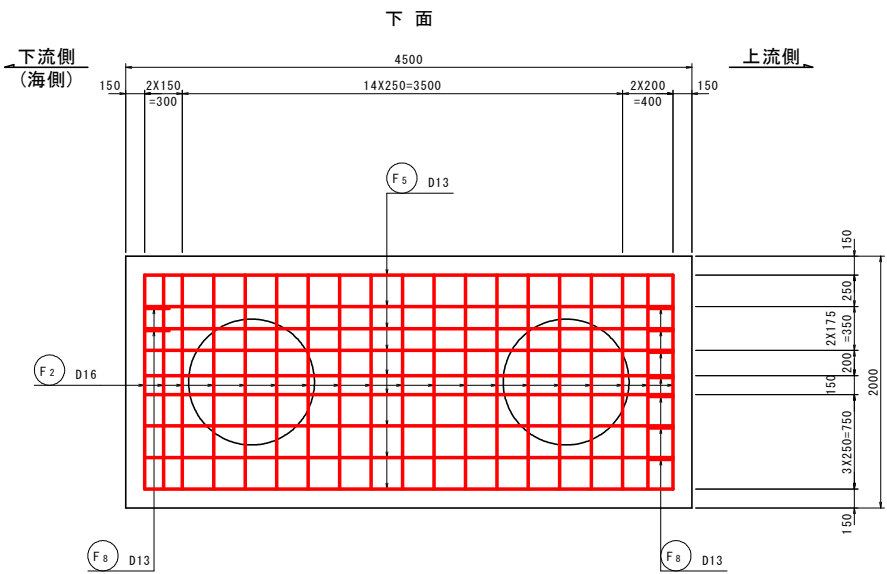
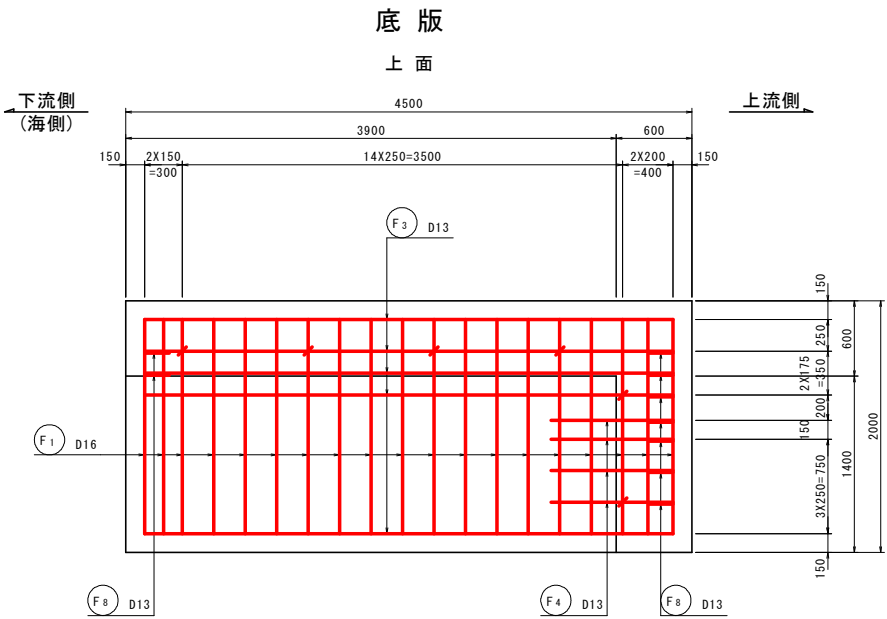
工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	A 2 橋台配筋図 (その2)		
縮 尺	1:30	図面番号	15 / 32
年 度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

注) 1. 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。
注) 2. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
①道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体
と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
注) 3. この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を
指定するものではない。

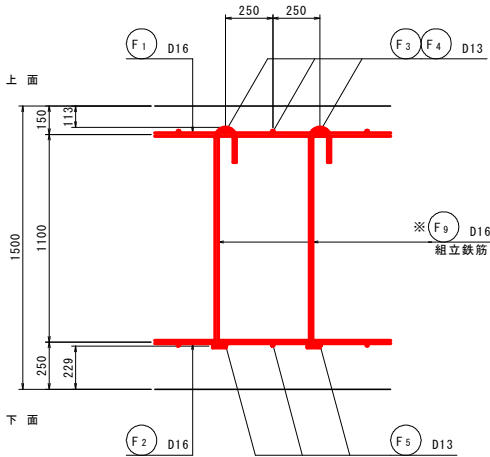
A 2 橋台配筋図（その3）

S=1:30

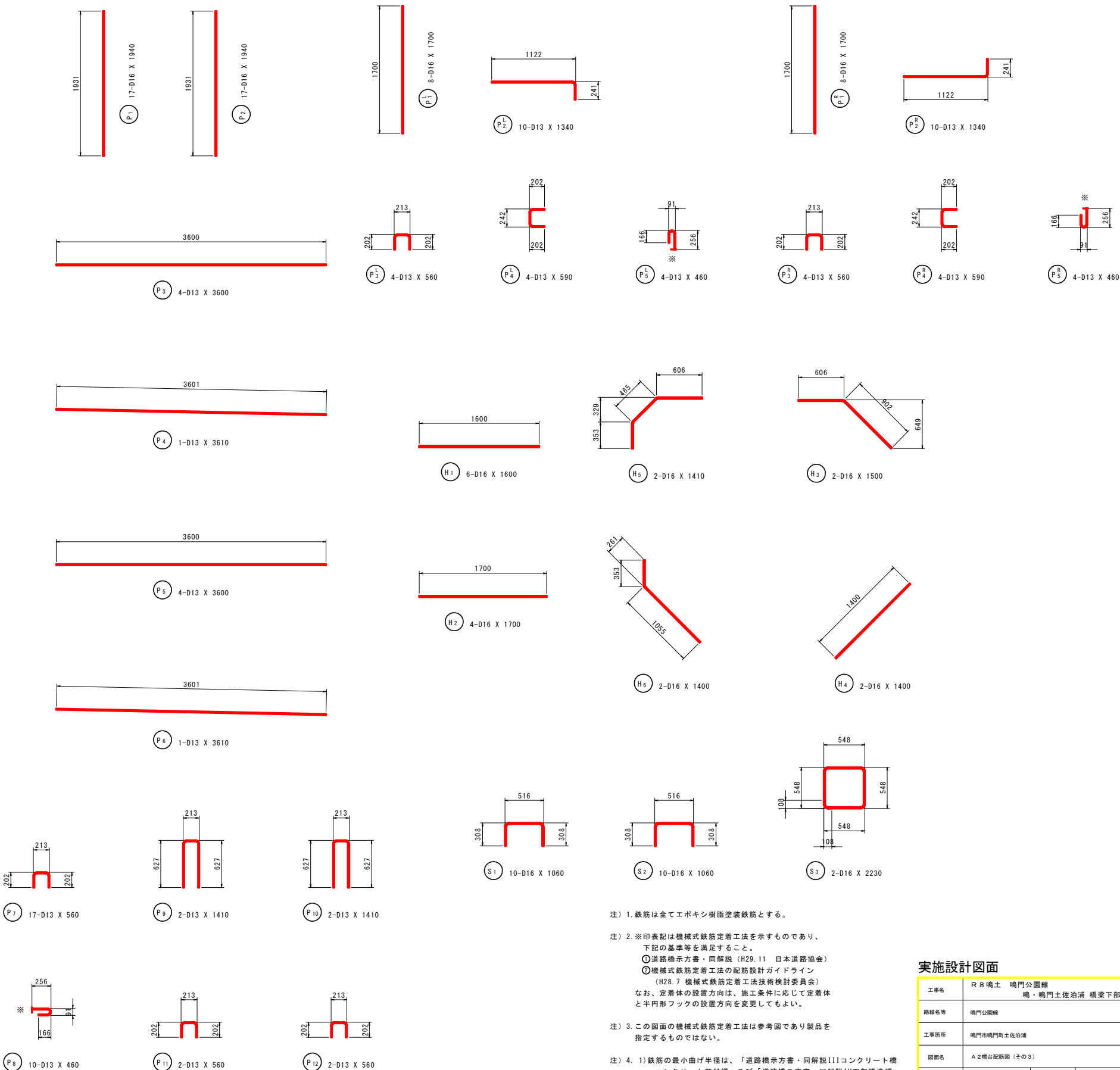
鉄筋加工図



フーチング詳細図



注) 組立鉄筋は配力筋を囲み上面側に半円形フックを配置する。



注) 1. 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。
注) 2. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等満足すること。
①道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注) 3. この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。
注) 4. 1) 鉄筋の最小曲げ半径は、「道路橋示方書・同解説IIIコンクリート橋・コンクリート部材編」及び「道路橋示方書・同解説IV下部構造編」(平成29年11月)による。
2) 曲げ寸法は、円弧部の曲げ半径は鉄筋の内半径を示し、円弧部以外は鉄筋の外形寸法を示す。
3) 鉄筋長は、鉄筋の中心寸法を示す。

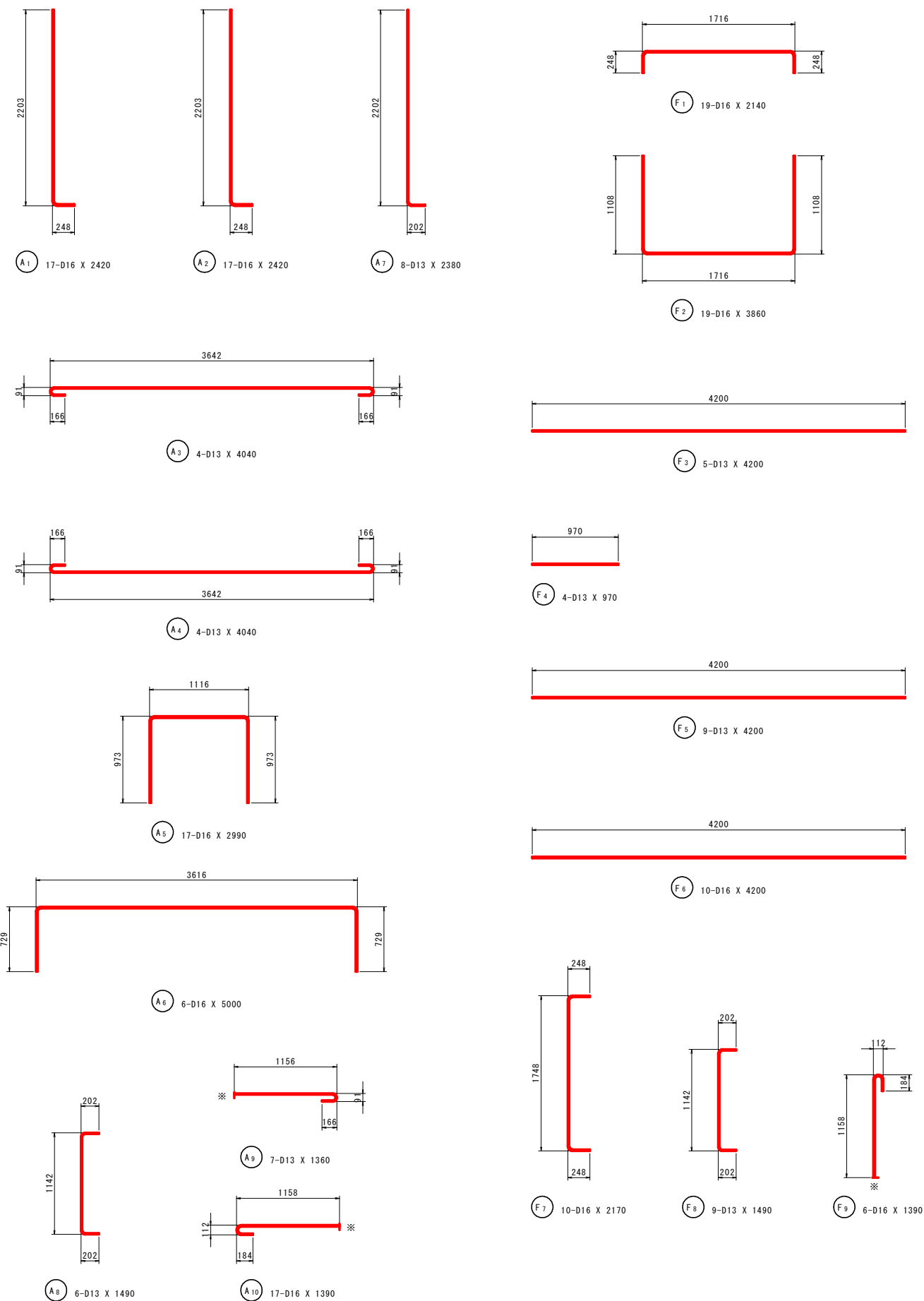
実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線		
路線名等	鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	A 2 橋台配筋図 (その3)		
縮 尺	1:30	図面番号	16 / 32
年 度	令和 8 年度		
事業名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

A 2 橋台配筋図（その4）

S=1:30

鉄筋加工図



鉄筋質量表

種 別	径	長 さ	本 数	単 位 質 量	一 本 当 り 質 量	質 量	摘 要
P 1	D16	1940	17	1.56	3.03	52	
P 2	"	1940	17	"	3.03	52	
P 3	D13	3600	4	0.995	3.58	14	—
P 4	"	3610	1	"	3.59	4	—
P 5	"	3600	4	"	3.58	14	—
P 6	"	3610	1	"	3.59	4	—
P 7	"	560	17	"	0.56	10	⌋
P 8	"	460	10	"	0.46	5	⌋ ※
P 9	"	1410	2	"	1.40	3	⌋
P 10	"	1410	2	"	1.40	3	⌋
P 11	"	560	2	"	0.56	1	⌋
P 12	"	560	2	"	0.56	1	⌋
163 kg							
P ^L 1	D16	1700	8	1.56	2.65	21	
P ^L 2	D13	1340	10	0.995	1.33	13	—
P ^L 3	"	560	4	"	0.56	2	⌋
P ^L 4	"	590	4	"	0.59	2	⌋
P ^L 5	"	460	4	"	0.46	2	⌋ ※
40 kg							
P ^R 1	D16	1700	8	1.56	2.65	21	
P ^R 2	D13	1340	10	0.995	1.33	13	—
P ^R 3	"	560	4	"	0.56	2	⌋
P ^R 4	"	590	4	"	0.59	2	⌋
P ^R 5	"	460	4	"	0.46	2	⌋ ※
40 kg							
H 1	D16	1600	6	1.56	2.50	15	—
H 2	"	1700	4	"	2.65	11	—
H 3	"	1500	2	"	2.34	5	—
H 4	"	1400	2	"	2.18	4	—
H 5	"	1410	2	"	2.20	4	—
H 6	"	1400	2	"	2.18	4	—
43 kg							
S 1	D16	1060	10	1.56	1.65	17	⌋
S 2	"	1060	10	"	1.65	17	⌋
S 3	"	2230	2	"	3.48	7	⌋
41 kg							
A 1	D16	2420	17	1.56	3.78	64	
A 2	"	2420	17	"	3.78	64	
A 3	D13	4040	4	0.995	4.02	16	—
A 4	"	4040	4	"	4.02	16	—
A 5	D16	2990	17	1.56	4.66	79	⌋
A 6	"	5000	6	"	7.80	47	⌋
A 7	D13	2380	8	0.995	2.37	19	
A 8	"	1490	6	"	1.48	9	[
A 9	"	1360	7	"	1.35	9	⌋ ※
A 10	D16	1390	17	1.56	2.17	37	⌋ ※
360 kg							

種 別	径	長 さ	本 数	単 位 質 量	一 本 当 り 質 量	質 量	摘 要
F 1	D16	2140	19	1.56	3.34	63	⌋
F 2	"	3860	19	"	6.02	114	⌋
F 3	D13	4200	5	0.995	4.18	21	—
F 4	"	970	4	"	0.97	4	—
F 5	"	4200	9	"	4.18	38	—
F 6	D16	4200	10	1.56	6.55	66	—
F 7	"	2170	10	"	3.39	34	[
F 8	D13	1490	9	0.995	1.48	13	[
F 9	D16	1390	6	1.56	2.17	13	⌋ ※
366 kg							
合 計 D16 811 kg							
D13 242 kg							
総質量 1053 kg (SD345)							

注) 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。

機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇 所 数					
	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D13	18	7	-	-	-	-
D16	-	23	-	-	-	-
小 計	18	30	-	-	-	-
合 計	48					

注) 1. 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。
注) 2. ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
①道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

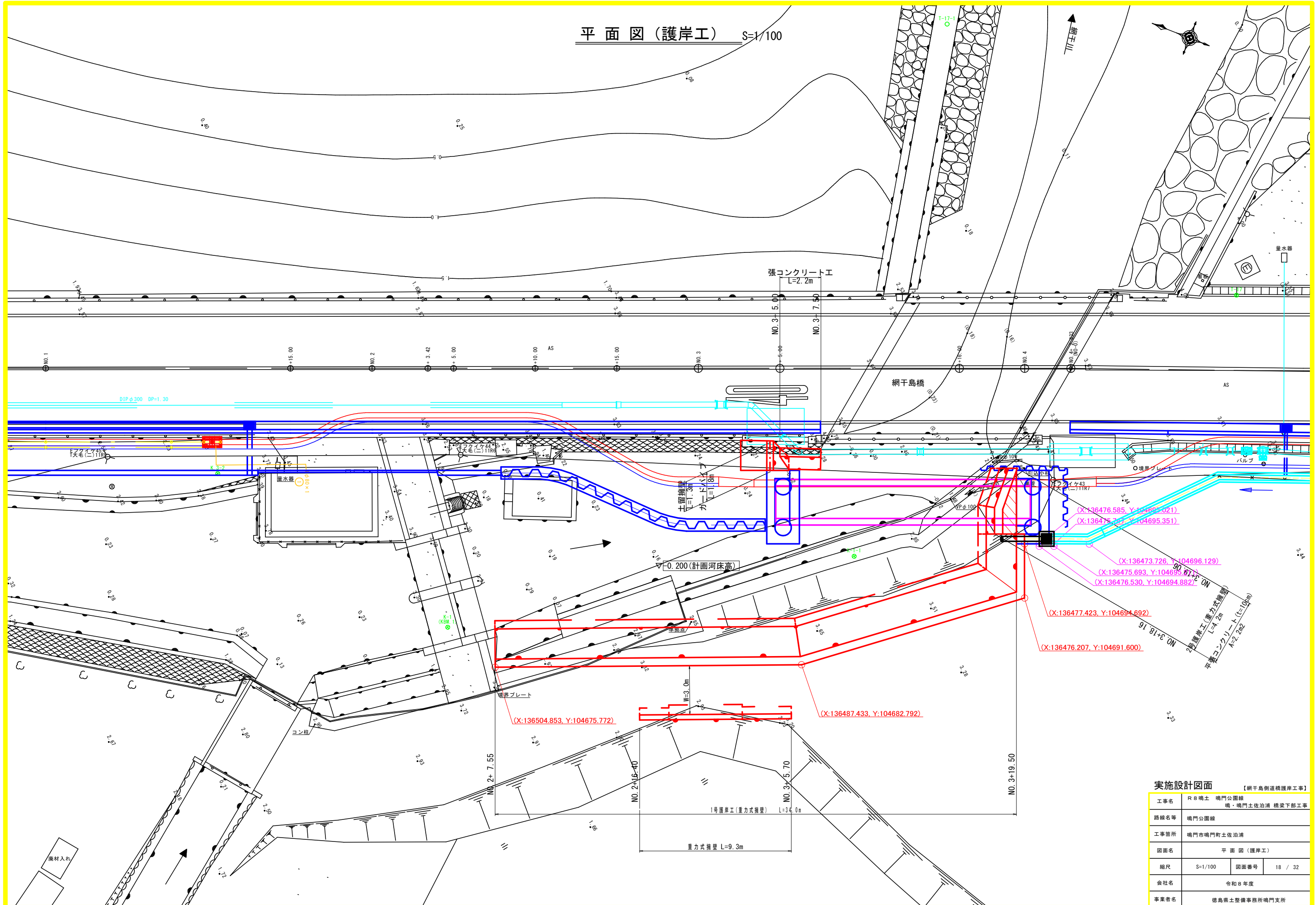
注) 3. この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

注) 4. 1) 鉄筋の最小曲げ半径は、「道路橋示方書・同解説IIIコンクリート橋・コンクリート部材編」及び「道路橋示方書・同解説IV下部構造編」(平成29年11月)による。
2) 曲げ寸法は、円弧部の曲げ半径は鉄筋の内半径を示し、円弧部以外は鉄筋の外形状を示す。
3) 鉄筋長は、鉄筋の中心寸法を示す。

実施設計図面

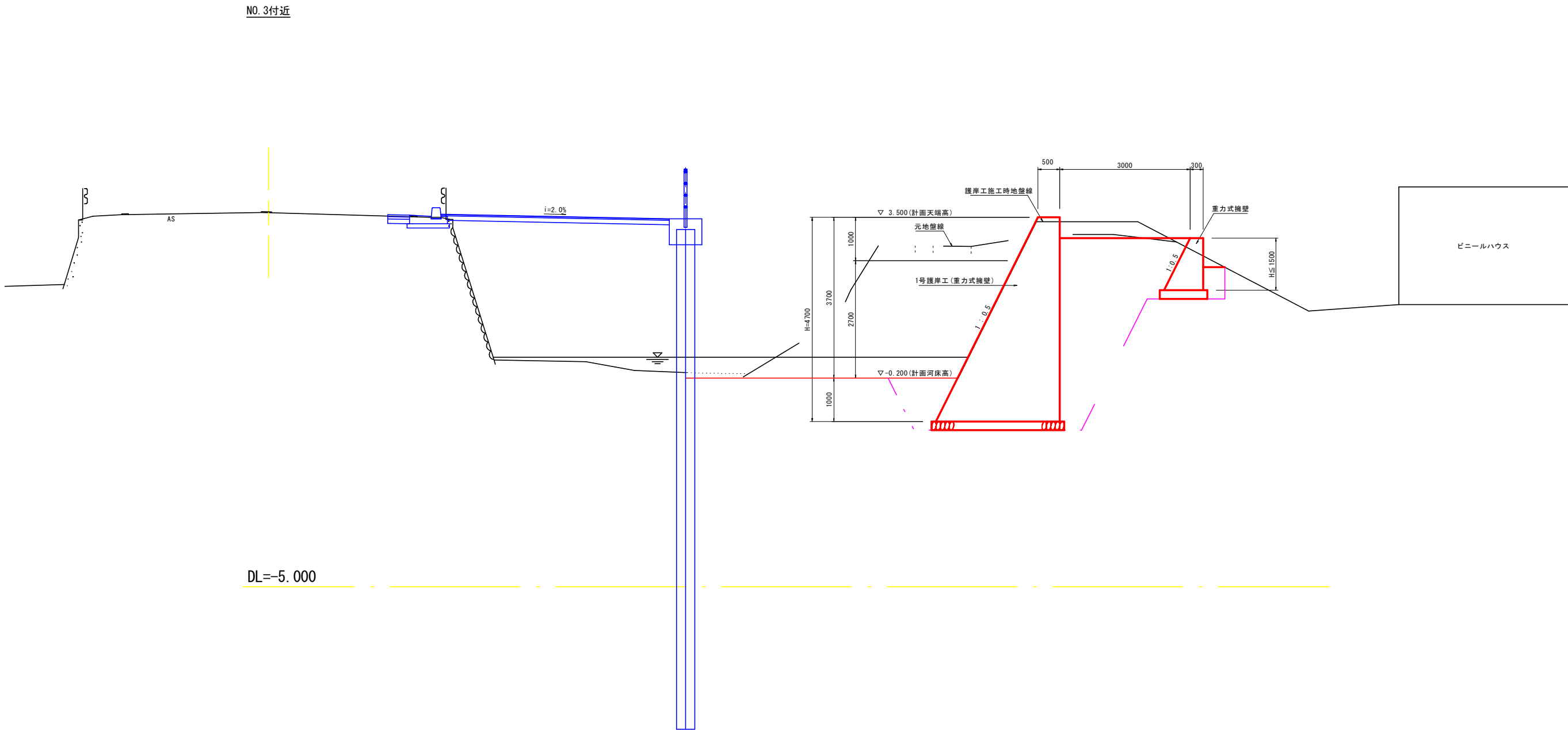
工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	A 2 橋台配筋図 (その4)		
縮 尺	1:30	図面番号	17 / 32
年 度	令和 8 年度		
事業名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

平面図（護岸工） S=1/100



実施設計図面		【網干島側道橋護岸工事】	
工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	平 面 図（護岸工）		
縮尺	S=1/100	図面番号	18 / 32
会社名	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

標準断面図（護岸工） S=1/50



実施設計図面					【網干島側道橋護岸工事】	
工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事					
路線名等	鳴門公園線					
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦					
図面名	標準断面図（護岸工）					
縮尺	S=1/50	図面番号	19 / 32			
会社名	令和 8 年度					
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所					

$S=1/100$ 

工 程	名 称		断 面 数 量	
			左 侧	右 侧
本体土工程	片 切 掘 削	土 砂		12.1
		$W \leq 2.5m$		3.8
	路 体 盛 土	$2.5m \leq W < 4.0m$		2.8
		$W \geq 4.0m$		—
作業土工	床 掘	B 土 砂	—	5.3
	埋 戻	C 流用土	—	1.2
		D 流用土	—	1.3
	基 面 整 正	土 砂	(別途算出)	(別途算出)

工 程	名 称		断 面 数 量	
			左 侧	右 侧
本体土工	片切掘削	土 砂	12.9	
		W<2.5m	0.8	
	路体盛土	2.5m≤W<4.0m	5.0	
		W≥4.0m	—	
作業土工	床掘	B 土 砂	—	5.3
	埋戻	C 流用土	—	1.2
		D 流用土	—	0.9
	基面整正	土 砂	(別途算出)	(別途算出)

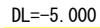
工 程 名 称	断 面 数 量				
	左 侧	右 侧			
本 体 土 工	片 切 掘 削	土 砂	10.2		
		W ≤ 2.5m	0.9		
	路 体 盛 土	2.5m ≤ W < 4.0m	5.0		
		W ≥ 4.0m	—		
作 業 土 工	床 掘	B	土 砂	—	5.3
	埋 戻	C	流 用 土	—	1.2
		D	流 用 土	—	0.9
	基 面 整 正		土 砂	(別途算出)	(別途算出)

【網干島側道橋護岸工事】

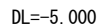
工事名	R 8 嶋土 嶋門公園線 嶋・嶋門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	嶋門公園線		
工事箇所	嶋門市嶋門町土佐泊浦		
図面名	横 断 図 1 (護岸工)		
縮尺	S=1/100	図面番号	20 / 32
会社名	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所嶋門支所		

$$S=1/100$$

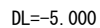
GH=3.645
FH=



GH=3.652
FH=



GH=3. 620
FH=



NO.3+16. 00					
工程	名 称			断面 数量	
				左 侧	右 侧
本 体 土 工	片 切 掘 削	土 砂		17.6	
	路 体 盛 土	W < 2.5m		2.4	
		2.5m ≤ W < 4.0m		4.7	
		W ≥ 4.0m		—	
作 業 土 工	床 掘	B	土 砂	—	5.6
	埋 戻	C	流 用 土	—	1.2
		D	流 用 土	—	1.0
	基 面 整 正	土 砂		(別 算 出)	(別 算 出)

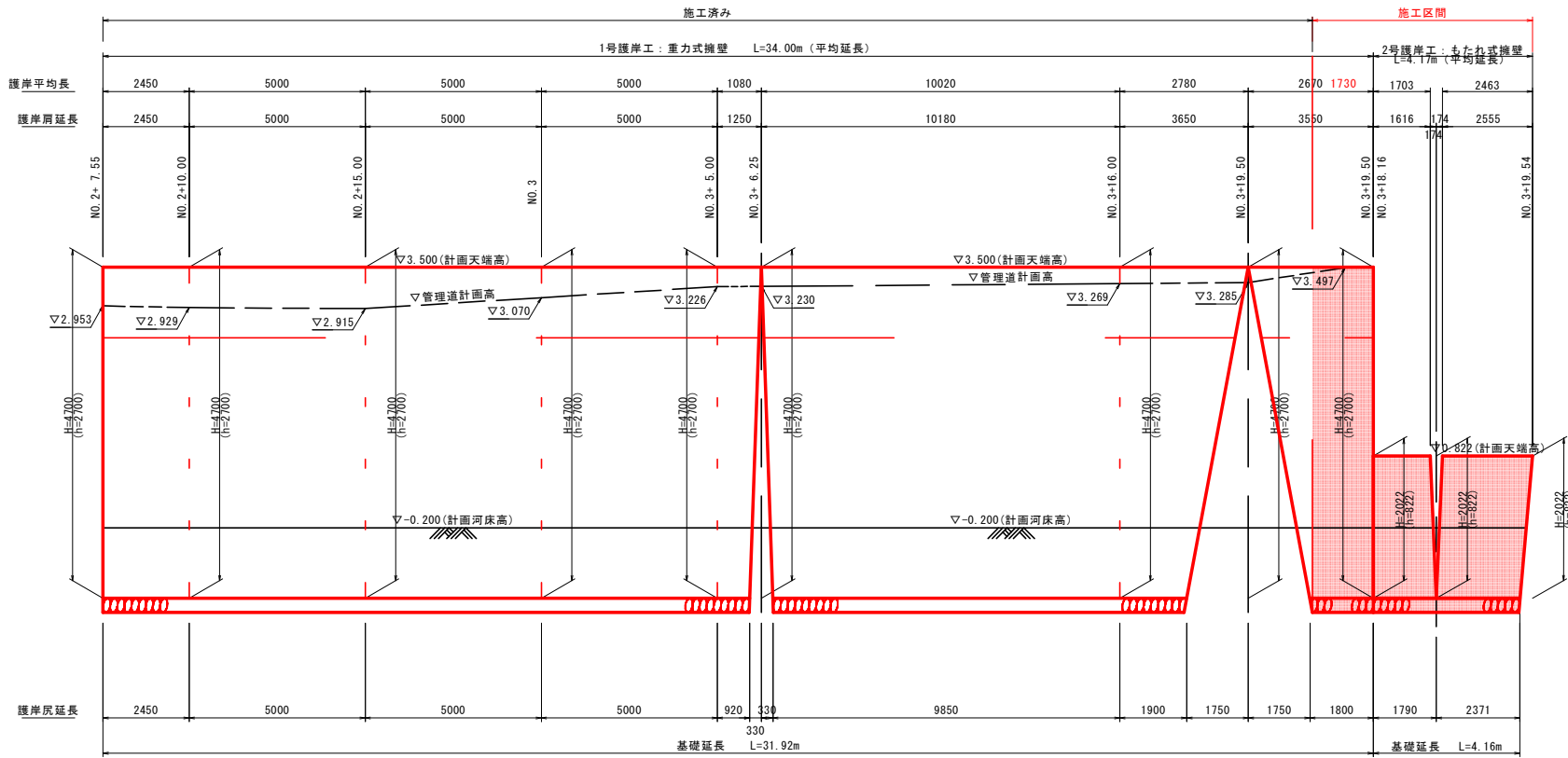
NO. 3+5.00				
工種	名 稱		断 面 数 量	
			左 側	右 側
本 体 土 工	片切掘削	土 砂	12.2	
		$W < 2.5m$	4.3	
	路 地 盛 土	$2.5m \leq W < 4.0m$	2.5	
		$W \geq 4.0m$	—	
作 業 土 工	床 掘	B 土 砂	—	5.3
	埋 戻	C 流用土	—	1.2
		D 流用土	—	1.4
		基 面 整 平	土 砂	(別途算出)

実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門市土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	横 断 図 2 (護岸工)		
縮尺	S=1/100	図面番号	21 / 32
会社名	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

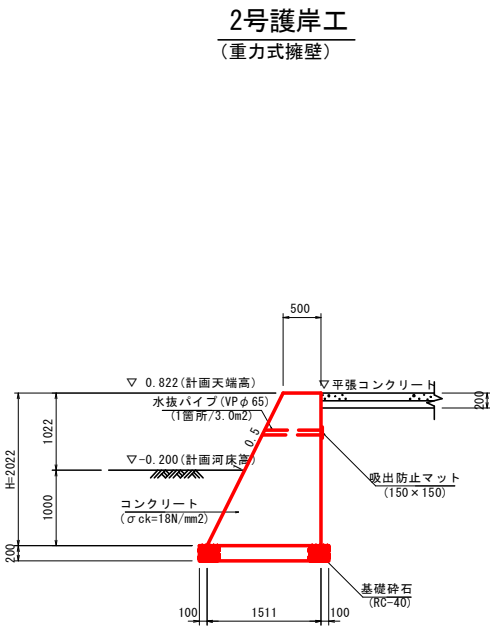
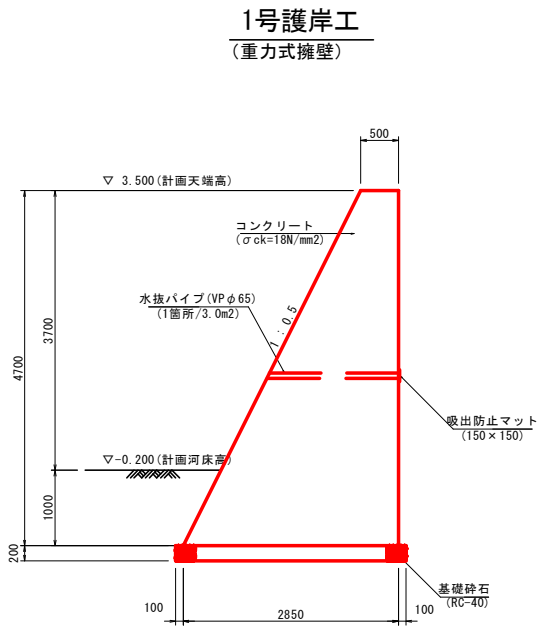
擁壁工展開図（護岸工）

NO. 2+7.55 ~ NO. 3+19.50 (右岸側) $\frac{1}{100}$



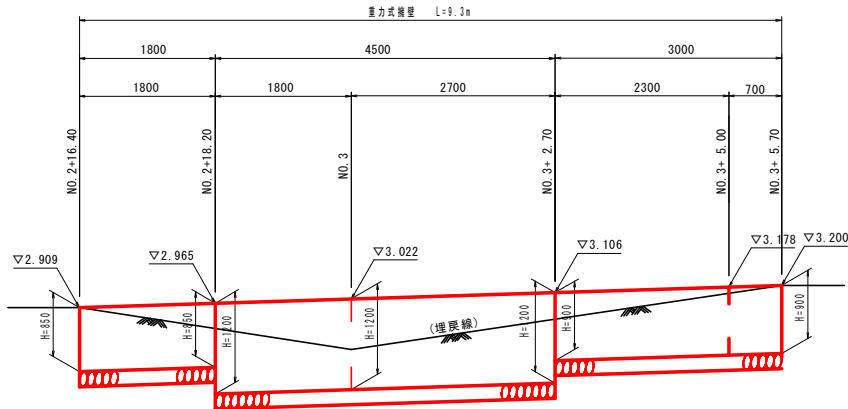
DL=-5.000

断面図 S=1/50



NO. 2+16.40 ~ NO. 3+5.70 (右側) $\frac{1}{50}$

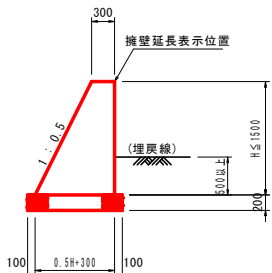
施工済み



DL=0.000

断面図

重力式擁壁 S=1/50

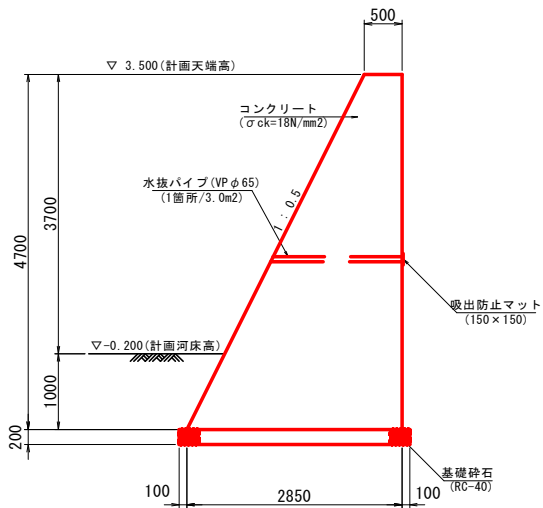


実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線		
路線名等	鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	擁壁工展開図（護岸工）		
縮尺	図示	図面番号	22 / 32
年度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

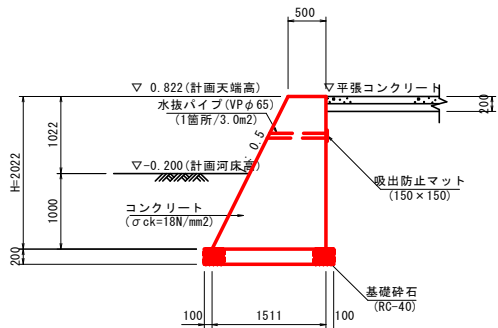
構 造 図（護岸工）

1号護岸工 S=1/50
(重力式擁壁)



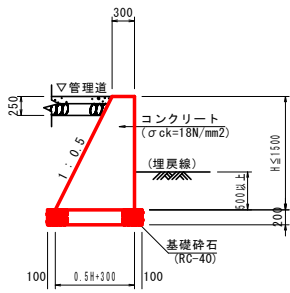
材 料 表 1.0m当り				
名 称	単位	数	量	
コンクリート	m ³	7.873		
型 枠	m ²	9.95		
基礎砕石	m ²	3.05		
単管傾斜足場	掛m ²	5.3		
枠組足場	掛m ²	4.7		

2号護岸工 S=1/50
(重力式擁壁)



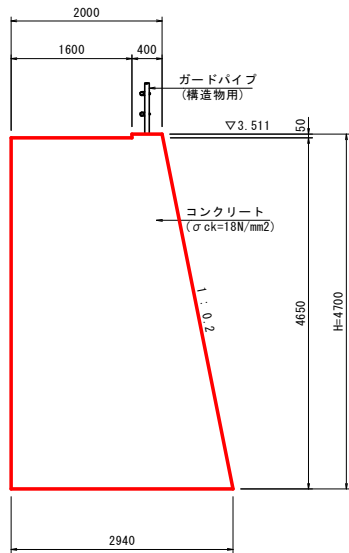
材 料 表 1.0m当り				
名 称	単位	数	量	
コンクリート	m ³	2.033		
型 枠	m ²	4.28		
基礎砕石	m ²	1.71		
単管傾斜足場	掛m ²	2.3		
枠組足場	掛m ²	2.0		

重力式擁壁1/50



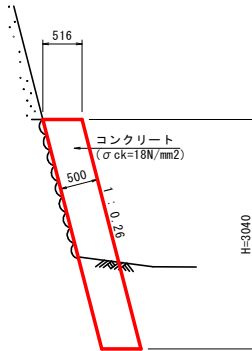
材 料 表 1.0m当り				
名 称	単位	数	量	
コンクリート	m ³	0.25H ² +0.30H		
型 枠	m ²	2.118H		
基礎砕石	m ²	0.5H+0.50		

土留擁壁 S=1/50



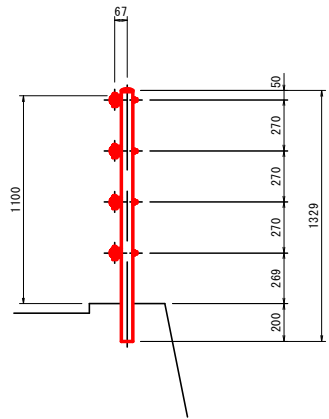
材 料 表 1.0m当り				
名 称	単位	数	量	
コンクリート	m ³	11.529		
型 枠	m ²	9.49		
枠組足場	掛m ²	4.7		
単管傾斜足場	掛m ²	4.8		

張コンクリート工 S=1/50

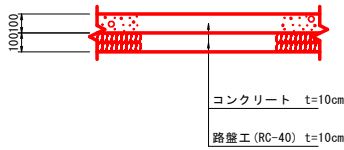


材 料 表 1.0m当り				
名 称	単位	数	量	
コンクリート	m ³	1.570		
型 枠	m ²	3.14		
単管傾斜足場	掛m ²	3.1		

ガードパイプ S=1/20
(構造物用)



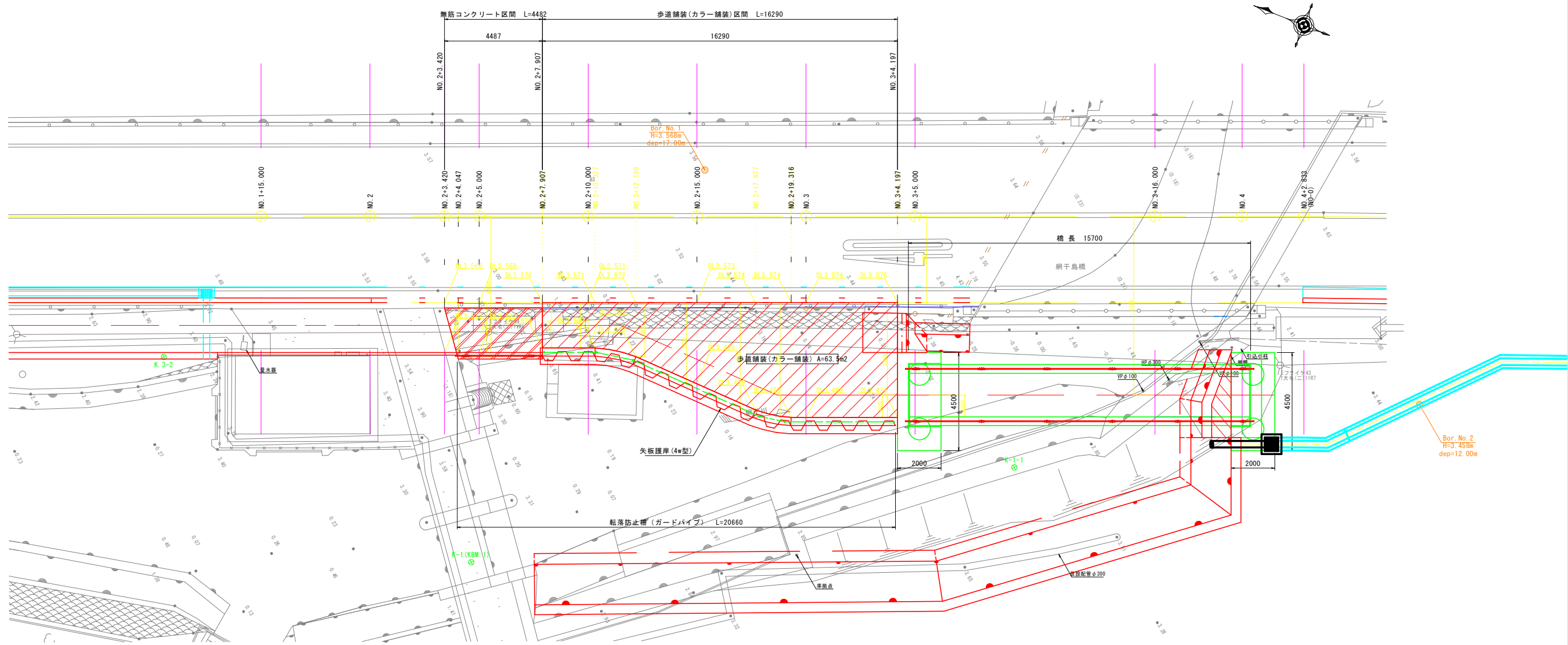
平張コンクリート S=1/20



実施設計図面 【網干島側道橋護岸工事】

工事名	R8鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	構 造 図（護岸工）		
縮尺	図 示	図面番号	23 / 32
会社名	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

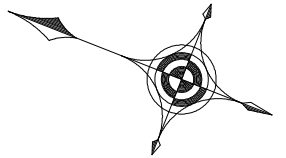
平面図 S=1:100



実施設計図面

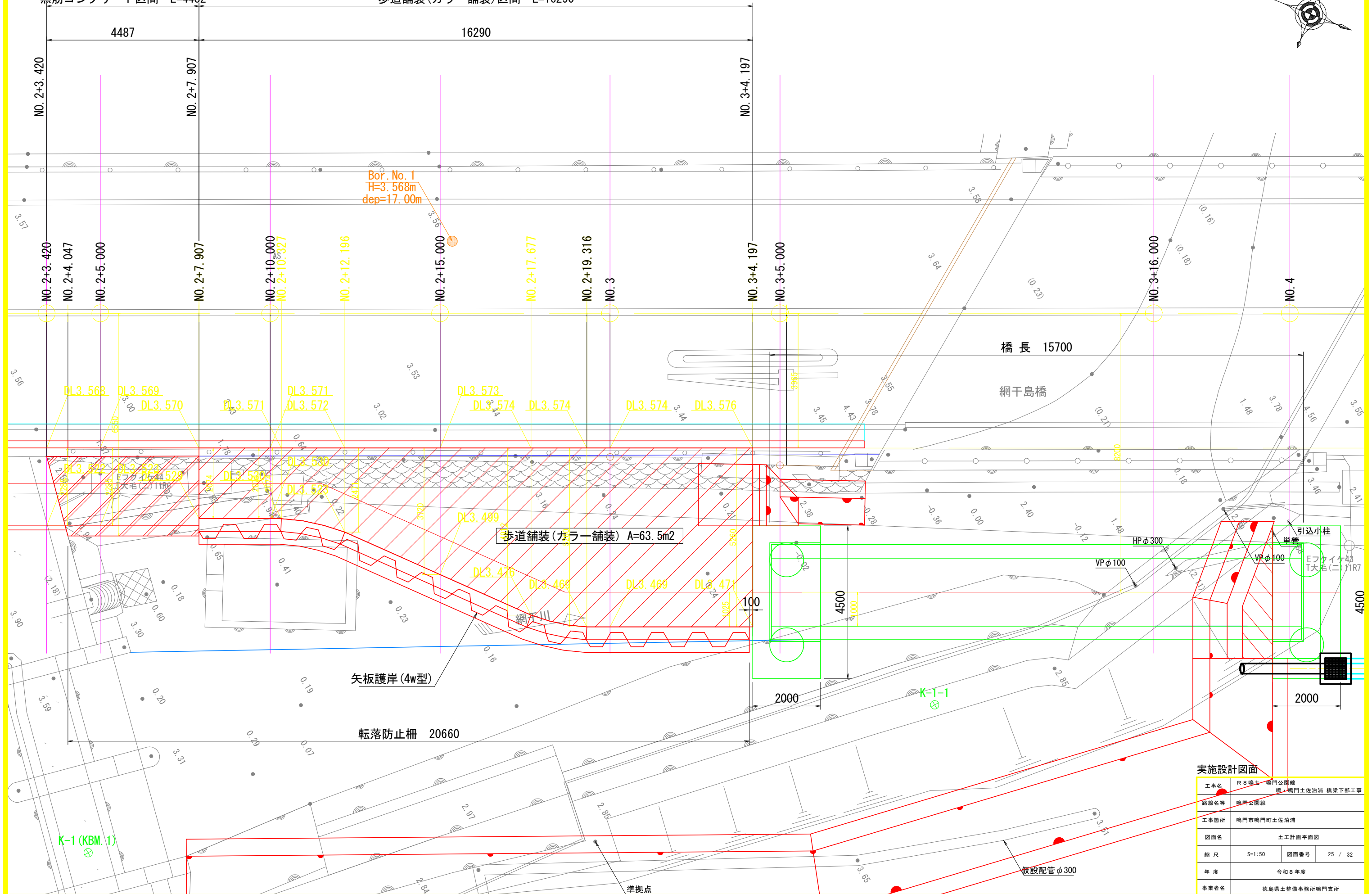
工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線		
路線名等	鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	平面図		
縮尺	S=1:100	図面番号	24 / 32
年度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

平面図 S=1:50



無筋コンクリート区間 L=4482

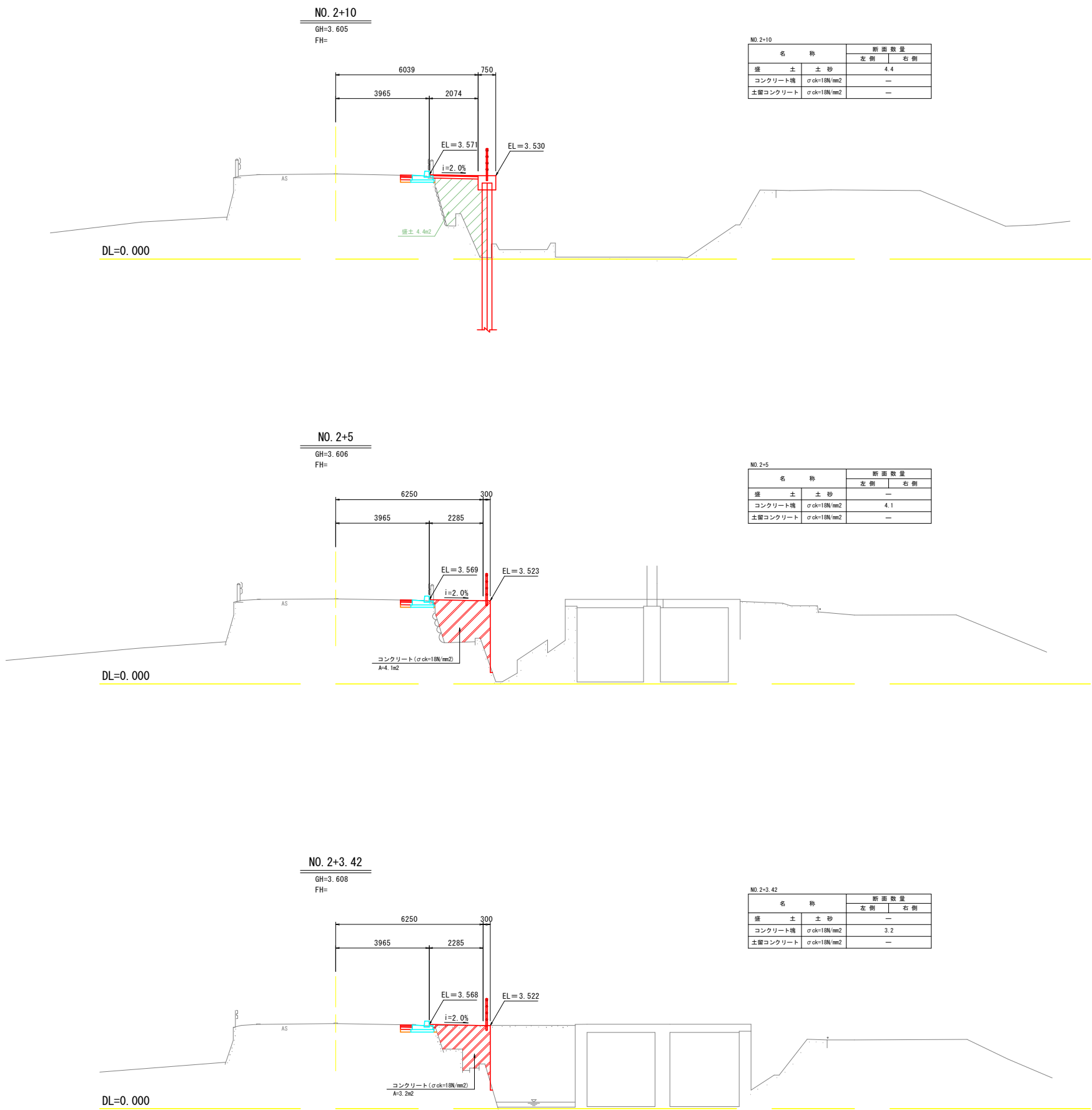
歩道舗装(カラー舗装)区間 L=16290



実施設計図面

工事名	R 8 鳴門公園線 鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	土工計画平面図		
縮尺	S=1:50	図面番号	25 / 32
年度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

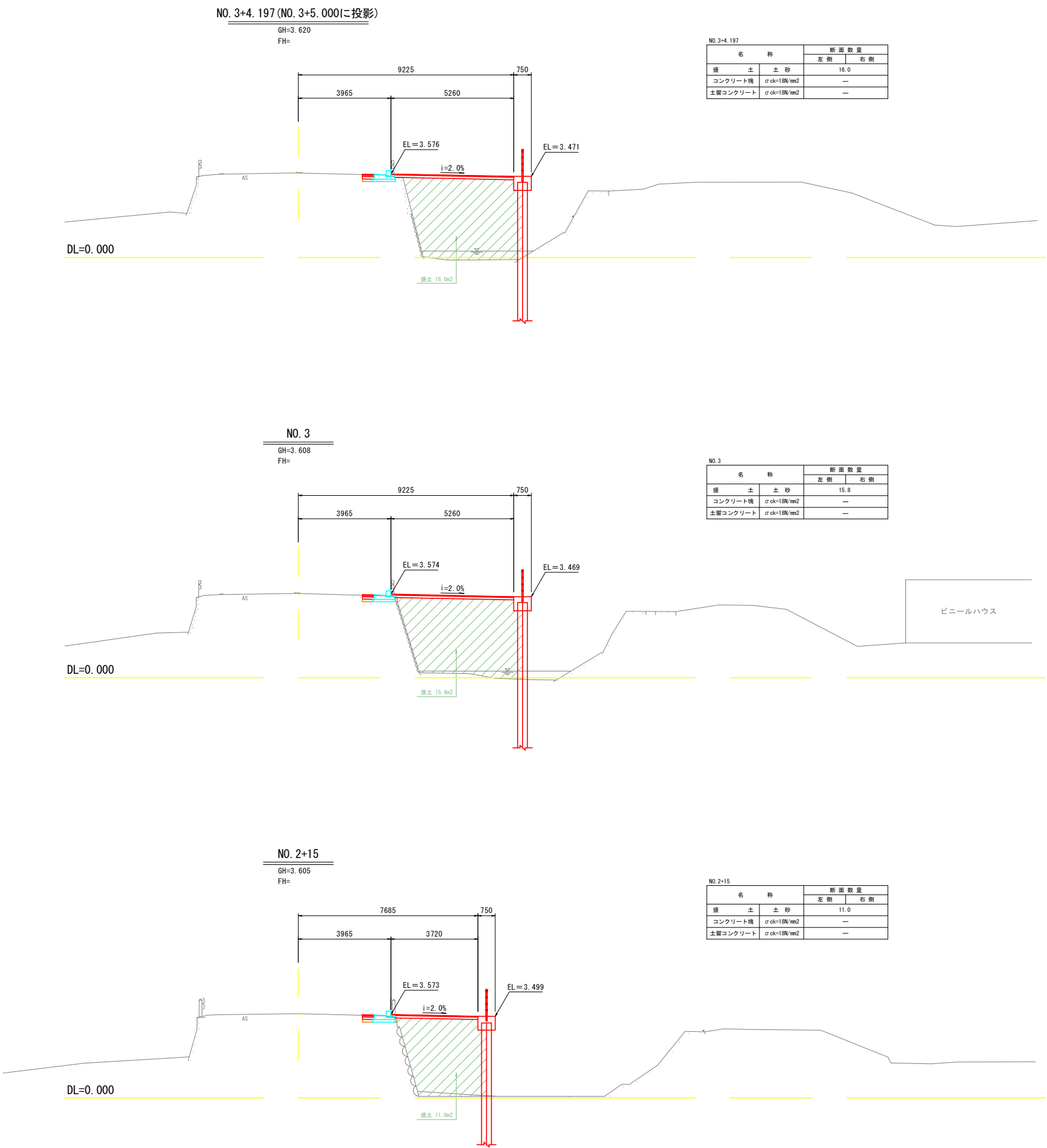
横断面図(1) S=1:100



実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	横 断 面 図 (1)		
縮 尺	S=1:100	図面番号	26 / 32
年 度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

横断面図(2) S=1:100

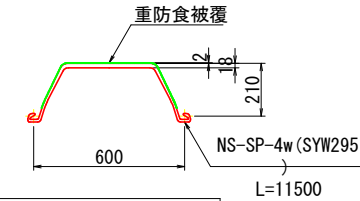


実施設計図面

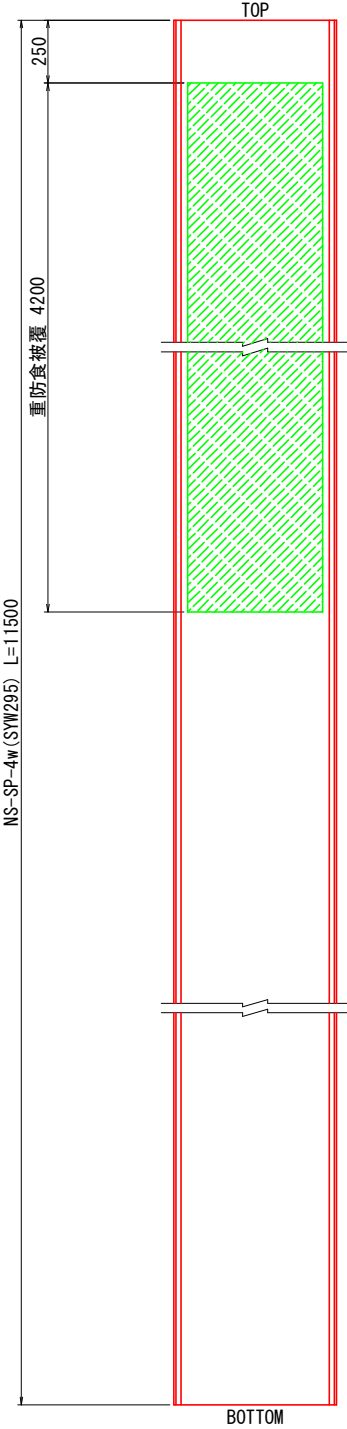
工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	横 断 面 図 (2)		
縮 尺	S=1:100	図面番号	27 / 32
年 度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

護岸鋼矢板構造図 s=1/15

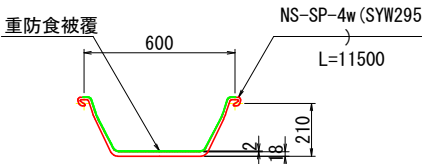
U形鋼矢板
NS-SP-4w (SYW295)
L=11.5m 14set



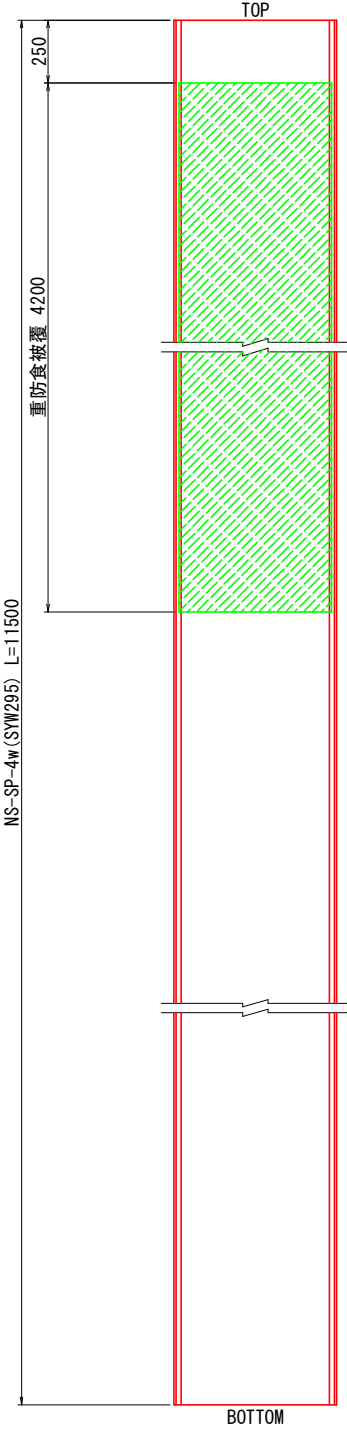
重防食被覆面積
 $A=0.75\text{m}^2/\text{m} \times 4.20\text{m}=3.15\text{m}^2$



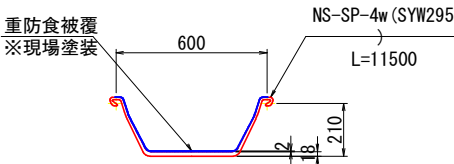
U形鋼矢板
NS-SP-4w (SYW295)
L=11.5m 13set



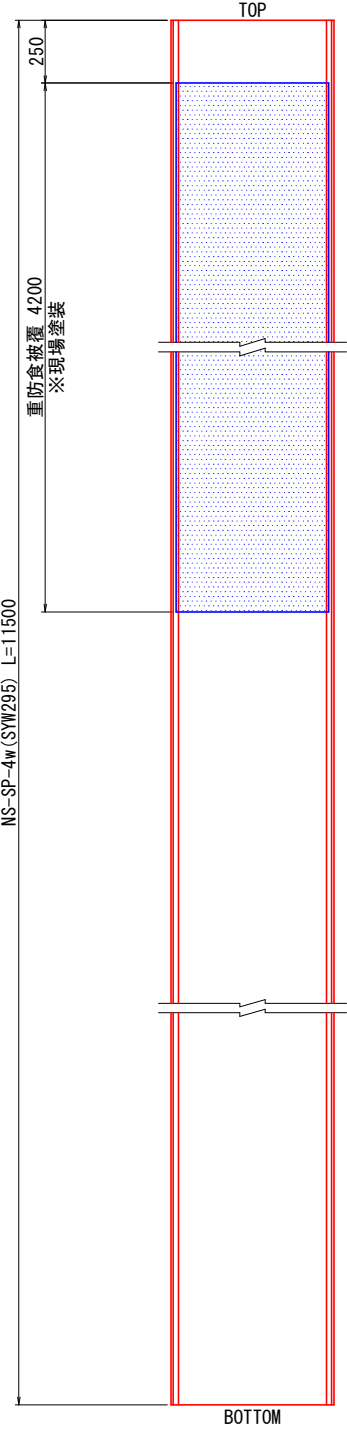
重防食被覆面積
 $A=0.87\text{m}^2/\text{m} \times 4.20\text{m}=3.65\text{m}^2$



U形鋼矢板
NS-SP-4w (SYW295)
L=11.5m 1set



重防食被覆面積
 $A=0.87\text{m}^2/\text{m} \times 4.20\text{m}=3.65\text{m}^2$



材料表

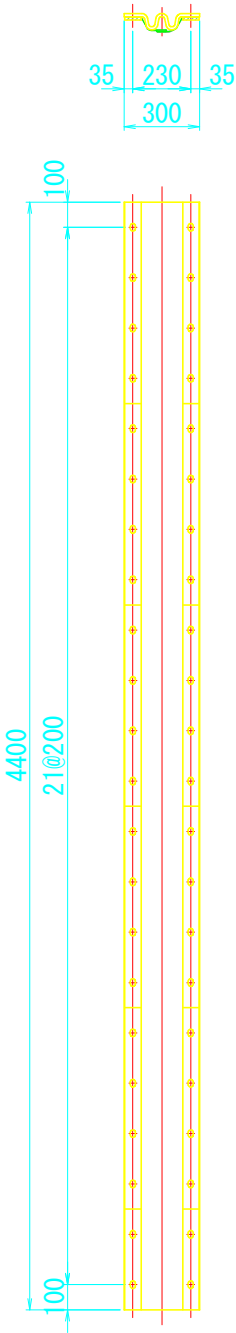
形 状 寸 法	単位	単位質量	1枚当り質量	本数	質 量	材 質	摘 要
NS-SP-4w L=11500	kg	106	1219	14	17066	SYW295	重防食被覆A=3.15m ² 枚
NS-SP-4w L=11500	kg	106	1219	13	15847	SYW295	重防食被覆A=3.65m ² 枚
NS-SP-4w L=11500	kg	106	1219	1	1219	SYW295	重防食被覆A=3.65m ² 枚 ※現場塗装
合 計				28 枚	34132 kg		

実施設計図面

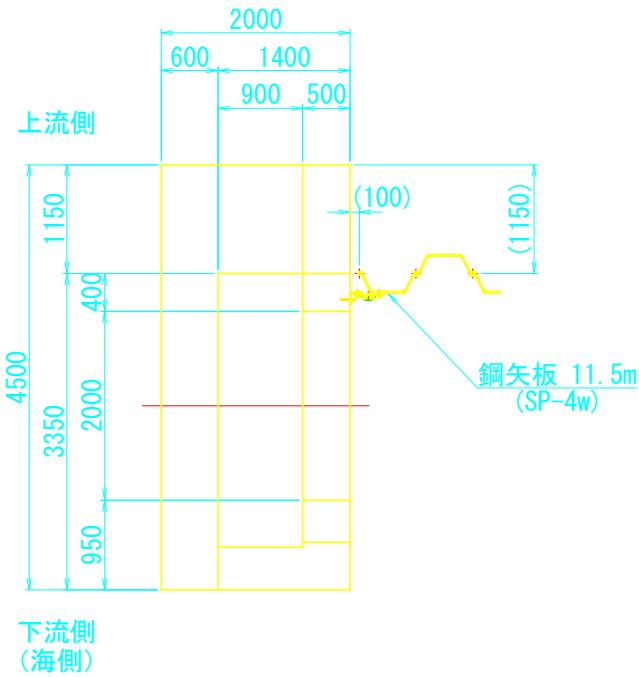
工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	鋼矢板構造図		
縮 尺	図 示	図面番号	28 / 32
年 度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

可撓継手詳細図

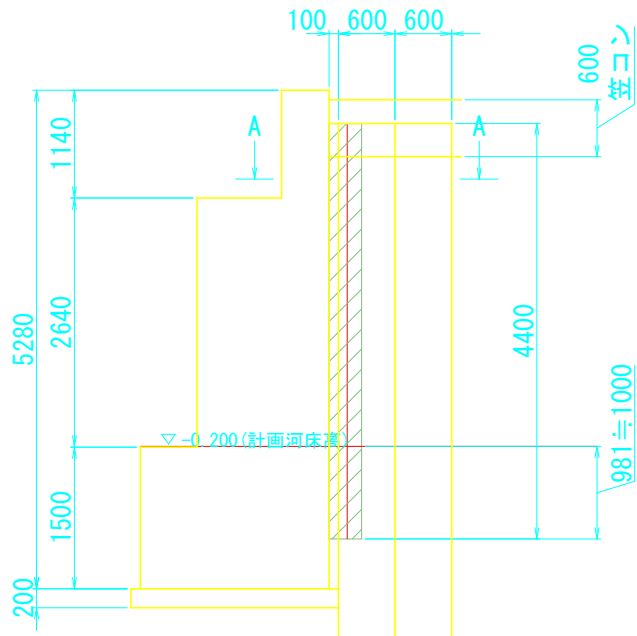
継手全体図
(B 視図) S=1:15



取付平面図 S=1:40



取付正面図



※計画河床から1m程度根入れする。

品番	品 名	材 質	数 量		備 考
			1 基		
1	伸 縮 部 材	C R	1		RE100E型
2	補 強 布	ポリエステル	1 組		1 P L Y (平織) L = 4 3 0
3	押 え 板	SUS304	2 組		t 1 2 × 6 5

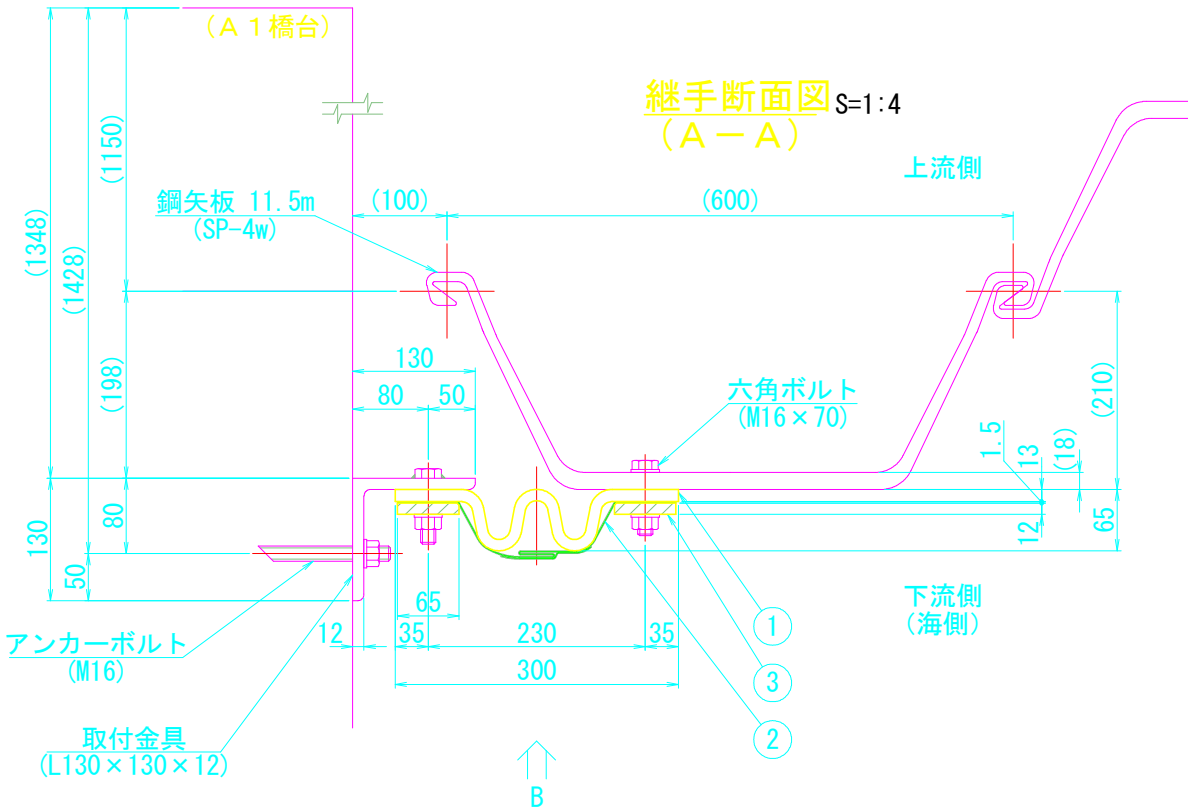
使 用 条 件

外水圧 (W. P.)	0.1MPa {1.0kgf/cm ² }
内水圧 (W. P.)	0.1MPa {1.0kgf/cm ² }
沈下量 (偏心量)	100 mm
伸 び 量	100 mm

仕 様

1. 品番3は施工性を考慮して分割品とする。

継手断面図
(A - A) S=1:4

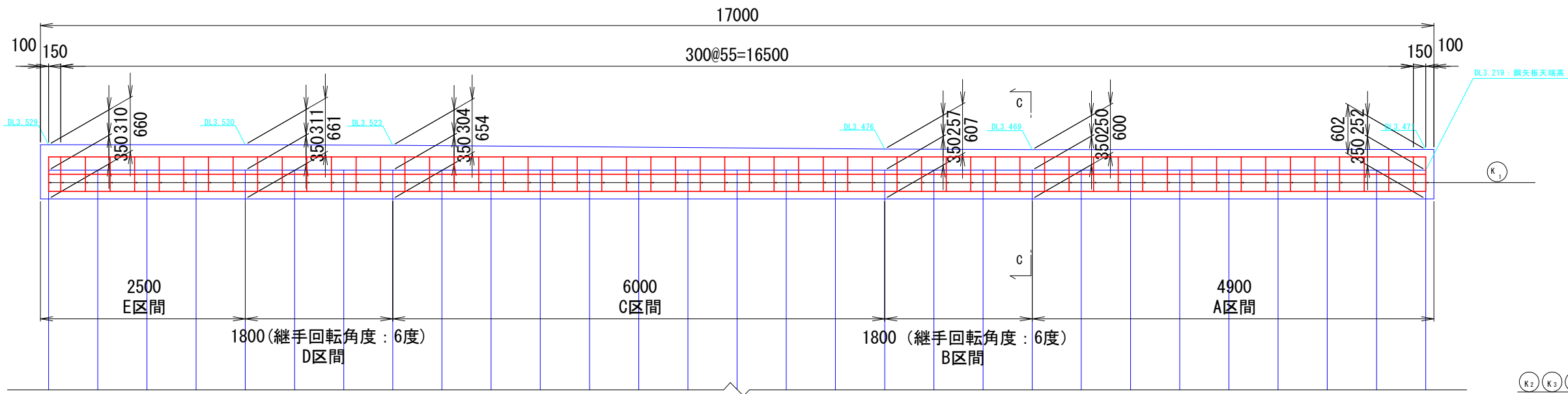


実施設計図面

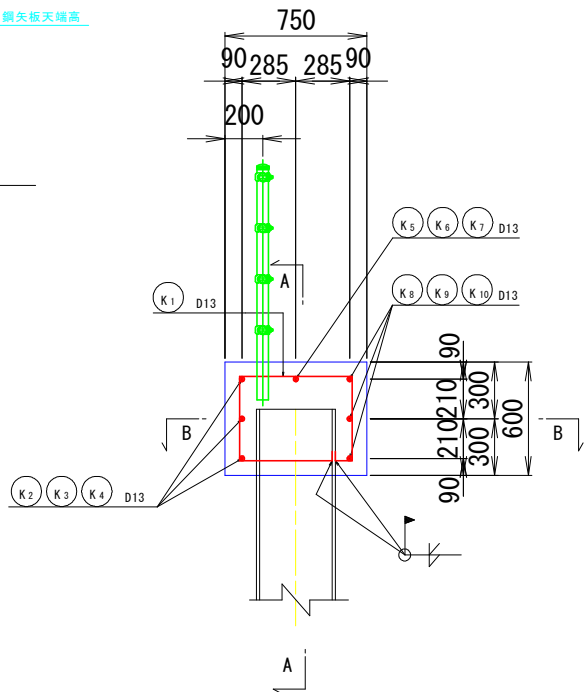
工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	可撓矢板詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	29 / 32
年 度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

笠コンクリート配筋図（その1）

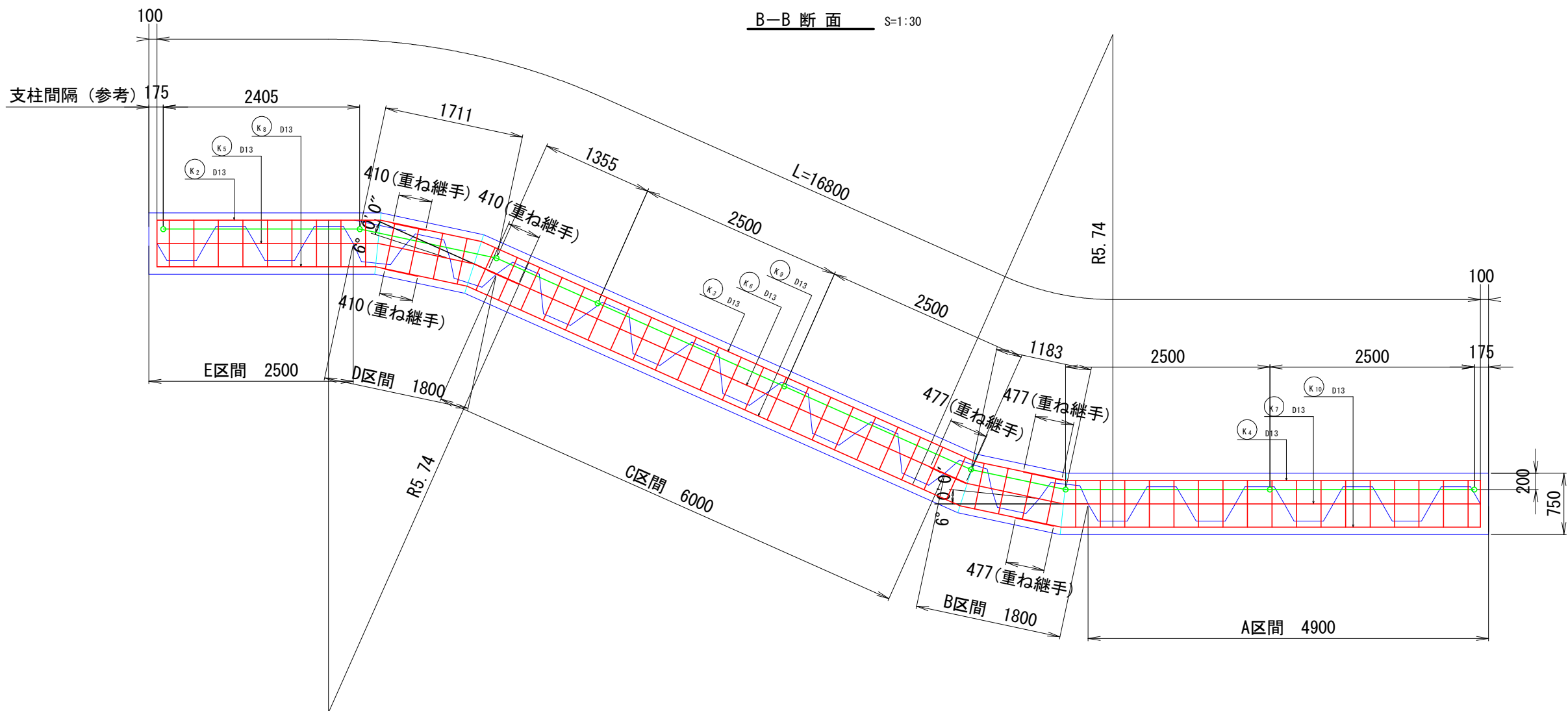
A-A 断面 S=1:30



C-C 断面 S=1:20



B-B 断面 S=1:30

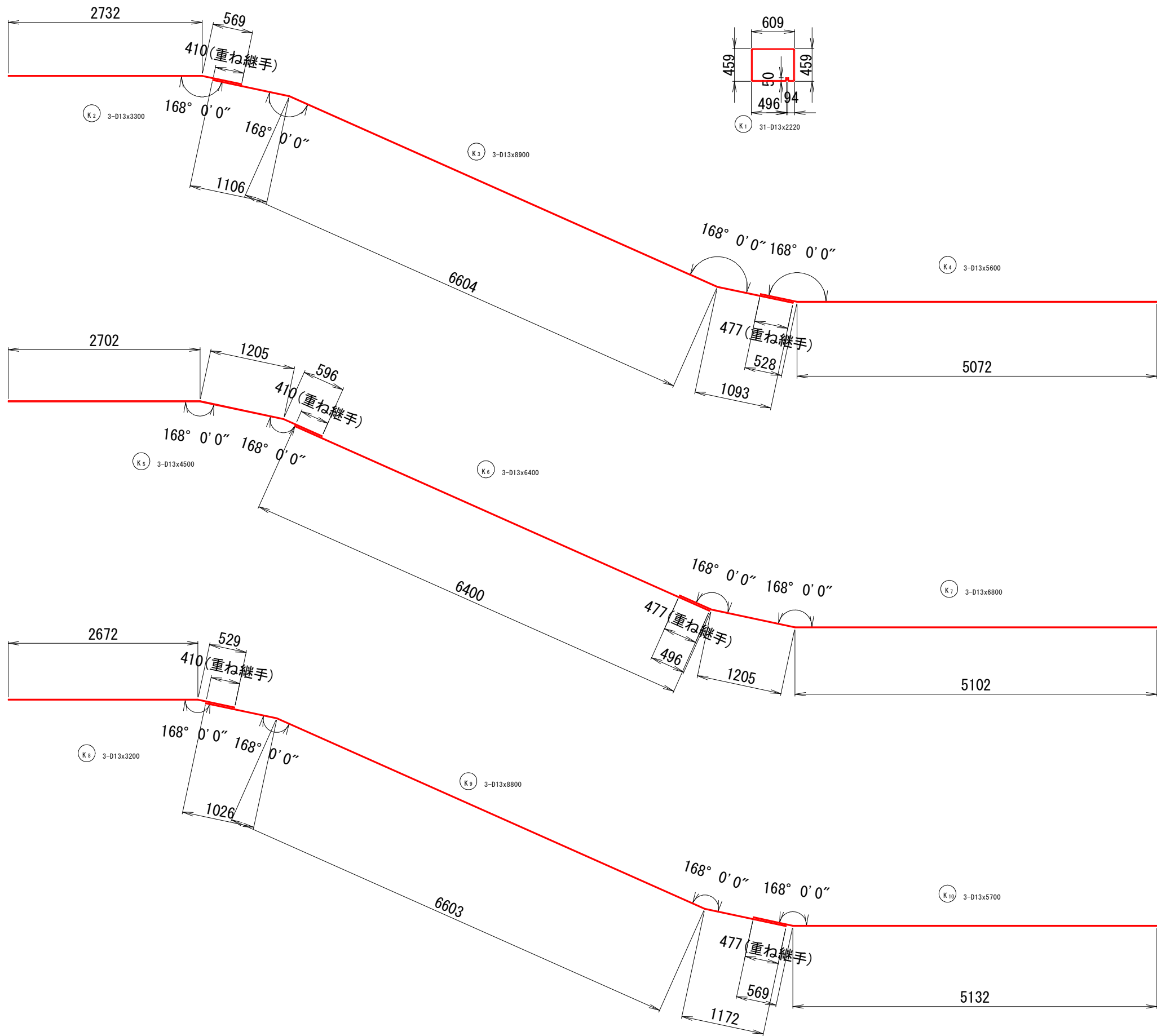


実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線		
路線名等	鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	笠コンクリート配筋図（その1）		
縮尺	図示	図面番号	30 / 32
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

※防護柵支柱と配力筋(K1)が干渉する場合は、防護柵または鉄筋のピッチを調整すること。

笠コンクリート配筋図（その2）



鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
K 1	D13	2220	58	0.995	2.21	129	
2	D13	3300	3	0.995	3.28	10	
3	D13	8900	3	0.995	8.86	27	
4	D13	5600	3	0.995	5.57	17	
5	D13	4500	1	0.995	4.48	5	
6	D13	6400	1	0.995	6.37	7	
7	D13	6800	1	0.995	6.77	7	
8	D13	3200	3	0.995	3.18	10	
9	D13	8800	3	0.995	8.76	27	
10	D13	5700	3	0.995	5.67	18	
					D13	257	kg
					総質量	257	kg

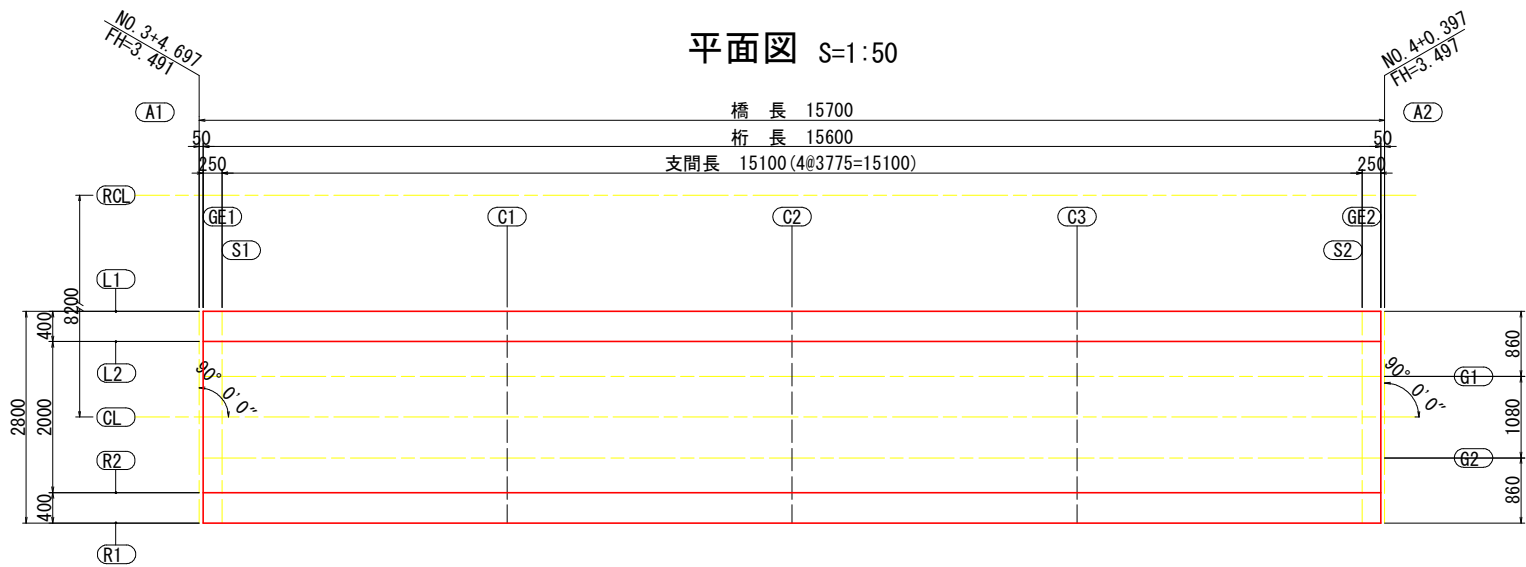
コンクリート (σck=24N/mm2)

区間	計算式 (mm)	体積 (m3)
A区間	(602*750+600*750)/2*4900	2.21
B区間	(600*750+607*750)/2*1800	0.82
C区間	(607*750+654*750)/2*6000	2.84
D区間	(654*750+661*750)/2*1800	0.89
E区間	(661*750+660*750)/2*2500	1.24
	総体積	8

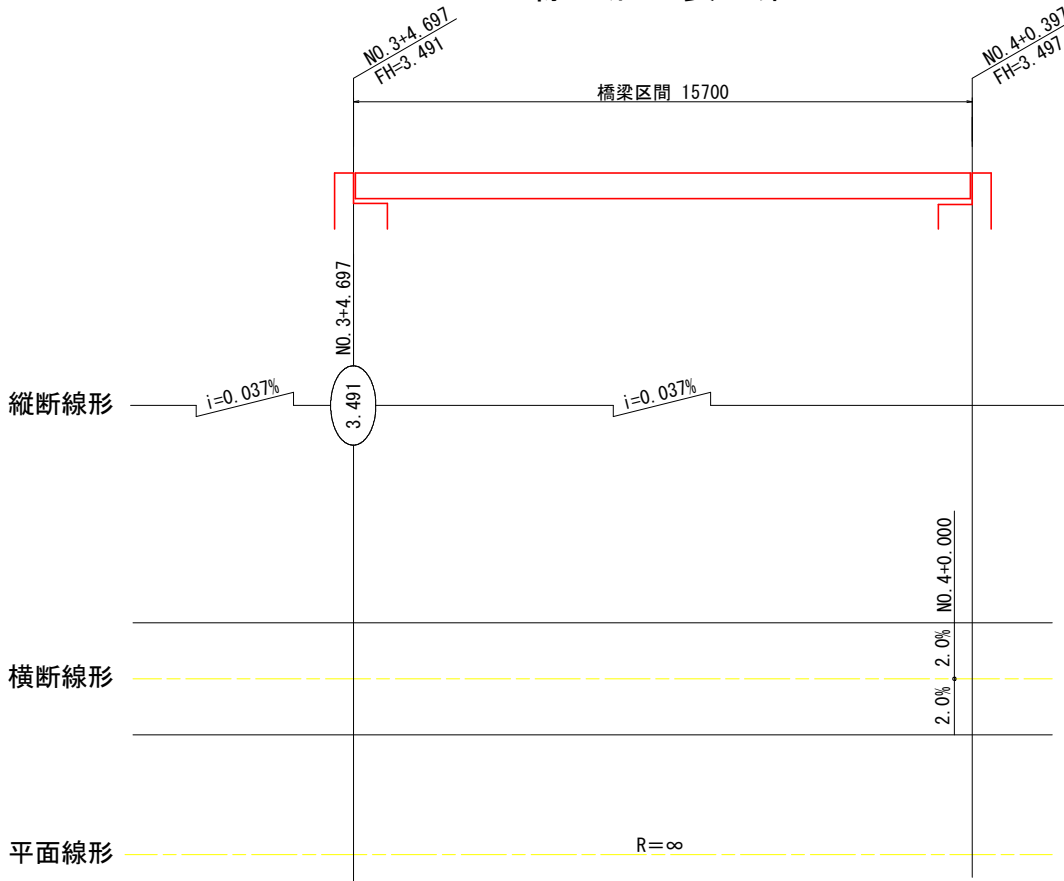
実施設計図面

工事名	R 8 鳴土 鳴門公園線 鳴・鳴門土佐泊浦 橋梁下部工事		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	笠コンクリート配筋図（その2）		
縮尺	図示	図面番号	31 / 32
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		

線形図



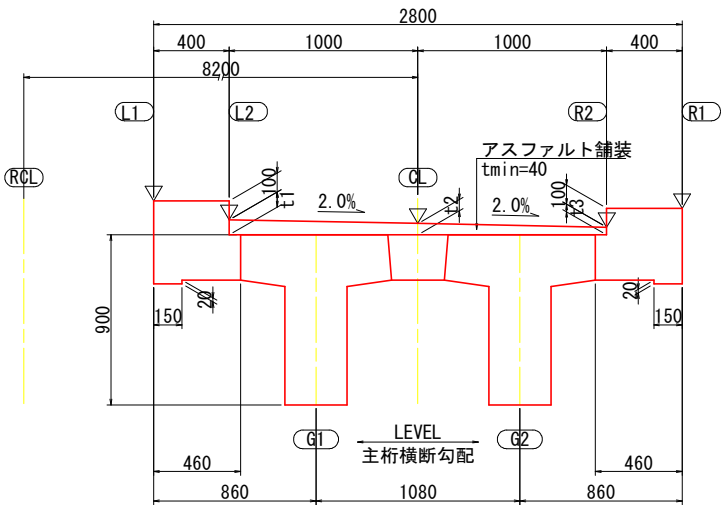
線形要素



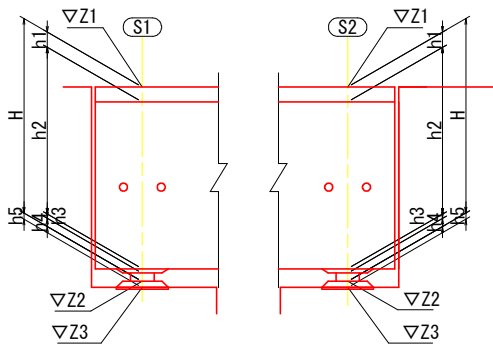
小座標値

		A1	GE1	S1	C1	C2	C3	S2	GE2	A2
RCL	X	0.0000	0.0500	0.3000	4.0750	7.8500	11.6250	15.4000	15.6500	15.7000
	Y	8.2000	8.2000	8.2000	8.2000	8.2000	8.2000	8.2000	8.2000	8.2000
	Z	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	W	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L1	X	0.0000	0.0500	0.3000	4.0750	7.8500	11.6250	15.4000	15.6500	15.7000
	Y	1.4000	1.4000	1.4000	1.4000	1.4000	1.4000	1.4000	1.4000	1.4000
	Z	3.6110	3.6110	3.6111	3.6125	3.6139	3.6153	3.6167	3.6168	3.6168
	W	0.0000	0.0500	0.3000	4.0750	7.8500	11.6250	15.4000	15.6500	15.7000
L2	X	0.0000	0.0500	0.3000	4.0750	7.8500	11.6250	15.4000	15.6500	15.7000
	Y	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
	Z	3.5110	3.5110	3.5111	3.5125	3.5139	3.5153	3.5167	3.5168	3.5168
	W	0.0000	0.0500	0.3000	4.0750	7.8500	11.6250	15.4000	15.6500	15.7000
G1	X	0.0000	0.0500	0.3000	4.0750	7.8500	11.6250	15.4000	15.6500	15.7000
	Y	0.5400	0.5400	0.5400	0.5400	0.5400	0.5400	0.5400	0.5400	0.5400
	Z	3.5018	3.5018	3.5019	3.5033	3.5047	3.5061	3.5075	3.5076	3.5076
	W	0.0000	0.0500	0.3000	4.0750	7.8500	11.6250	15.4000	15.6500	15.7000
CL	X	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	Y	3.4910	3.4910	3.4911	3.4925	3.4939	3.4953	3.4967	3.4968	3.4968
	Z	0.0000	0.0500	0.3000	4.0750	7.8500	11.6250	15.4000	15.6500	15.7000
	W	-0.5400	-0.5400	-0.5400	-0.5400	-0.5400	-0.5400	-0.5400	-0.5400	-0.5400
G2	X	0.0000	0.0500	0.3000	4.0750	7.8500	11.6250	15.4000	15.6500	15.7000
	Y	3.4802	3.4802	3.4803	3.4817	3.4831	3.4845	3.4859	3.4860	3.4860
	Z	0.0000	0.0500	0.3000	4.0750	7.8500	11.6250	15.4000	15.6500	15.7000
	W	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000
R2	X	0.0000	0.0500	0.3000	4.0750	7.8500	11.6250	15.4000	15.6500	15.7000
	Y	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000
	Z	3.4710	3.4710	3.4711	3.4725	3.4739	3.4753	3.4767	3.4768	3.4768
	W	0.0000	0.0500	0.3000	4.0750	7.8500	11.6250	15.4000	15.6500	15.7000
R1	X	0.0000	0.0500	0.3000	4.0750	7.8500	11.6250	15.4000	15.6500	15.7000
	Y	-1.4000	-1.4000	-1.4000	-1.4000	-1.4000	-1.4000	-1.4000	-1.4000	-1.4000
	Z	3.5710	3.5710	3.5711	3.5725	3.5739	3.5753	3.5767	3.5768	3.5768
	W	-	-	-	-	-	-	-	-	-

断面図 S=1:20



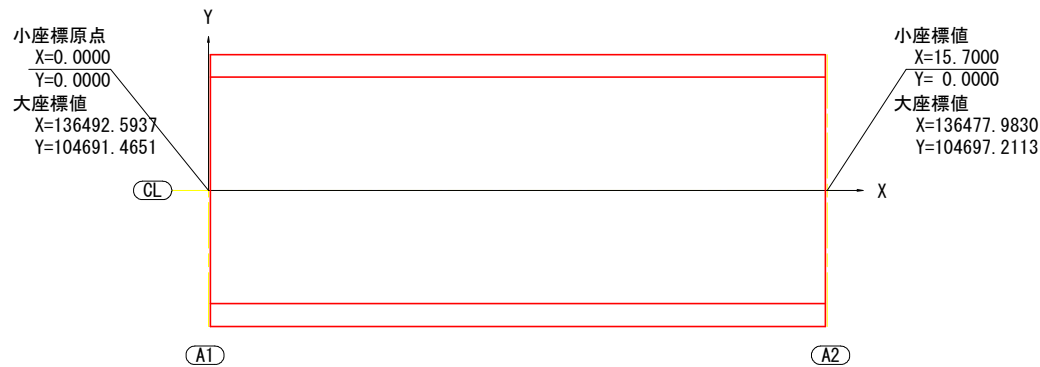
構造高図



構造高表

		S1						S2					
		G1	CL	G2	G1	CL	G2	G1	CL	G2	G1	CL	G2
計画高	▽Z1	3.5019	3.4911	3.4803	3.5075	3.4967	3.4859	3.5075	3.4967	3.4859	3.5075	3.4967	3.4859
舗装厚	h1	0.1176	0.1068	0.0960	0.1176	0.1068	0.0960	0.1176	0.1068	0.0960	0.1176	0.1068	0.0960
主桁厚	h2	0.9000	0.9000	0.9000	0.9000	0.9000	0.9000	0.9000	0.9000	0.9000	0.9000	0.9000	0.9000
レアー厚	h3	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
支承高	h4	0.0880	0.0880	0.0880	0.0880	0.0880	0.0880	0.0880	0.0880	0.0880	0.0880	0.0880	0.0880
構造高計	H	1.1056	1.0948	1.0840	1.0856	1.0748	1.0640	1.0856	1.0748	1.0640	1.0856	1.0748	1.0640
沓座面高	▽Z2	2.3963	2.3963	2.3963	2.4219	2.4219	2.4219	2.4219	2.4219	2.4219	2.4219	2.4219	2.4219
モルタル厚	h5	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300	0.0300
下部工天端高	▽Z3	2.3663	2.3663	2.3663	2.3919	2.3919	2.3919	2.3919	2.3919	2.3919	2.3919	2.3919	2.3919
大座標値	X	136492.5122	136492.3145	136492.1169	136478.4599	136478.2622	136478.0646	136492.5122	136492.3145	136492.1169	136478.4599	136478.2622	136478.0646
	Y	104692.0774	104691.5749	104691.0723	104697.6040	104697.1015	104696.5989	104692.0774	104691.5749	104691.0723	104697.6040	104697.1015	104696.5989

小座標の設定



- 道路中心線CLとA1橋台の交点を小座標原点、(0.0)に設定する。
- 原点からCLとA2橋台との交点を結ぶ直線をX軸とする。
- X軸と直交する直線をY軸とする。

実施設計図面

工事名	R 8 鳴門公園線		
路線名等	鳴門公園線		
工事箇所	鳴門市鳴門町土佐泊浦		
図面名	線形図		
縮尺	図示	図面番号	32 / 32
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所鳴門支所		